

記者発表（配付）資料

令和7年12月16日

所属部課	部長	課長	係長	担当	連絡先
萩市市民部 市民活動推進課	細井 充	角屋 祐一郎	神崎 忍	橋本 健治	0838-25-3601

件 名	年末年始の交通安全県民運動 サンタ交通安全キャンペーンの中止について
-----	------------------------------------

令和7年12月10日(水)から令和8年1月3日(土)まで行われる「年末年始の交通安全県民運動」の関連行事として、「サンタ交通安全キャンペーン」の開催を予定しておりましたが、今後の気象状況を事前に考慮し、以下のとおり中止といたします。

記

1. 中止行事

○令和7年12月17日の行事

中 止	12月17日(水) 午前7時20分～午前7時50分
	御許町交差点でのサンタ交通安全キャンペーン（萩市長参加）

2. 主 催

萩市交通安全対策協議会（事務局：萩市市民活動推進課）

記者発表(配付)資料

令和7年12月16日

所属部課	部 長	課 長	課長補佐	担 当	連絡先
萩市福祉部 福祉支援課	松原 功明	増野 達史	岡崎 智恵美	野間 瞳子	0838-25-3523

件 名	全国大会入賞報告会の開催について
-----	------------------

下記の通り、入賞報告会を行いますので、お知らせします。

記

◎日時・会場

(開催日) 令和 7 年 12 月 23 日(火) 午後5時 15 分～午後5時 45 分

(場 所) 萩市役所 2階 市長応接室

◎出席者

阿武 妙香(あんの たえか) 選手

◎阿武選手プロフィール

生年月日:1985 年(昭和 60 年)2 月 22 日生(40 歳)

成績

○全国大会(令和 7 年 10 月 25 日～27 日)

「第 24 回全国障害者スポーツ大会“わた SHIGA 輝く障スポ”」

・25m自由形:1 着 タイム 31 秒 55

・25m平泳ぎ:2 着 タイム 46 秒 53

○派遣選手選考会(令和 7 年 5 月 18 日)

「第 24 回全国障害者スポーツ大会“わた SHIGA 輝く障スポ”」派遣選手選考会

・25m自由形:1 着 タイム 35 秒 21

・25m平泳ぎ:1 着 タイム 57 秒 85

◎その他

萩市役所正面玄関前において入賞記念横断幕設置

(設置期間:令和 7 年 12 月 16 日～令和 8 年 1 月 30 日)

記者発表（配付）資料

令和7年12月16日

所属部課	部長	課長	係長	担当	連絡先
萩市総合政策部 おいでませ、豊かな暮らし応援課	肌野 次雄	上田 知由	堀 理恵子	蛭子 亜伊	0838-25-3360

件名	～地域おこし協力隊と二人三脚で地域を活性化！～ 地域おこし協力隊の配置を希望される地域団体を募集します！
----	---

市では、地域外の人材を活用し、地域の活性化を促進するとともに、その人材の定住・定着を図ることを目的に、平成27年度から各地域に「地域おこし協力隊」を配置しています。

令和4年度から、地域おこし協力隊のスキルや経験を生かした地域活性化に取り組まれる地域団体に、隊員を配置する取組を行っています。令和9年度に新たに地域おこし協力隊の配置を希望される団体を、下記のとおり募集しますので、お知らせします。

なお、市は地域おこし協力隊を配置する団体に、隊員の活動支援業務等を委託します。

記

1. 募集团体 地域活性化に資する活動に取り組む複数の個人または事業者等で構成され、地域おこし協力隊の配置を希望される団体
(例：〇〇生産組合、〇〇協会、〇〇保存会、NPO 法人 等)
※団体の名称が要件となるわけではありません

2. 募集期間 令和8年1月5日(月)～2月9日(月)

3. 応募方法 所定の応募用紙に必要事項を記入し、郵送、持参、メールまたは FAX により提出

4.着任までのスケジュール

令和8年1月5日～2月9日 地域おこし協力隊配置に係る提案(支援団体)募集

令和8年4月中旬～4月下旬 応募された団体へのヒアリング

令和8年5月中旬 地域おこし協力隊募集ミッション・支援団体の決定

令和8年9月上旬～12月下旬 地域おこし協力隊募集

※期間内に「おためし地域おこし協力隊体験ツアー・地域おこし協力隊インターン」を実施予定

※7月や11月に都市部で行われる地域おこし協力隊募集のフェアに出展予定

令和9年1月上旬～下旬 地域おこし協力隊選考(書類選考・面接)

令和9年2月上旬 合否通知

令和9年6月1日 地域おこし協力隊着任日

※着任式は令和9年6月1日の予定

※地域おこし協力隊の配置については、令和9年度萩市当初予算の成立が前提となります。

5. その他 詳細については、萩市公式ホームページに掲載



(萩市公式HP)

記者発表（配付）資料

令和7年12月16日

所属部課	部長	課長	係長・担当	連絡先
萩市土木建築部建築課	中屋 英典	鋤物佳代子	上田 貴之	0838-25-2314

件 名	特定空家等の緊急代執行の開始宣言について
-----	----------------------

下記の建築物について、「空家等対策の推進に関する特別措置法」（平成26年法律第127号）第22条第11項に基づき、緊急代執行を実施いたします。

なお、緊急代執行の実施にあたり、次のとおり開始宣言を行います。

記

- 1 実施日時
- 令和7年12月23日（火） 午前10時30分～
- ※当日の作業は立入禁止表示の設置等を行うのみです。

- 2 場所
- 萩市大字江崎 1285 番地 1
- 3 宣言者
- 萩市土木建築部長（執行責任者）

- 4 対象となる特定空家等の概要
- 所在地 萩市大字江崎 1285 番地 1
- 用途 店舗・居宅・納屋
- 構造 木造瓦葺 2 階建
- 登記床面積 211.55 ㎡



- 5 現況写真



6 当日のスケジュール

時間	内容
10 : 00	マスコミ受付開始、資料配布
10 : 30	開始式 緊急代執行概要説明、注意事項説明等
10 : 35	執行責任者による緊急代執行宣言
10 : 36	作業開始 立入禁止表示の設置等 ※重機等による解体作業は行いません。
11 : 00	終了予定

7 緊急代執行に係る今後の対応スケジュール

令和7年12月～令和8年2月に解体撤去予定

8 取材について

近隣住民への迷惑や混乱を避けるため、代執行初日の取材を希望される方は、以下の注意事項をご確認のうえ、ご了承ください、ご参集くださいますようお願いいたします。

○注意事項

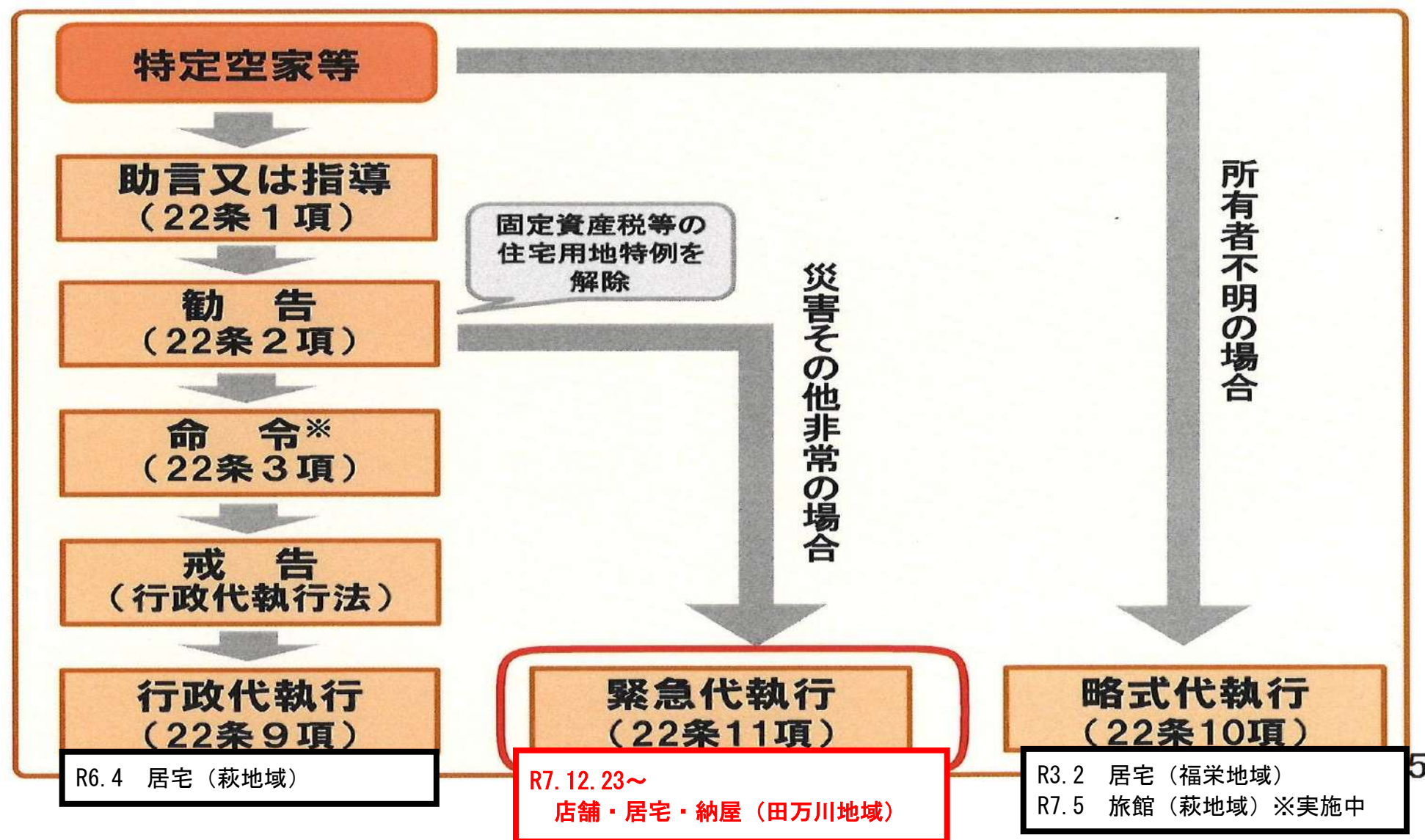
- (1) 当日は、午前10時に報道受付開始し、10時35分に代執行宣言を予定しています。
- (2) 所属報道機関がわかるよう、自社の腕章やスタッフユニフォームをご着用くださいますようお願いいたします。
- (3) 安全対策のため、ヘルメットをご持参のうえ、ご着用くださいますようお願いいたします。
- (4) 代執行初日は、報道機関用のスペースを指定いたしますので、そちらで撮影くださいますようお願いいたします。
- (5) 民有地への無断立ち入りはご遠慮ください。
- (6) 近隣住民や通行人等の迷惑とならないよう、ご配慮願います。
- (7) 車で来場される場合は、別添の報道用駐車場をご利用くださいますようお願いいたします。
- (8) 当日は市職員の指示に従っていただき、代執行の妨げになる行為はお控えください。
- (9) 代執行宣言後、執行責任者がインタビューに応じます。
- (10) 現地でのご質問には対応できませんので、事前に建築課へお問い合わせください。
- (11) 代執行初日以外の現地取材については、建築課までご連絡をお願いいたします。

○市長コメント

本物件は、短期間のうちに建物の傾きが急激に進行し、倒壊の危険が切迫していることから、地域住民の生命、身体又は財産に危害を及ぼすおそれがあると判断し、市民の安全を最優先に考え、やむを得ず、緊急代執行を実施いたします。

空き家は本来、個人の資産であり、所有者の皆様には、空家法及び本市条例に基づき、適切な管理を行っていただく必要があります。市といたしましては、今後も空き家の適正管理について、引き続き啓発に努めてまいります。

代執行の流れと萩市における実施実績



▶報道用駐車場位置（当日は職員を配置しております）

▶報道用駐車場



▶駐車範囲



記者発表（配付）資料

令和7年12月17日

所属部課	部長	課長	班長	係長	担当	連絡先
萩市総合政策部 企画政策課	肌野次雄	谷野芳之	村田直之	岡村真紀	伊達彩果	(0838) 25-3431

件名	令和7年版「ふるさと萩のすがた」（統計資料）の発行について
----	-------------------------------

このたび、別冊のとおり令和7年版「ふるさと萩のすがた」（統計資料）を発行しますので、お知らせします。

- 1 発行日 令和7年12月25日（木）より販売開始
- 2 販売場所 萩市役所企画政策課、各総合事務所市民生活部門、各支所・出張所
- 3 販売金額 1冊100円

4 内容

萩市の市勢に関する基礎的な統計資料とするため、各関係機関が所有している資料や、すでに刊行されている各種統計報告書、市の各部課から提供された資料等を収録したものです。

資料は、令和6年度又は令和7年までの資料を中心に収録しました。

5 その他

本資料は、萩市公式ホームページにも掲載しています。

○萩市公式ホームページ <https://www.city.hagi.lg.jp/soshiki/12/h25656.html>



【統計資料】

令和 7 (2025) 年版

ふるさと萩のすがた

Hagi Statistical Report



萩 市

◆表紙の説明◆

大板山たたら製鉄遺跡

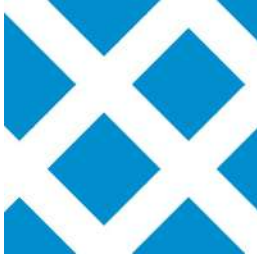
福栄地域の紫福地区にある山の口ダムの先に、大板山たたら製鉄遺跡があります。

日本の伝統的な製鉄方法であるたたら製鉄（砂鉄を木炭で燃焼し鉄を得る方法）の遺跡が、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成資産となっている理由は、恵美須ヶ鼻造船所で建造した1隻目の西洋式帆船「丙辰丸^{へいしんまる}」を建造する際に、大板山たたらで製鉄されたものが船釘などに利用されたことが、古文書で確認できたからです。

このように産業化の初期の現場では、江戸時代に培われた在来技術を利用して、西洋技術を実現化するための試行錯誤が行われました。萩反射炉についても、地元の石工の技術があったからこそ、あのような安山岩による石積みができ、その上部の煉瓦は小畑焼の登り窯の技術を利用して築造されたと推測できます。つまり江戸時代の高度な匠の技術が基盤となってその後の急速な産業化が実現し、また現在のものづくり大国日本の出現を成し得たと言えます。

たたら場が大板山に設置されたのは、周りに炭の原料となる豊富な山林があったからです。現地では宝暦期（1751～1764 のうちの 8 年間）、文化・文政期（1812～1822）、幕末期（1855～明治初め）の3回、稼働しており、発掘調査によって製鉄炉である高殿と呼ばれる施設などの生産遺構が残っていることが確認されています。

市 章



【コンセプト】

この市章は、萩市のシンボルでもある城下町の土塀の文様をモチーフに、全国の中にあっても一見で「城下町・萩」と認識できるように記号化しました。

(平成 17 年 11 月 12 日制定)

萩市民憲章

わたくしたちは、明治維新胎動の地、萩の市民です。この誇るべき歴史と美しい自然が織りなすふるさとを愛し、心のよりどころとなる、あたたかいまちをめざして、この憲章を定めます。

- 一 先人の志と勇氣に学び 歴史と文化を大切にするまちをつくりましょう
- 一 青い海と緑の山を守り 詩情豊かなまちをつくりましょう
- 一 健やかなところを育み 笑顔のあふれる明るいまちをつくりましょう
- 一 互いに助けあい 安心して暮らせる平和なまちをつくりましょう
- 一 進取の気風を受け継ぎ 未来に向かって発展するまちをつくりましょう

(平成 18 年 11 月 11 日制定)

○市 の 木	ヒノキ、マツ
○市 の 花	ツバキ、ハギ
○市の果樹	ナツミカン
○市の生物	ホタル

(平成 18 年 11 月 11 日制定)

萩市民の歌

萩のよろこび

作詞 岡 輝 明
作曲 津室ひとみ

Gadd2 Am/G

し お の か は こ ぶ ー あ さ か ぜ に ー き ぼ
み な も か き ら め く ー あ ぶ が し わ に ー じ ょ
め ぐ る き せ つ の ー や さ し さ に ー え が

Am7 D7 Gadd2 Am7

う に は ず む ま ど あ け る ー み ん な で つ く る ー わ
か の ま つ も は え て ゆ く ー と も と か た ら う ー わ
お あ ふ れ る ひ が と も る ー こ こ ろ き つ な ぐ ー わ

Bm7 CM7 D7

が ま ち は ー み ど り か が や く は ー な の ま ち ー
が ま ち は ー ゆ め を か な え る ま な び の ま ち ー
が ま ち は ー み の り ゆ た か な め ぐ み の ま ち ー

Gadd2 G7 Cadd2

う た お う う た お う は は ぎ ぎ に に
は は ぎ ぎ に に

Am A7 Am7/D D7 G

う ま れ た ー よ ろ こ び ー を ー あ あ ー ふ る さ
そ だ た ー よ ろ こ び ー を ー あ あ ー ふ る さ
す み な ー よ ろ こ び ー を ー あ あ ー ふ る さ

Am Bm7 Em Am7 Am7/D Gadd2

と は ぎ は ふ れ あ ん い つ く る に と の ま ち ー
と は ぎ は あ い を ほ こ る ひ と の ま ち ー
と は ぎ は あ い を ほ こ る ひ と の ま ち ー

萩市民の歌

萩のよろこび

作詞 岡 輝 明
作曲 津室ひとみ

一 潮の香運ぶ 朝風に
希望に弾む 窓開ける

みんなでつくる わがまちは
みどり輝く 花のまち

歌おう 歌おう
萩に生まれた喜びを

ふれあいつくる 虹のまち

二 水面きらめく 阿武川に
城下の松も 映えて流く

友と語らう わがまちは
夢をかなえる 学びのまち

唱おう 唱おう
萩に育った喜びを

ああ ふるさと萩は
維新を誇る 永久のまち

三 めぐる季節の やさしさに
笑顔あふれる 灯がともる

心をつなぐ わがまちは
実り豊かな 恵みのまち

謳おう 謳おう
萩に住みなす喜びを

ああ ふるさと萩は
愛を育てる 人のまち

(平成 22 年 3 月 6 日制定)

統計表の見方

1. 本書は、萩市並びに平成 17 年 3 月 6 日合併前の旧萩市・川上村・田万川町・むつみ村・須佐町・旭村・福栄村の基礎的な統計資料を収録したものです。
2. この統計表は、主として令和 6 年度又は令和 7 年までの各関係機関が所有している資料、すでに刊行されている各種統計報告書、本市各部課から提供された萩市についての統計資料を収録しました。
3. 統計表の「年次」とあるのは暦年（1 月から 12 月）、「年度」とあるのは会計年度（4 月から翌 3 月）を示し、それ以外については、各年の各時点の数値となっています。
4. 統計表は、単位未満の数値を四捨五入しているため、合計と内訳が一致しない場合があります。
5. 統計数値の出所は各表の脚注に示してあります。
6. 統計表中の符号の用法は次のとおりです。
 - 「－」・・・該当数字がないもの
 - 「0」・・・表章単位に満たないもの
 - 「X」・・・数字が秘匿されているもの
 - 「△」・・・減またはマイナス
 - 「…」・・・数字が得られないもの
7. 本書に収録した統計資料について更に詳細な数値が必要な場合又は疑義のある場合には、各表に掲げてある資料提供機関・各部課、又は下記へご連絡ください。

萩市総合政策部企画政策課

〒758-8555

山口県萩市大字江向 510 番地

TEL (0838) 25-3431

FAX (0838) 26-3803

も く じ

表番号

ページ

《萩市の概要》

1 地勢	1
2 歴史	1
3 産業・観光	3
4 萩ジオパーク	6
5 世界遺産	9
6 姉妹都市	12
7 友好都市	14

《数字でみる萩市》

8 位置	17
9 面積	17
10 主な島の面積	17
11 国勢調査における人口、世帯数及び人口密度	17
12 住民基本台帳人口の推移	18
13 人口動態	19
14 人口移動	19
15 国籍・男女別外国人人口	20
16 農業販売高	21
17 産業(大分類)別民営事業所数及び従業者数	22
18 産業(大分類)、経営組織(4区分)、存続・新設・廃業(3区分)別民営事業所数	23
19 従業者規模(6区分)別民営事業所数及び従業者数	24
20 農家数・農家人口	25
21 年齢階層別の基幹的農業従事者数	26
22 販売目的の果樹類の品目別栽培経営体数	26
23 田に作付けた作物別経営体数と面積	27
24 林産物生産量	27
25 産業(大分類)、男女別15歳以上就業者数	28
26 漁業世帯、就業者数、漁船数	29
27 主とする漁業種類別経営体数	29
28 魚種別漁獲量、水揚げ高	30
29 観光入込客数	32
30 県外地方別観光入込客数	33
31 製造業の推移(従業者4人以上の事業所)	33
32 市道の状況	34
33 市道における橋りょうの状況	34
34 都市公園	34

表番号	ページ
35 下水道普及・水洗化等の状況 35
36 水道普及状況 36
37 農村型CATV加入件数 36
38 学校等の状況	
(1) 幼保連携型認定こども園 37
(2) 小学校 37
(3) 中学校 38
(4) 高等学校 38
(5) 特別支援学校 39
(6) 大学 39
(7) 専修学校 40
(8) 各種学校 40
39 社会体育施設の利用状況 41
40 社会教育施設及び関係団体 42
41 保育所等の状況 43
42 保健福祉施設等 44
43 一般会計当初予算及び歳入決算 45
44 一般会計当初予算及び歳出決算 46
45 特別会計当初予算及び歳入歳出決算 48
46 市税収入 49
47 地方交付税 49
48 市債年度末現在高 50
49 萩市水道事業会計決算 51
50 萩市下水道事業会計決算 51
51 萩市病院事業会計決算 52
52 ふるさと寄付の状況 52

《協定締結一覧》

53 包括連携協定 53
54 その他の連携協定 53
55 災害時応援協定 54

《萩市のあゆみ》

56 萩市のあゆみ 58
57 旧市町村のあゆみ 62

《 萩市の概要 》

1 地勢

萩市は、山口県の北部に位置し、総面積は 698.31 km²で、県土の 11.4%に当たります。北部は日本海に面し、東部は益田市（島根県）、津和野町（島根県）、阿武町、南東部は山口市、西部は長門市、美祢市に接しています。

地形は、全体として東部の中国山地から北西部の日本海に向かう傾斜地で、南部市境界付近に標高 700m を超える山々が連なっています。低地は少なく、阿武川河口部に形成された三角州にある市街地とその周辺地に見られ、丘陵地は、田万川地域から須佐地域にかけての臨海部に比較的なだらかに広がっている程度で、大半を山地が占めています。

日本海の沖合いには、大島、相島、櫃島、羽島、肥島、尾島の六つの平らな火山島が浮かび、およそ 45 km 先には見島があります。そのうち見島、大島、相島、櫃島は有人島です。

気候は、沿岸部においては対馬海流の影響を受けて比較的温暖であり、中山間部においては盆地特有の気候で、変化に富んだ豊かな自然環境を有しています。

2 歴史

歴史は、古くは日本書紀にも見られる長門国の五郡の一つ「阿武郡」にさかのぼります。10 世紀前後には長門国阿武郡は周防国とともに後白河院の知行する阿武御領と呼ばれるようになり、東大寺の再建の際には東大寺造営料国として用材の切り出しが行われ、阿武川・大井川流域にはそれにまつわる言い伝えも残されています。

慶長 9 (1604) 年、居城を広島から萩に移した毛利輝元は、三角州に城下町を建設し、以来 260 年余り、毛利 36 万石の城下町として、発展しました。幕末には、吉田松陰など明治維新の原動力となった人材を数多く輩出しました。

明治に入り、萩藩は山口藩となり、徳山藩を統合し、廃藩置県によって山口県・豊浦県・岩国県・清末県が置かれ、その後 4 県が統合して今の山口県が誕生しました。

明治 22 (1889) 年の「明治の大合併」では、阿武郡内に 22 の町村が誕生しました。その後、いくつかの町村統合がなされ、昭和 30 (1955) 年には「昭和の大合併」が行われました。この 2 つの市町村合併により、現在の萩市の基となった旧萩市・川上村・田万川町・むつみ村・須佐町・旭村・福栄村が編成され、平成 17 (2005) 年 3 月 6 日には、この 1 市 2 町 4 村が合併し、新「萩市」となり現在に至っています。

◎市域の変遷

年号	明	治	大	正	昭	和	平
地域	明治22年				昭和30年		平成17年
萩地域	川島村	北古萩町					
	土原村	細工町					
	橋本町	塩屋町					
	御許町	恵美須町					
	唐樋町	瓦屋町					
	江向村	米屋町					
	河添村	東田町					
	平安古町	西田町					
	堀内村	津守町					
	南片河町	上五間町					
	南古萩町	下五間町					
	呉服町	吉田町					
	油屋町	古萩町					
	古魚店町	今古萩町					
	春若町	熊谷町					
	北片河町	浜崎新町					
	樽屋町	浜崎町					
	今魚店町	東浜崎町					
	椿郷東分村	椿郷東分村	椿東村				
			大正10年				
川上地域	椿郷西分村	椿郷西分村	椿村				
			明治43年				
	山田村	山田村					
	三見村	三見村					
	大井村	大井村					
	大島						
	相島						
	尾島	六島村					
	樫島						
	羽島						
田万川地域	肥島						
	見島	見島村					
	川上村	川上村					
	上田万村						
	下田万村	田万崎村					
	江崎村						
	上小川東分村						
	上小川西分村	小川村					
	中小川村						
	下小川村						
むつみ地域	片俣村						
	高佐上村	高俣村					
	高佐下村						
	吉部上村	吉部村					
	吉部下村						
	須佐村	須佐村	須佐町				
			大正13年				
	弥富上村						
	弥富下村	弥富村					
	鈴野川村						
旭地域	明木村	明木村					
	佐々並村	佐々並村					
	福井上村						
	福井下村	福川村					
	黒川村						
	紫福村	紫福村					
福栄地域							

3 産業・観光

萩市の産業別人口は、第一次産業 12.3%、第二次産業 18.2%、第三次産業 69.4%、(令和2年国勢調査)となっています。

▽農業

県下屈指の農業振興地域に位置づけられ、米を基幹作物とし、「コシヒカリ」をはじめとした高品質米の生産に力を入れています。また、県内最大の産地である「千石台だいこん」や「山口あぶトマト」のほか、「萩たまげなす」、「萩相島スイカ」、「大井の玉葱」などの農作物が生産されています。更に、肉用牛の繁殖・肥育経営といった畜産業も盛んな地域で、県内最大規模の肉用牛肥育農場が整備されています。

このように、先代から受け継がれた農地や技術、恵まれた自然環境から生み出される様々な農畜産物のブランド化を進めるとともに、県内外への販路拡大に取り組んでいます。

また、既存法人の連携・規模拡大を促進する中、酒造業、畜産業との連携による「酒造好適米」、「飼料用米」などの生産をはじめ、農地フル活用による需要のある作目への転換誘導にも積極的に取り組んでいます。

やまぐちブランドに登録されている農産物

大井の玉葱、長門ゆずきち、はなっこりー、萩たまげなす、萩・大井の甘夏、萩相島スイカ、ゆめほっぺ



大井の玉葱



はなっこりー



萩たまげなす



萩・大井の甘夏



萩相島スイカ

▽林業

市域の8割を占める森林の豊かな資源、とりわけ、伐期に達した「スギ」、「ヒノキ」を循環的に活用するため、森林団地の形成と主伐・再造林の一貫作業を推進し、作業の生産性の向上を図るとともに、林業経営体の体制強化を支援するなど魅力ある林業

の実現に取り組んでいます。

また、林業6次産業化を進めるため、核となる地域商社と地元森林組合及び地域内外の事業者との連携体制を強化し、萩市産材の利用拡大と高付加価値化、森林に関わる人材の育成に取り組んでいます。



萩市産ヒノキ



森林団地内の作業の様子

▽水産業

萩の水産資源を将来にわたり持続的に活用するため、漁場の適正な管理や資源の保護と育成を図るとともに、藻場や河川の環境保全等に取り組んでいます。

また、漁業者の所得向上のため、萩の魚の価値及び認知度向上の取組のほか、鮮度での差別化による新たな販路の開拓や観光客等を対象とした地魚の消費拡大に取り組んでいます。



活べラベル鮮魚出荷



須佐男命いかと

園児のふれあい



シマフグキャンペーンのPR

▽商工業

豊穡な資源を有する日本海や、肥沃で豊かな土壌の恵みから生み出される水産・農産加工業、観光資源による観光サービス業などが主要産業となっています。また、「一楽二萩三唐津」と呼ばれ、我が国でも屈指の焼き物である「萩焼」も有名です。

地場産業の振興を図るため、萩ブランドの構築や販路拡大などによる利益を生み出す仕組みづくりを推進するとともに、デジタル化、移住者等による担い手の確保、地元高校卒業生の地元企業への就職支援などを推進しています。また、IT関連企業のサテライトオフィスをはじめとした企業進出支援や就業を促すためのIT人材育成を図るとともに、地域を牽引する事業の起業・創業の促進など、地域経済の活性化を図るための積極的な取組を行っています。

▽観光

萩市は、「江戸時代の地図がそのまま使えるまち」といわれるほど、毛利藩政期に形成された城下町のたたずまいが今なお現存しているまちです。また、吉田松陰をはじめ高杉晋作や木戸孝允など近代日本を切り開いた人々を輩出した「明治維新胎動の地」です。さらには、北長門海岸国定公園に指定された美しい海岸線や、国指定名勝の長門峡などすばらしい自然にも恵まれています。

萩市は、こうした歴史・文化遺産、自然を保存・活用するまちづくり、観光地づくりに取り組んでおり、平成 27 年 7 月に、「萩反射炉」、「恵美須ヶ鼻造船所跡」、「大板山たたら製鉄遺跡」、「萩城下町」、「松下村塾」の 5 資産を含む「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」が世界遺産に登録され、また、平成 30 年 9 月には「萩ジオパーク」が日本ジオパークに認定されました。

市内では、水の都・萩の景観を川から眺める「萩八景遊覧船」や、「はぎ温泉」をはじめとした「萩温泉郷」、旬の地産食材を利用した「萩の食」によるおもてなしなど多彩な魅力を体験でき、さらに、須佐ホルンフェルスや笠山などのジオサイトを活用した「学ぶ観光」・「教育観光」などを展開し、見る、触れる、楽しむといった滞在型・体験型観光を推進しています。

4 萩ジオパーク

平成 30 年 9 月 20 日に日本ジオパークネットワーク正会員加盟が認定された萩ジオパークは、令和 4 年 12 月再認定されました。

日本には、48 か所の日本ジオパークがあり、うち 10 か所がユネスコ世界ジオパークに認定されています（2025 年 10 月 31 日現在）。

萩ジオパークのエリアは、萩市・阿武町の全域と、山口市阿東地域で、3 つの時代（白亜紀から古第三紀、新第三紀、第四紀）のマグマ活動によって作られた地形と、そこで育まれた文化や歴史を含む、大地と人の暮らしの結びつきを知ることができる地域です。

例えば、大陸のマグマは萩を代表する焼物「萩焼」の粘土、日本海のマグマの活動でできた海底の溶岩流は大漁場、日本列島となつてからのマグマの活動でできた阿武火山群の溶岩台地は農地として利用されています。多様な地質・地形が多様な産業を生み、その結果、江戸時代の一大都市である“城下町”を形成することができたと言えます。

萩ジオパークは、地球の視点で「萩らしさ」が“見える”“伝わる”まちを目指して、学校での出前授業、市民向けの講座、観光客向けのガイドツアーなどの活動をしています。



ジオパークとは

ジオパーク (Geopark) の Geo-とは「大地の、地球の」という意味の接頭語、park は「公園、囲われた場所」の意味でひとまとまりの言葉です。

ジオパークは、地域らしさを基礎、土台から理解するしくみであり、「大地の遺産」を、守り、学び、活かすしくみです。「大地の遺産」とは、地形や地質、岩石などで、私たちの暮らしの土台である大地が、どのようにしてでき、どのような特徴があるのかを教えてください。ジオパークでは、大地の遺産の中の大地と人の記憶を「守りつなぐ」、大地の遺産から大地と人の記憶を「学び伝える」、住民自らが持続可能な方法で「未来をつくる」、この 3 つの活動が行われます。

《3つのマグマの胎動が彩る萩の大地》

1. 毛利氏が城を築いた指月山は、地下のマグマがゆっくり冷え固まった岩石(花崗岩)の山です。ここでは、日本が約1億年前に大陸の一部だった頃の大規模噴火の元のマグマの記憶に触れることができます。萩の大地のほとんどの部分はこの時代のマグマの活動でできました。白砂青松の菊ヶ浜をはじめとする砂浜は花崗岩が風化してできた砂です。



指月山



淵ヶ平(佐々並)

2. 須佐湾周辺では、約1500万年前の海にたまった泥や砂の地層(新第三紀の海成層)とそこに割り込んできたマグマ(貫入岩)、その熱で焼かれたホルンフェルスなどが見られます。また、日本海沖45kmの見島もこの時代の火山活動でできた島であり、海の中には溶岩台地が広がっています。ここでは、日本海が形成されていくときに海面下で繰り広げられていたマグマ活動の記憶に触れることができます。



須佐ホルンフェルス



見島観音崎

3. 萩沖の平らな島々「萩六島」は 20 万年前から 6 万年前にそれぞれ噴火した火山、溶岩台地です。1 箇所につき 1 度の噴火でできた単成火山で、全体では約 50 個の火山が分布し、阿武火山群と呼ばれています。内陸部にも分布し、弥富の「畳ヶ淵」では、一面に柱状節理が見られ、溶岩が谷に沿って流れ下った様子がよく分かります。阿武火山群で最も新しい火山「笠山」は約 8800 年前の噴火ででき、阿武火山群は活火山に指定されています。今も萩の地下深くではマグマがうごめいています。



笠山から見た萩六島



伏馬山



畳ヶ淵



長門峡



笠山

5 世界遺産



明治日本の産業革命遺産

～製鉄・製鋼、造船、石炭産業～

平成 27 年 7 月 8 日、第 39 回ユネスコ世界遺産委員会において、全会一致で「明治日本の産業革命遺産」が世界遺産に登録されました。日本で 19 番目、文化遺産としては 15 番目となります。そして、令和 7 年に世界遺産登録 10 周年を迎えました。

日本は、幕末における西洋技術の導入以来、西欧以外の地域で初めて、かつ、極めて短期間のうちに飛躍的な発展を遂げ、産業化を達成しました。この発展は、世界の歴史においても特筆すべき出来事でした。明治日本の産業革命遺産は、製鉄・製鋼、造船、石炭産業の重工業部門に西洋技術を移転し、成功した日本独特のプロセスを示すもので、日本が「ものづくり大国」となる基礎をつくった歴史を物語っています。

このように世界史上の奇跡と呼ばれる日本の産業化を表している 8 県 11 市に点在する 23 の構成資産が、ひとつの産業革命遺産として世界文化遺産に登録されました。23 の構成資産のなかには世界的にも例のない稼働中の民間企業による大規模な工業関連施設が含まれており、また、わが国初の本格的なシリアルノミネーションであることも、大きな特徴です。

萩の 5 つの構成資産「萩反射炉」、「恵美須ヶ鼻造船所跡」、「大板山たたら製鉄遺跡」、「萩城下町」、「松下村塾」は、幕末期の日本における産業化の最初期の姿を良好に今に伝えています。これらは、幕末に西欧の技術を取り入れ産業化を目指した萩（長州）藩の全体像とその特質を明瞭に表しているところに大きな価値があります。

【注】シリアルノミネーションとは、広い範囲に分散する複数の資産を同じ歴史・文化群のまとまりとして関連づけ、数珠つなぎにすることにより、全体で顕著な普遍的価値を有するものとして世界遺産に推薦すること。

1 はぎはんしゃろ 萩反射炉

反射炉は鉄製大砲の鑄造に必要な金属溶解炉で、萩（長州）藩の海防強化の一環として導入が試みられました。萩（長州）藩は、反射炉の操業に成功していた佐賀藩に使者を派遣し、反射炉をスケッチして持ち帰ります。現在残っている遺構は煙突にあたる部分で、高さ10.5mの安山岩積み（上方一部レンガ積み）です。オランダの原書によると、反射炉の高さは16mですから約7割程度の規模しかありません。また萩（長州）藩の記録で確認できるのは、安政3（1856）年の一時期に試みに反射炉が操業されたということだけであることから、萩反射炉はこのスケッチをもとに試作的に築造されたと考えられています。

反射炉の遺構は萩のほか葦山（静岡県）と集成館（鹿児島県）にあるだけで、大変貴重な遺跡です。



2 えびすがはなぞうせんじょあと 恵美須ヶ鼻造船所跡

嘉永6（1853）年、幕府は各藩の軍備・海防力の強化を目的に大船建造を解禁し、のちに萩（長州）藩に対しても大船の建造を要請しました。安政3（1856）年、萩（長州）藩は洋式造船技術と運転技術習得のため、幕府が西洋式帆船の君沢型を建造した伊豆国戸田村に船大工棟梁の尾崎小右衛門を派遣します。尾崎は戸田村でスクナー船建造に関わった高崎伝蔵らとともに萩に帰り、近海を視察、小畑浦の恵美須ヶ鼻に造船所を建てることを決定しました。同年12月には萩（長州）藩最初の洋式軍艦「丙辰丸」が、また万延元（1860）年には2隻目の洋式軍艦「庚申丸」が進水します。丙辰丸建造には、大板山たたら製の鉄が船釘などに使用されたことが古文書で確認されています。

現在も当時の規模の大きな防波堤が残っています。



3 おおいたやま せいいてつせい 大板山たたら製鉄遺跡

砂鉄を原料に、木炭を燃焼させて鉄を作っていた江戸時代のたたら製鉄の跡です。日本の伝統的な製鉄方法は、鉄の原料である砂鉄と燃料の木炭を炉に入れ鞆（ふいご）を用いて行います。このような製鉄方法を「たたら」と言います。

大板山たたらは、宝暦期（1751～1763年）の8年間、文化・文政期（1812～1822年）、幕末期（1855～1867年）の3回操業し、原料の砂鉄は島根県から北前船を利用して奈古港に荷揚げされ、駄馬で運ばれていました。幕末期に生産された鉄は、萩（長州）藩が恵美須ヶ鼻造船所で最初に建造した洋式軍艦「丙辰丸」の船釘や碇に使われました。日本の伝統的な製鉄方法が洋式軍艦建造に貢献したことを示す貴重な遺産です。建物跡などの遺構が露出した形で整備されています。



4 はぎじょうかまち 萩城下町

産業技術導入の初期の段階は、当時の日本社会を地方ごとに統治していた「藩」という地域社会を単位として産業技術の導入が進められたという大きな特徴があります。萩城下町は、当時の地域社会の姿を今に伝えています。

慶長 5（1600）年の関ヶ原の合戦で敗れた毛利輝元が萩城を築城し、城下町が計画的に建設されました。江戸時代は武士を頂点とした身分制度が確立されており、萩（長州）藩においても、支配者層であり指導者としての地位にあった武士と町民の暮らす区域は厳格に区別されていました。以後 260 年間、萩は萩（長州）藩の政治、行政、経済の中心地として栄えました。

萩城下町は、①城跡、②旧上級武家地、③旧町人地の 3 地区で構成されています。

①城跡



②旧上級武家地



③旧町人地



5 しょうかそんじゆく 松下村塾

萩（長州）藩の兵学者吉田松陰が主宰した私塾です。木造瓦葺き平屋建て 50 m² の小さな建物で、8 畳の講義室と 10 畳半の控えの間があります。安政元（1854）年、松陰は 25 歳のときに伊豆国下田でアメリカ艦船に乗り込み海外渡航を試みましたが失敗に終わり投獄され、のちに許されて実家（国史跡吉田松陰幽囚ノ旧宅）に謹慎となりました。安政 3（1856）年から門人への指導を開始し、安政 4（1857）年に現存する塾舎（国史跡松下村塾）に移りました。

松陰は、工業の振興や工学教育の重要性を説き、その教えは塾生たちが主導した明治時代の急速な工業化につながりました。



6 姉妹都市

海外

ウルサン 蔚山広域市（大韓民国）

提携年月日 昭和43（1968）年10月29日

蔚山広域市は、朝鮮半島東南部に位置し、古来より朝鮮半島と世界を結ぶ海上交易の拠点として栄えました。1962年に特定工業地区に指定されてからは、自動車、造船、石油化学産業を中心とした韓国最大の重工業都市として知られています。

蔚山広域市と旧萩市とは、大韓民国と日本間において至近の距離にあることから、両市の交流を深め、以て両国の親善を促進するために国交回復後間もなくの昭和43(1968)年に両国間で最初の姉妹都市提携を結びました。

ユーリングゲン・ビルゲンドルフ（ドイツ連邦共和国）

提携年月日 平成4（1992）年6月12日

ユーリングゲン・ビルゲンドルフは、スイス国境近くに位置し、森林と草地に囲まれた保養地であり、1973年にドイツ連邦食糧農林省主催の「わが村は美しく」コンクールで金賞を授賞するなどグリーンツーリズムの先進地として知られています。

ユーリングゲン・ビルゲンドルフと旧旭村とは、「農村自然景観と歴史的な遺産の保全」を基調とした共通のまちづくりが行われていることから、平成4(1992)年に姉妹都市提携を結びました。

トッチンミョン 徳津面（大韓民国）

提携年月日 平成15（2003）年6月18日

徳津面は、朝鮮半島南西部に位置し、百済時代に日本に漢字を伝えたと言われる王仁博士の故郷として有名な全羅南道チョルラナムド霊巖郡に属する農村地域で、梨、緑茶、さつまいもなどの特産品があります。

徳津面と旧福栄村とは、共に農業を中心とした産業構造であることから交流が始まり、相互の農業技術の研鑽を深めながら市民交流の発展を願い、平成15（2003）年に姉妹都市提携を結びました。

国内

下田市（静岡県）

提携年月日 昭和50（1975）年10月28日

下田市は、伊豆半島の南部東側に位置し、天城山系と太平洋の美しい景観や、1854年の「日米和親条約」締結による日本の開港地となったことで知られています。

下田市と旧萩市とは、一方は日本の開国に先鞭をつけた地、また一方は明治維新胎動の地という共に歴史のまちであり、幕末期、萩出身の明治維新の先覚者吉田松陰らが、下田沖に停泊中のペリー艦隊の船に乗り込み、アメリカ合衆国への密航を企てたという深い関わりがあることから、昭和50（1975）年に姉妹都市提携を結びました。

鎌倉市（神奈川県）

提携年月日 昭和54（1979）年11月2日

鎌倉市は、三浦半島の付け根に位置し、12世紀末に源頼朝が幕府を開いた古都として知られる世界的な観光地です。

鎌倉市と旧萩市とは、共に日本史にその名を刻むなど歴史的なまちとして背景が似ていることから、鎌倉市の市制施行40周年行事として、市民アンケート等を行い旧萩市を姉妹都市にふさわしいまちとして選定されました。こうした経緯により昭和54（1979）年に姉妹都市提携を結びました。

輪島市（石川県）

提携年月日 平成2（1990）年10月16日

輪島市は、能登半島の北西部に位置し、能登半島の美しい自然景観をはじめ、伝統工芸の「輪島塗」や日本三大朝市といわれる「輪島朝市」、勇壮な「御陣乗太鼓」などで知られています。

輪島市と旧萩市とは、「輪島塗」と「萩焼」という日本を代表する伝統工芸を共に受け継ぎ、また、日本海側に同じく位置し、漁業や観光が主要産業であるなど類似点が多いことから、平成2（1990）年に姉妹都市提携を結びました。

7 友好都市

海外

台北市士林區（台湾） シリントウ

提携年月日 平成28（2016）年10月3日

士林区は、台湾の主要都市の一つである台北市の北側に位置し、台北市の12の区の中で最大の面積を有しています。

吉田松陰先生の甥にあたる楫取道明は、1895年に台湾における近代教育の先駆けとなるべく台湾に渡り、芝山巖シザンガン学堂で松下村塾を理想とした教育を志しましたが、1896年の芝山巖事件により、現在の台北市士林区において、道半ばにして殉職されました。

道明を縁とし、道明没後120年という節目となる平成28（2016）年に、友好交流協力に関する覚書を結びました

国内

世田谷区（東京都）

提携年月日 平成8（1996）年10月26日

世田谷区は、東京都の西南端に位置し、東京23区の中で最大の人口を有する特別区で、文化・芸術の発信地としても知られています。

世田谷区は、萩藩毛利家とも関わりのある土地柄で、萩市と同様に吉田松陰を祀る「松陰神社」があります。これを縁に、平成4（1992）年には世田谷幕末維新祭りに萩から参加するなど交流が始まり、平成8（1996）年には旧萩市と友好都市となりました。

前橋市（群馬県）

提携年月日 平成14（2002）年12月18日

前橋市は、群馬県の中南部に位置し、明治時代には、製糸業で栄えた群馬県の県庁所在地です。

前橋市では、萩出身で吉田松陰の妹婿でもある榊取素彦が初代群馬県令として、同市を県庁所在地として定め市勢発展の礎を築いたことや、県の教育や産業振興に力を注いだことの功績が高く評価されており、これを縁に旧萩市と平成14（2002）年に友好都市提携を結びました。

周南市（山口県）

提携年月日 平成15（2003）年10月22日

周南市は、山口県東南部に位置し、全国有数の石油コンビナート地帯が瀬戸内海に沿って広がる工業都市です。

周南市と旧須佐町とは、瀬戸内海側と日本海側を結ぶ主要幹線国道315号の起点・終点であることや、藩政期、須佐地域を領した萩藩永代家老の益田親施が、禁門の変の責めを負って周南市徳山で自決した歴史的なつながりがあることから交流が深まり、平成15（2003）年に友好都市提携を結びました。

鹿児島市（鹿児島県）

提携年月日 平成28（2016）年1月21日

鹿児島市は、九州の南端鹿児島県本土のほぼ中央に位置し、江戸時代には薩摩・大隅・日向の三国を治めた島津氏の城下町として発展した鹿児島県の県庁所在地です。

幕末における萩（長州）藩と薩摩藩は、1866年に締結した薩長同盟により、互いに手を取り合って明治維新を成し遂げました。

また、平成27（2015）年7月には萩市と鹿児島市の構成資産を含む「明治日本の産業革命遺産」が世界遺産に登録されました。

こうした歴史的な経緯を踏まえ、薩長同盟から150年の節目となる平成28（2016）年に友好交流に関する盟約を結びました。

石巻市（宮城県）

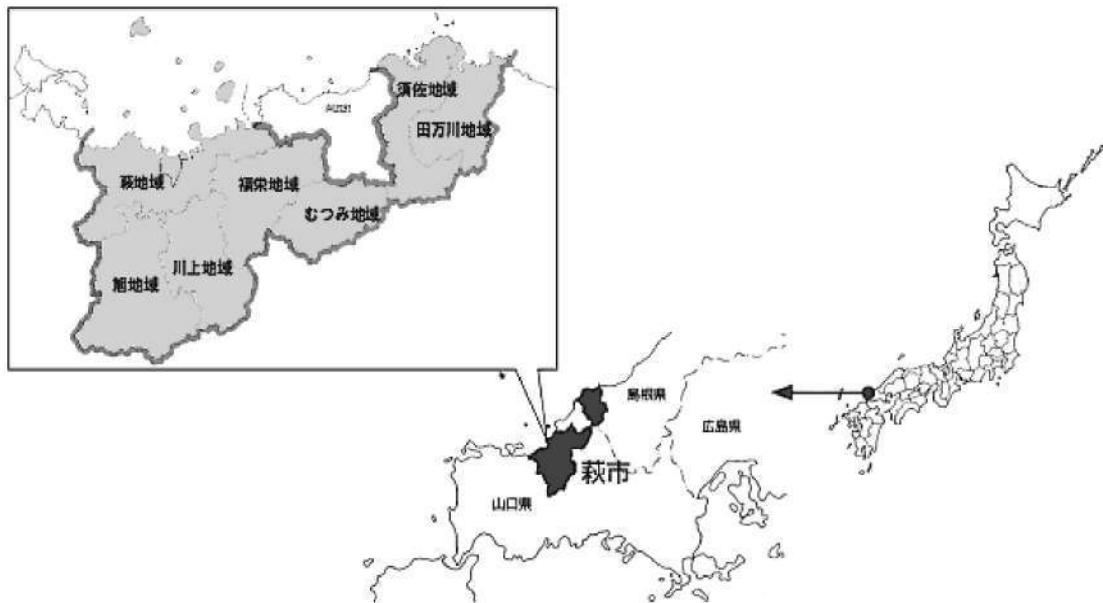
提携年月日 平成28（2016）年4月8日

石巻市は、旧北上川の河口に位置し、宮城県北東部地域を代表する風光明媚な都市です。

石巻市の開祖と称される萩市出身の川村孫兵衛重吉翁が、仙台藩主伊達政宗公の命を受けて、東北一の大河である北上川大改修工事を成し遂げました。

翁を縁とし、翁が成し遂げた大改修工事から400年の節目の年となる平成28（2016）年に友好都市提携に関する協定を結びました。

◎萩市位置図



◎萩市姉妹都市・友好都市位置図



≪数字でみる萩市≫

8 位 置

方 位	地 点	極 限 経 緯 度	隣 接 地
東 端	下 小 川 高 森 山	東 経 131 ° 43 ' 39"	益 田 市
西 端	見 島 西 縁	東 経 131 ° 07 ' 37"	日 本 海
南 端	佐 々 並 西 鳳 翩 山	北 緯 34 ° 12 ' 37"	山 口 市
北 端	見 島 北 縁	北 緯 34 ° 47 ' 55"	日 本 海

資料:市総務課

9 面 積

(単位:km²)

萩市全体	萩	川 上	田 万 川	む つ み	須 佐	旭	福 栄
698.31	138.29	93.22	78.13	69.66	87.15	134.04	98.30

資料:国土地理院ホームページ、市総務課

(令和6年10月1日現在)

【注】萩市全体の数値は、国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」による。

ただし地域については、平成17年の合併以降公表されていないため、「平成16年全国都道府県市区町村別面積調」を基に、境界修正や埋立てによる増減値を反映している。

10 主な島の面積

(単位:km²)

見 島	大 島	相 島	櫃 島	羽 島	鯖 島	尾 島	肥 島
7.76	2.99	2.37	0.83	0.27	0.24	0.22	0.19

資料:国土地理院ホームページ、日本島嶼一覧・離島統計年報(公益財団法人日本離島センター)

(令和6年10月1日現在)

【注】面積が0.1km²以上の島を掲載している。

相島までの島は、国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」による。

櫃島については、離島統計年報により、羽島以降については、日本島嶼一覧から掲載している。

11 国勢調査における人口、世帯数及び人口密度

(単位:km²,世帯,人)

	面 積	世 帯 数	人 口			1 世 帯 当たり人員	一般世帯の 1世帯当たり 人 員	人口密度 (1km ² 当たり)
			男	女	総 数			
昭 和 40 年	697.50	21,216	39,645	44,501	84,146	3.97	4.03	120.6
昭 和 45 年	697.57	21,652	36,374	41,588	77,962	3.60	3.64	111.8
昭 和 50 年	697.62	22,191	35,171	40,131	75,302	3.39	3.42	107.9
昭 和 55 年	697.71	23,026	35,046	39,800	74,846	3.25	3.29	107.3
昭 和 60 年	697.73	23,004	33,814	38,934	72,748	3.16	3.13	104.3
平 成 2 年	699.04	23,045	31,594	37,405	68,999	2.99	2.94	98.7
平 成 7 年	698.71	23,448	29,745	35,548	65,293	2.78	2.74	93.4
平 成 12 年	698.84	23,583	28,283	33,462	61,745	2.62	2.62	88.4
平 成 17 年	698.86	23,093	26,545	31,445	57,990	2.51	2.45	83.0
平 成 22 年	698.79	22,243	24,474	29,273	53,747	2.42	2.34	76.9
平 成 27 年	698.31	21,620	22,730	26,830	49,560	2.29	2.20	71.0
令 和 2 年	698.31	20,432	20,610	24,016	44,626	2.18	2.09	63.9

資料:国勢調査

(各年10月1日現在)

12 住民基本台帳人口の推移

(単位:世帯,人)

区 分	令 和 3 年		令 和 4 年		令 和 5 年		令 和 6 年		令 和 7 年	
	世帯数	人 口	世帯数	人 口	世帯数	人 口	世帯数	人 口	世帯数	人 口
総 計	23,040	44,773	22,922	43,877	22,767	42,961	22,446	41,832	22,081	40,709
萩 小 計	18,047	35,108	17,993	34,509	17,938	33,907	17,712	33,085	17,479	32,280
川 内	7,355	14,261	7,335	14,089	7,322	13,939	7,236	13,695	7,177	13,469
椿 東	5,243	10,251	5,263	10,055	5,280	9,897	5,212	9,656	5,139	9,419
再 掲 小 畑	1,029	1,861	1,050	1,839	1,082	1,839	1,058	1,789	1,004	1,713
再 掲 越ヶ浜	621	1,219	617	1,179	613	1,135	606	1,089	589	1,040
椿	1,921	3,901	1,908	3,865	1,924	3,828	1,895	3,721	1,884	3,645
山 田	1,313	2,496	1,300	2,433	1,269	2,343	1,257	2,258	1,225	2,168
再 掲 木 間	55	98	52	92	53	92	55	88	55	87
三 見	549	1,054	542	1,032	529	986	522	956	512	908
大 井	895	1,707	876	1,643	869	1,588	850	1,525	839	1,480
大 島	273	625	270	601	262	577	263	555	249	521
相 島	60	119	58	112	58	107	58	104	56	99
櫃 島	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2
見 島	437	692	440	677	424	640	418	613	397	569
川 上 小 計	424	765	414	734	411	716	408	703	407	686
川 上	424	765	414	734	411	716	408	703	407	686
田万川小計	1,200	2,369	1,178	2,297	1,149	2,210	1,128	2,145	1,109	2,102
小 川	420	814	418	782	415	755	395	711	398	700
江 崎	780	1,555	760	1,515	734	1,455	733	1,434	711	1,402
むつみ小計	682	1,289	673	1,253	669	1,229	651	1,172	629	1,107
吉 部	424	805	416	780	415	770	405	737	399	707
高 俣	258	484	257	473	254	459	246	435	230	400
須 佐 小 計	1,230	2,285	1,208	2,224	1,177	2,132	1,153	2,073	1,125	1,987
須 佐	999	1,844	983	1,797	956	1,724	936	1,672	917	1,604
弥 富	231	441	225	427	221	408	217	401	208	383
旭 小 計	700	1,425	703	1,392	694	1,354	682	1,310	673	1,289
明 木	424	858	435	849	426	820	421	792	414	775
佐 々 並	276	567	268	543	268	534	261	518	259	514
福 栄 小 計	757	1,532	753	1,468	729	1,413	712	1,344	659	1,258
福 川	386	772	383	736	370	711	361	685	357	662
紫 福	371	760	370	732	359	702	351	659	302	596

資料:市市民課

(各年9月末日現在)

【注】平成24年7月9日に「住民基本台帳の一部を改正する法律」が施行されたことに伴い、人口に外国人数を含む。

13 人口動態

(単位:人, 件)

年 次	出 生 数	死 亡 数	自 然 増 減	婚 姻 件 数	離 婚 件 数
令 和 2 年	189	824	△635	87	50
令 和 3 年	166	903	△737	119	52
令 和 4 年	155	906	△751	99	48
令 和 5 年	136	966	△830	97	42
令 和 6 年	143	962	△819	84	40

資料:人口動態調査

【注】外国人を含まない。

14 人口移動

(単位:人)

年 次	転 入				転 出				社 会 増 減
	総 数	県 外	県 内	その他(職 権記載)	総 数	県 外	県 内	その他(職 権消除)	
令 和 2 年	1,132	568	555	9	1,426	708	695	23	△ 294
令 和 3 年	1,145	653	489	3	1,348	696	640	12	△ 203
令 和 4 年	1,253	741	512	—	1,393	719	652	22	△ 140
令 和 5 年	1,162	665	496	1	1,300	660	622	18	△ 138
令 和 6 年	1,103	593	505	5	1,364	721	634	9	△ 261

資料:山口県人口移動統計調査

【注】「住民基本台帳の一部を改正する法律」が平成24年7月9日に施行されたことに伴い、転入・転出者数について外国人数を含む。

「その他」は、職権(市町長)による住民票の記載、消除。

15 国籍・男女別外国人人口

(単位:人)

区 分	令 和 3 年			令 和 4 年			令 和 5 年			令 和 6 年			令 和 7 年		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
総 数	369	133	236	401	168	233	465	202	263	468	200	268	493	226	267
中 国	51	14	37	46	12	34	66	15	51	59	12	47	53	11	42
韓 国	73	36	37	71	36	35	65	32	33	67	33	34	66	34	32
フィリピン	43	4	39	46	7	39	41	4	37	39	4	35	38	3	35
朝 鮮	9	5	4	8	4	4	6	2	4	6	2	4	7	3	4
ベトナム	120	41	79	109	43	66	106	52	54	112	56	56	106	65	41
アメリカ	4	3	1	9	6	3	6	4	2	7	4	3	8	6	2
タ イ	1	-	1	1	-	1	3	1	2	4	1	3	3	1	2
インドネシア	13	1	12	7	-	7	22	3	19	42	13	29	50	17	33
イギリス	2	2	-	3	2	1	3	2	1	3	2	1	2	1	1
カナダ	-	-	-	1	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
ニカラグア	1	-	1	1	-	1	1	-	1	1	-	1	1	-	1
ス ペ イ ン	1	-	1	1	-	1	1	-	1	1	-	1	1	-	1
スウェーデン	3	2	1	3	2	1	3	2	1	3	2	1	4	3	1
オーストラリア	1	1	-	1	1	-	1	1	-	1	1	-	1	1	-
台 湾	1	-	1	3	2	1	6	1	5	3	-	3	3	-	3
ミャンマー	14	3	11	11	2	9	14	2	12	21	4	17	26	5	21
イタリ ア	1	1	-	1	1	-	1	1	-	1	1	-	1	1	-
ネパール	19	11	8	65	39	26	80	46	34	57	28	29	91	51	40
スリランカ	6	5	1	6	3	3	14	9	5	10	7	3	15	9	6
モンゴル	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ニュージーランド	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-
フ ラ ン ス	1	-	1	2	1	1	2	1	1	1	-	1	2	-	2
ド イ ツ	1	1	-	1	1	-	2	2	-	2	2	-	1	1	-
ギニア	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
イ ン ド	1	1	-	1	1	-	1	1	-	1	1	-	-	-	-
アルゼンチン	-	-	-	1	1	-	1	1	-	1	1	-	1	1	-
バングラデシュ	-	-	-	2	2	-	19	19	-	25	25	-	11	11	-
スロバキア	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ナイジェリア	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
セルビア	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	1	-

資料:市市民課

(各年9月末日現在)

16 農業販売高

(単位:百万円)

年 地	度 域	販 売 高	米	野 菜	果 実	花 き ・ 花 木	加 工 用 野 菜 等	林 産 物	畜 産 物	麦 ・ 豆 ・ 雑 穀	そ の 他
令 和 2 年 度		2,167	873	544	118	5	58	0	351	10	209
令 和 3 年 度		2,056	800	469	109	5	70	0	387	16	200
令 和 4 年 度		2,015	778	516	139	5	55	0	292	10	220
令 和 5 年 度		2,188	1,001	463	131	2	75	0	251	10	251
令 和 6 年 度		2,306	1,035	598	126	1	33	—	273	16	224
本 所		240	—	—	—	—	—	—	—	16	224
萩		265	40	140	49	—	—	—	36	—	—
川 上		39	24	3	4	—	—	—	8	—	—
田 万 川		252	111	11	62	—	—	—	68	—	—
む つ み		878	428	390	—	0	33	—	27	—	—
須 佐		76	33	1	5	0	—	—	37	—	—
旭		102	99	1	2	0	—	—	—	—	—
福 栄		454	300	52	4	1	—	—	97	—	—

資料:JA山口県萩統括本部

【注】掲載数値は、四捨五入しているため、内訳合計と販売高は必ずしも一致しない。

数値は、受託販売額業務報告書より計上。

販売高については、税込金額である。

地域ごとの内訳が不明な数値については、本所に記載。

17 産業（大分類）別民営事業所数及び従業者数

(単位:事業所、人)

	事業所数							
	総数	萩	川上	田万川	むつみ	須佐	旭	福栄
総数	2,695	2,095	60	134	99	123	90	94
A・B 農林漁業	83	21	1	12	19	4	11	15
C 鉱業,採石業,砂利採取業	-	-	-	-	-	-	-	-
D 建設業	239	160	11	12	17	13	17	9
E 製造業	233	165	8	18	11	7	14	10
F 電気・ガス・熱供給・水道業	5	3	-	1	-	-	-	1
G 情報通信業	20	18	1	1	-	-	-	-
H 運輸業,郵便業	40	31	1	1	4	1	1	1
I 卸売業,小売業	682	560	8	34	17	32	14	17
J 金融業,保険業	42	38	-	1	-	3	-	-
K 不動産業,物品賃貸業	106	100	2	4	-	-	-	-
L 学術研究,専門・技術サービス業	75	63	3	2	1	3	1	2
M 宿泊業,飲食サービス業	333	294	7	10	3	11	6	2
N 生活関連サービス業,娯楽業	221	194	4	6	3	8	3	3
O 教育,学習支援業	66	53	-	3	4	4	2	-
P 医療,福祉	256	178	6	16	7	23	12	14
Q 複合サービス事業	43	26	1	4	2	4	3	3
R サービス業 (他に分類されないもの)	251	191	7	9	11	10	6	17

	従業者数							
	総数	萩	川上	田万川	むつみ	須佐	旭	福栄
総数	17,849	14,525	353	838	509	659	412	553
A・B 農林漁業	810	183	10	118	183	40	103	173
C 鉱業,採石業,砂利採取業	-	-	-	-	-	-	-	-
D 建設業	1,393	1,061	40	85	44	82	51	30
E 製造業	2,011	1,536	70	126	55	91	58	75
F 電気・ガス・熱供給・水道業	87	85	-	1	-	-	-	1
G 情報通信業	119	76	1	42	-	-	-	-
H 運輸業,郵便業	469	420	5	1	39	-	3	1
I 卸売業,小売業	3,607	3,144	21	135	72	132	50	53
J 金融業,保険業	313	301	-	6	-	6	-	-
K 不動産業,物品賃貸業	269	259	3	7	-	-	-	-
L 学術研究,専門・技術サービス業	339	261	49	9	6	4	2	8
M 宿泊業,飲食サービス業	1,929	1,741	28	34	8	67	34	17
N 生活関連サービス業,娯楽業	779	706	30	20	3	9	4	7
O 教育,学習支援業	423	388	-	3	14	9	9	-
P 医療,福祉	3,654	2,959	57	202	56	185	76	119
Q 複合サービス事業	396	315	2	28	7	18	9	17
R サービス業 (他に分類されないもの)	1,251	1,090	37	21	22	16	13	52

資料: 令和3年経済センサス-活動調査

(令和3年6月1日現在)

【注】 公務を含まない。

18 産業（大分類）、経営組織（4区分）、存続・新設・廃業（3区分）別民営事業所数

(単位:事業所)

	事業所数					事業所数			
	総数	存続	新設	廃業		総数	存続	新設	廃業
総数	2,695	2,265	430	924					
A・B 農林漁業	83	71	12	16	K 不動産業,物品賃貸業	106	82	24	54
個人	個人	36	35	1	35
会社	31	26	5	7	会社	65	45	20	18
会社以外の法人	50	43	7	8	会社以外の法人	4	2	2	-
法人でない団体	2	2	-	1	法人でない団体	1	-	1	1
C 鉱業,採石業,砂利採取業	-	-	-	-	L 学術研究,専門・技術サービス業	75	61	14	18
個人	-	-	-	-	個人	33	28	5	12
会社	-	-	-	-	会社	36	29	7	3
会社以外の法人	-	-	-	-	会社以外の法人	6	4	2	3
法人でない団体	-	-	-	-	法人でない団体	-	-	-	-
D 建設業	239	213	26	77	M 宿泊業,飲食サービス業	333	257	76	141
個人	105	92	13	55	個人	226	186	40	96
会社	130	117	13	22	会社	101	70	31	41
会社以外の法人	4	4	-	-	会社以外の法人	5	1	4	1
法人でない団体	-	-	-	-	法人でない団体	1	-	1	3
E 製造業	233	207	26	48	N 生活関連サービス業,娯楽業	221	176	45	78
個人	105	93	12	33	個人	154	126	28	59
会社	123	111	12	14	会社	57	45	12	19
会社以外の法人	5	3	2	-	会社以外の法人	10	5	5	-
法人でない団体	-	-	-	1	法人でない団体	-	-	-	-
F 電気・ガス・熱供給・水道業	5	3	2	1	O 教育,学習支援業	66	53	13	41
個人	1	1	-	-	個人	38	30	8	35
会社	4	2	2	1	会社	10	7	3	3
会社以外の法人	-	-	-	-	会社以外の法人	16	15	1	2
法人でない団体	-	-	-	-	法人でない団体	2	1	1	1
G 情報通信業	20	12	8	5	P 医療,福祉	256	211	45	57
個人	2	2	-	3	個人	52	46	6	15
会社	16	9	7	2	会社	16	12	4	9
会社以外の法人	1	1	-	-	会社以外の法人	187	153	34	33
法人でない団体	1	-	1	-	法人でない団体	1	-	1	-
H 運輸業,郵便業	40	37	3	8	Q 複合サービス事業	43	41	2	4
個人	4	4	-	4	個人	-	-	-	-
会社	31	29	2	4	会社	23	22	1	1
会社以外の法人	5	4	1	-	会社以外の法人	20	19	1	3
法人でない団体	-	-	-	-	法人でない団体	-	-	-	-
I 卸売業,小売業	682	588	94	276	R サービス業 (他に分類されないもの)	251	217	34	62
個人	294	252	42	171	個人	12	12	-	6
会社	348	307	41	87	会社	60	49	11	14
会社以外の法人	37	26	11	15	会社以外の法人	166	148	18	41
法人でない団体	3	3	-	3	法人でない団体	13	8	5	1
J 金融業,保険業	42	36	6	38					
個人	11	10	1	28					
会社	19	16	3	9					
会社以外の法人	12	10	2	1					
法人でない団体	-	-	-	-					

資料:令和3年経済センサス-活動調査

(令和3年6月1日現在)

【注】公務を含まない。

19 従業者規模（6区分）別民営事業所数及び従業者数

(単位:事業所、人)

	事業所数						出向・派遣 従業者のみ
	総数	1～4人	5～9人	10～19人	20～29人	30人以上	
総数	2,695	1,745	478	275	81	93	23
萩	2,095	1,350	383	207	64	76	15
川上	60	39	9	6	3	2	1
田万川	134	84	26	16	3	5	－
むつみ	99	72	9	10	4	2	2
須佐	123	80	22	14	1	4	2
旭	90	65	15	6	2	2	－
福栄	94	55	14	16	4	2	3

	従業者数					
	総数	1～4人	5～9人	10～19人	20～29人	30人以上
総数	17,849	3,432	3,157	3,622	1,905	5,733
萩	14,525	2,696	2,513	2,722	1,496	5,098
川上	353	70	52	75	74	82
田万川	838	158	184	229	67	200
むつみ	509	136	67	125	106	75
須佐	659	160	144	190	22	143
旭	412	122	98	77	52	63
福栄	553	90	99	204	88	72

資料: 令和3年経済センサス-活動調査

(令和3年6月1日現在)

【注】 公務を含まない。

20 農家数・農家人口

(単位:戸、人)

地 域	総 農 家 数			販 売 農 家						
	計	販 売 農 家 数	自 給 的 農 家 数	専 業 農 家	兼 業 農 家			農 業 就 業 者 数		
					計	1 種	2 種	計	男	女
平成22年	3,186	2,115	1,071	837	1,278	199	1,079	2,852	1,394	1,458
萩	1,230	693	537	262	431	75	356	1,008	472	536
川 上	143	78	65	27	51	5	46	87	46	41
田 万 川	340	217	123	94	123	25	98	312	166	146
む つ み	383	307	76	152	155	33	122	445	218	227
須 佐	312	221	91	85	136	21	115	299	157	142
旭	335	271	64	107	164	7	157	294	135	159
福 栄	443	328	115	110	218	33	185	407	200	207
平成27年	2,727	1,672	1,055	769	903	104	799	2,337	1,161	1,176
萩	1,098	568	530	269	299	35	264	829	388	441
川 上	125	59	66	27	32	1	31	64	30	34
田 万 川	283	172	111	80	92	14	78	253	140	113
む つ み	302	229	73	126	103	16	87	356	183	173
須 佐	264	181	83	80	101	15	86	249	135	114
旭	285	207	78	85	122	5	117	273	124	149
福 栄	370	256	114	102	154	18	136	313	161	152
令和2年	2,143	1,266	877
萩	906	444	462							
川 上	93	46	47							
田 万 川	190	113	77							
む つ み	231	174	57							
須 佐	199	133	66							
旭	222	156	66							
福 栄	302	200	102							

資料:農林業センサス

(各年2月1日現在)

【注】 販売農家専兼業別については、令和2年調査項目なし。

販売農家とは、経営耕地面積が30a以上又は調査期日前1年間における農産物販売金額が50万円以上の農家。

自給的農家とは、経営耕地面積が30a未満で、かつ、調査期日前1年間における農産物販売金額が50万円未満の農家。

農業就業者数とは、自営農業に従事した世帯員(農業従事者)のうち、調査期日前1年間に自営農業のみに従事した者又は農業とそれ以外の仕事の両方に従事した者のうち、自営農業が主の者。

21 年齢階層別の基幹的農業従事者数

(単位:人)

	総 数	男			女		
		計	15～64歳	65歳以上	計	15～64歳	65歳以上
総 数	1,515	897	188	709	618	117	501
萩	580	323	65	258	257	51	206
川 上	47	27	1	26	20	5	15
田 万 川	138	88	21	67	50	11	39
む つ み	237	142	37	105	95	21	74
須 佐	149	97	21	76	52	13	39
旭	145	85	12	73	60	2	58
福 栄	219	135	31	104	84	14	70

資料:2020年農林業センサス

(令和2年2月1日現在)

【注】「基幹的農業従事者」とは、15歳以上の世帯員のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者をいう。

22 販売目的の果樹類の品目別栽培経営体数

(単位:経営体)

	平成28年度 産地別生産額(億円)																	
	みかん	温州かんきつ	その他のかんきつ	りんご	ぶどう	日本なし	西洋なし	もも	おうとう	びわ	かき	くり	うめ	すもも	フルーツ	キウイ	アップル	パイナップル
総数	22	214	7	16	X	1	X	X	X	X	X	X	X	2	X	X	X	24
萩	20	157	－	3	X	－	X	X	X	X	X	X	X	1	X	X	X	9
川上	－	17	－	－	X	－	X	X	X	X	X	X	X	－	X	X	X	5
田万川	1	10	5	6	X	1	X	X	X	X	X	X	X	－	X	X	X	2
むつみ	－	－	－	2	X	－	X	X	X	X	X	X	X	－	X	X	X	－
須佐	1	10	1	－	X	－	X	X	X	X	X	X	X	－	X	X	X	3
旭	－	17	1	2	X	－	X	X	X	X	X	X	X	－	X	X	X	5
福栄	－	3	－	3	X	－	X	X	X	X	X	X	X	1	X	X	X	－

資料:2020年農林業センサス

(令和2年2月1日現在)

23 田に作付けた作物別経営体数と面積

(単位:経営体,ha)

地 域	計		水 稻		小 麦		大 豆		左記以外の雑穀・豆類等	
	実経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積
総 数	966	1,666	954	1,553	1	1	17	36	60	77
萩	253	199	250	193	-	-	-	-	12	5
川 上	30	59	30	53	-	-	1	4	1	3
田 万 川	94	240	91	207	1	1	6	9	7	23
む つ み	147	457	144	440	-	-	3	0	6	17
須 佐	126	155	126	151	-	-	-	-	10	4
旭	143	197	142	167	-	-	4	19	12	11
福 栄	173	357	171	342	-	-	3	3	12	12

資料:2020年農林業センサス

(令和2年2月1日現在)

【注】面積は各単位ごとに四捨五入しており、合計とその内訳の計が一致しないことがある。

24 林産物生産量

(単位:千m³,t)

年次	素 材 生 産 量			特 用 林 産 物 生 産 量														
	総数	針葉樹	広葉樹	生しいたけ		乾しいたけ		なめこ	えのきたけ	ひらたけ	まつたけ	ぶなしめじ	たけのこ	沢わさび	畑わさび	竹材 (千束)	木炭	竹炭
				原木	菌床	原木	菌床											
令和元年	48	37	11	6.3		0.8		0.1	-	0.0	-	-	-	0.0	0.0	-	3.5	3.8
令和2年	40	33	7	3.4	3.8	1.2		0.0	-	0.0	-	-	-	-	0.3	-	3.5	3.3
令和3年	33	30	3	2.3	2.1	0.6	0.0	0.1	-	0.0	-	-	-	0.0	-	-	-	3.2
令和4年	23	20	3	1.7	3.6	0.7	0.0	0.1	-	0.0	-	-	-	0.0	-	-	-	1.4
令和5年	14	8	6	1.9	2.7	0.4	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.5

資料:山口県森林・林業統計要覧

【注】数字の単位未満は、四捨五入を原則としているため、総数と内訳の計が一致しない。

令和2年より、しいたけについては、原木と菌床に分けて公表。

25 産業（大分類）、男女別15歳以上就業者数

(単位:人)

区 分	総 数	男	女	萩	川上	田万川	むつみ	須佐	旭	福栄	産業別 分類構 成比
15 歳 以 上 人 口	40,532	18,500	22,032	31,619	718	2,219	1,169	2,102	1,294	1,411	
労 働 力 人 口	22,430	11,872	10,558	17,533	409	1,177	709	1,128	686	788	21,395
就 業 者 人 口	21,719	11,401	10,318	16,957	399	1,144	691	1,082	675	771	
第 1 次 産 業	2,633	1,748	885	1,312	61	288	310	240	153	269	
A 農業,林業	2,008	1,228	780	764	61	258	310	194	153	268	2,633
うち農業	1,911	1,148	763	733	46	252	296	182	141	261	
B 漁業	625	520	105	548	—	30	—	46	—	1	12.3 %
第 2 次 産 業	3,904	2,691	1,213	3,021	115	234	74	219	134	107	
C 鉱業,採石業,砂利 採取業	8	6	2	7	—	1	—	—	—	—	3,904
D 建 設 業	1,853	1,576	277	1,434	64	82	41	109	70	53	
E 製 造 業	2,043	1,109	934	1,580	51	151	33	110	64	54	18.2 %
第 3 次 産 業	14,858	6,779	8,079	12,366	218	608	295	606	381	384	
F 電気・ガス・熱供 給・水道業	101	89	12	89	2	4	1	3	1	1	
G 情報通信業	125	81	44	99	—	6	1	12	4	3	
H 運輸業,郵便業	875	763	112	733	12	32	26	30	22	20	
I 卸売業,小売業	3,305	1,533	1,772	2,799	44	134	63	114	58	93	
J 金融業,保険業	355	126	229	322	1	6	2	12	6	6	
K 不動産業,物品賃 貸業	186	107	79	169	—	3	5	3	3	3	
L 学術研究,専門・ 技術サービス業	354	225	129	294	5	16	6	13	16	4	14,858
M 宿泊業,飲食サー ビス業	1,434	442	992	1,221	28	39	21	66	36	23	
N 生活関連サービス 業,娯楽業	669	259	410	593	15	15	7	18	13	8	
O 教育,学習支援業	1,119	449	670	982	13	34	13	31	25	21	
P 医療,福祉	3,567	882	2,685	2,867	47	186	82	184	92	109	
Q 複合サービス業	490	284	206	352	9	37	15	30	24	23	
R サービス業(他に 分類されないもの)	1,214	780	434	956	25	55	25	55	47	51	
S 公務(他に分類さ れるものを除く)	1,064	759	305	890	17	41	28	35	34	19	69.4 %
T 分類不能の産業	324	183	141	258	5	14	12	17	7	11	
完 全 失 業 者	711	471	240	576	10	33	18	46	11	17	

資料:国勢調査

(令和2年10月1日現在)

【注】構成比率は、小数点第2位を四捨五入した数値である。

26 漁業世帯、就業者数、漁船数

(単位:経営体,世帯,人,隻)

	個人 経営体	団体 経営体	漁業 就業者数	漁船 総隻数	うち 無動力船	うち 動力 船		
						1トン 未満	1～5	5トン 以上
平成 25 年	562	27	902	711	7	30	376	196
平成 30 年	441	25	729	558	5	20	295	154
令和 5 年	342	21	586	423	5	13	221	127

資料:漁業センサス

(各年11月1日現在)

27 主とする漁業種類別経営体数

(単位:経営体)

	総 数	底びき網		船 び き 網	中 ・ 小 型 ま き 網	そ の 他 の 刺 網	大 型 定 置 網	小 型 定 置 網	そ の 他 の 網 漁 業	はえ縄		釣				採 貝 ・ 採 藻	そ の 他 の 漁 業	海面養殖			
		沖 合 底 び き 網	小 型 底 び き 網							近 海 ま ぐ ろ は え 縄	そ の 他 の は え 縄	沿 岸 か つ お 一 本 釣	沿 岸 い か 釣	ひ き 縄 釣	そ の 他 の 釣			ぶ り 類 養 殖	ま だ い 養 殖	ひ ら め 養 殖	そ の 他 の 魚 類 養 殖
平成 25 年	589	-	14	5	4	44	3	2	20	-	54	2	115	14	122	164	26	-	-	-	-
平成 30 年	466	-	8	6	6	48	5	4	14	-	77	3	88	53	222	174	67	1	-	-	-
令和 5 年	363	-	6	4	4	29	5	6	11	-	63	13	117	51	141	138	36	-	-	-	-

資料:漁業センサス

(各年11月1日現在)

28 魚種別漁獲量、水揚げ高

年 度 魚 種 名	総 数		萩		田 万 川		須 佐	
	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
	(t)	(千円)	(t)	(千円)	(t)	(千円)	(t)	(千円)
令和2年度	5,186	3,026,056	4,841	2,682,504	276	264,513	69	79,038
令和3年度	4,983	2,712,863	4,578	2,382,605	324	240,058	80	90,200
令和4年度	5,265	2,792,668	4,938	2,486,663	266	232,335	61	73,670
令和5年度	5,699	2,965,716	5,481	2,712,282	170	177,312	47	76,122
令和6年度	5,487	2,745,512	5,196	2,483,144	253	196,177	38	66,191
	(Kg)	(千円)	(Kg)	(千円)	(Kg)	(千円)	(Kg)	(千円)
魚 類 計	4,947,268	1,993,262	4,722,657	1,831,580	214,114	152,895	10,497	8,787
まぐろ類	72,399	78,513	62,453	65,432	9,127	12,585	820	496
かじき類	3,482	1,489	2,031	903	1,451	586	-	-
かつお類	61,823	12,545	36,941	10,781	24,874	1,755	8	9
さめ類	2,250	684	2,116	660	134	24	-	-
まいわし	353,161	19,247	318,263	18,247	34,898	1,001	-	-
うるめいわし	52,391	3,368	52,391	3,368	-	-	-	-
たれくちいわし	23,580	3,029	23,580	3,029	-	-	-	-
しらす	19,900	10,363	19,900	10,363	-	-	-	-
あじ類	1,580,465	435,120	1,545,373	429,256	34,881	5,747	211	117
さば類	1,506,345	107,129	1,499,802	106,520	6,543	609	0	0
さんま	16	17	-	-	16	17	-	-
ぶり類	314,644	155,860	305,695	151,042	8,116	4,596	834	221
ひらそ	118,026	83,082	96,127	69,309	18,550	11,625	3,349	2,148
ひらめ	7,850	8,201	6,441	6,499	895	967	515	736
かれい類	1,277	1,020	1,100	886	177	134	-	-
にべぐち類	35	10	35	10	-	-	-	-
えそ類	27,407	6,901	26,922	6,827	485	74	-	-
はも	577	330	577	329	-	1	-	-
たちうお	27	14	27	14	-	-	-	-
ほうぼう類	11,135	11,960	11,091	11,930	44	31	-	-
えい類	1,020	147	1,010	145	10	2	-	-
まだい	56,965	41,742	54,225	39,681	2,039	1,590	702	471
くろだい	497	224	450	206	47	18	-	-
その他たい類	126,506	75,989	115,414	71,686	11,036	4,268	56	35
さわら類	104,574	89,964	102,984	88,542	1,486	1,345	104	78
しいら類	28,764	8,837	19,457	6,060	9,299	2,777	8	0
とびうお類	12,869	3,028	5,714	1,503	7,155	1,526	-	-
すずき	4,918	5,916	4,242	5,056	288	561	389	300
あまだい類	114,356	325,097	93,143	254,233	21,213	70,864	-	-
ほんふぐ	14,160	139,402	11,255	130,869	2,903	8,526	2	7
なめたふぐ	92,597	75,851	92,357	75,722	240	129	-	-
さばふぐ	1,105	950	1,068	937	37	14	-	-
その他ふぐ	4,839	2,293	4,310	1,916	529	377	-	-
あなご	5,393	7,407	5,198	7,130	186	273	8	4

資料:市水産課

【注】掲載数値は、四捨五入しているため、内訳合計と計は必ずしも一致しない。
金額については、税抜金額である。

28 魚種別漁獲量、水揚げ高(つづき)

年 魚 種 度 名	総 数		萩		田 万 川		須 佐	
	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
	(Kg)	(千円)	(Kg)	(千円)	(Kg)	(千円)	(Kg)	(千円)
し ろ う お	12	118	9	98	-	-	3	21
金 太 郎	3,626	2,613	3,626	2,613	-	-	-	-
い さ き	52,395	52,534	42,525	42,786	8,020	8,196	1,850	1,552
き す	30	29	30	29	-	-	-	-
か ま す	15,230	10,054	14,895	9,950	335	104	-	-
い と よ り	56,570	62,029	55,235	60,976	1,331	1,052	4	2
か わ は ぎ	14,178	11,437	11,646	9,614	2,513	1,806	19	17
かさご(がら)	15,707	18,932	14,868	18,099	539	569	301	264
お こ ぜ	316	1,019	298	942	17	71	1	5
め じ な	2,929	1,742	2,560	1,479	365	262	4	0
め ば る	2,179	2,400	2,151	2,374	24	22	4	5
あ ん こ う	919	409	914	408	5	1	-	-
ま とう だ い	6,337	3,771	6,010	3,580	323	188	4	3
こ の し ろ	150	27	150	27	-	-	-	-
は た 類	35,971	99,581	31,292	89,037	3,396	8,274	1,283	2,269
や は で	913	685	907	678	-	-	6	7
そ の 他 魚 類	14,457	10,151	13,849	9,803	594	330	14	18
貝 類 計	316,417	342,248	307,895	328,603	6,861	8,434	1,662	5,210
あ わ び 類	8,836	51,968	7,928	43,243	492	4,876	417	3,850
さ ぎ え	148,219	153,477	145,869	151,165	1,871	1,897	479	415
に な	18	12	18	12	-	-	-	-
と こ な つ	58	198	58	198	-	-	-	-
バ イ 貝	141,904	117,770	139,787	116,405	2,117	1,366	-	-
そ の 他 貝 類	17,382	18,822	14,235	17,581	2,381	296	766	945
水 産 動 物 計	220,153	403,520	161,897	316,563	32,160	34,848	26,095	52,109
そ の 他 え び	1,391	2,612	1,391	2,612	-	-	-	-
そ の 他 か に 類	107	158	12	8	91	144	4	5
す る め い か	16,605	7,657	14,552	7,028	2,038	625	15	4
こ う い か 類	3,789	3,161	3,417	2,894	288	201	84	66
けんさきいか	94,698	147,181	69,415	100,564	10,089	14,242	15,194	32,375
や り い か	44,377	58,352	18,171	23,844	16,385	16,041	9,821	18,466
そ の 他 い か 類	21,345	25,842	18,623	22,600	2,481	2,728	241	514
た こ 類	10,885	13,113	10,765	12,894	48	99	73	120
う に 類	4,432	126,538	4,432	126,538	-	-	-	-
な ま こ 類	22,524	18,907	21,119	17,581	741	767	664	559
海 藻 類 計	3,263	6,482	3,182	6,397	-	-	81	85
わ か め	2,152	4,700	2,098	4,647	-	-	54	53
て ん ぐ さ 類	0	1	0	1	-	-	-	-
も ず く	699	1,256	682	1,230	-	-	17	26
そ の 他 藻 類	411	524	402	519	-	-	10	5

資料:市水産課

29 観光入込客数

(単位:人)

年地	次域	総数	県外客	県内客	内宿泊客
総	数				
令和2年		3,199,061	970,549	2,228,512	261,771
令和3年		3,178,124	975,572	2,202,552	244,119
令和4年		3,614,421	1,244,627	2,369,794	288,861
令和5年		3,828,146	1,497,306	2,330,840	283,955
令和6年		3,892,992	1,654,693	2,238,299	307,468
萩					
令和2年		2,275,905	756,064	1,519,841	245,503
令和3年		2,224,381	687,260	1,537,121	225,109
令和4年		2,579,592	949,051	1,630,541	270,353
令和5年		2,810,670	1,165,421	1,645,249	267,213
令和6年		2,805,221	1,298,617	1,506,604	291,688
川上					
令和2年		150,680	19,267	131,413	4,033
令和3年		167,247	21,558	145,689	5,459
令和4年		162,541	20,433	142,108	5,222
令和5年		146,917	17,536	129,381	4,604
令和6年		191,105	21,911	169,194	4,107
田万川					
令和2年		197,495	115,035	82,460	3,522
令和3年		201,905	115,379	86,526	3,742
令和4年		253,547	159,270	94,277	4,321
令和5年		274,593	179,310	95,283	3,912
令和6年		282,074	178,617	103,457	3,583
むつみ					
令和2年		231,785	45,843	185,942	60
令和3年		221,162	43,248	177,914	62
令和4年		238,517	46,968	191,549	46
令和5年		205,612	41,124	164,488	22
令和6年		237,128	47,426	189,702	29
須佐					
令和2年		94,216	20,263	73,953	5,911
令和3年		95,596	22,924	72,672	6,801
令和4年		95,407	22,119	73,288	6,055
令和5年		91,971	25,703	66,268	6,170
令和6年		99,607	31,289	68,318	6,616
旭					
令和2年		147,999	2,622	145,377	2,742
令和3年		175,903	75,781	100,122	2,946
令和4年		189,049	37,625	151,424	2,864
令和5年		195,364	58,319	137,045	2,034
令和6年		173,559	66,787	106,772	1,445
福栄					
令和2年		100,981	11,455	89,526	-
令和3年		91,930	9,422	82,508	-
令和4年		95,768	9,161	86,607	-
令和5年		103,019	9,893	93,126	-
令和6年		104,298	10,046	94,252	-

資料:市観光課

30 県外地方別観光入込客数

(単位:人)

年次	総数	中国	四国	九州 沖縄	近畿	中部	関東	北海道 東北	その他
令和2年	970,549	335,146	30,367	167,317	166,927	59,870	178,951	13,348	18,623
令和3年	975,572	295,516	24,821	182,073	170,973	50,035	220,228	22,487	9,439
令和4年	1,244,627	345,140	26,729	217,283	213,692	84,292	311,382	36,722	9,387
令和5年	1,497,306	328,907	46,793	286,678	245,382	120,554	406,483	46,152	16,357
令和6年	1,654,693	435,622	28,945	261,125	324,046	112,355	441,846	33,080	17,674

資料:市観光課

31 製造業の推移(従業者4人以上の事業所)

(単位:事業所、人、万円)

年次	事業所数	従業者数（臨時雇用者含まず）					現金給与 総額
		総数	常用労働者数			個人事業主 家族従業者数	
			計	男	女		
平成29年	87	1,638	1,629	809	820	9	452,676
平成30年	89	1,694	1,687	838	849	7	487,978
令和元年	83	1,684	1,673	858	815	11	504,970
令和2年	80	1,644	1,639	832	807	5	490,663
令和3年	80	1,386	1,386	743	643	-	416,976

年次	原材料 使用額等	製造品出荷額等				粗付加価値額
		総額	製造品 出荷額	加工賃 収入額	その他 収入額	
平成29年	1,211,267	2,233,461	2,093,169	104,684	35,608	941,639
平成30年	1,327,684	2,343,535	2,204,896	113,764	24,875	936,616
令和元年	1,448,189	2,527,145	2,364,404	111,058	51,683	999,670
令和2年	1,359,717	2,424,248	2,264,045	112,436	47,767	986,814
令和3年	990,955	1,730,991	1,555,678	115,789	59,524	674,360

資料:山口県の工業(工業統計調査、令和3年経済センサス-活動調査(製造業)集計結果)

【注】調査結果のうち、製造品出荷額等、粗付加価値額等の経理項目は、1年間(前年の1月～12月)の数値である。

また、事業所数、従業者数については、表示年次の翌年6月1日現在の数値である。

32 市道の状況

(単位:m、%)

区 地	分 域	実 延 長	路線数	改良済 延 長	舗装済 延 長	舗装率	自動車 交通不能 道延長	歩道設置 道路延長	鉄 道 と の	
									交 差	(内) 立 体 差
総 数		1,000,411	1,271	591,815	900,861	90.0	42,760	37,905	59	21
萩		279,068	437	158,098	267,755	95.9	726	23,965	46	16
川 上		69,822	46	38,568	48,740	69.8	6,555	1,548	-	-
田 万 川		122,505	116	92,012	121,746	99.4	2,247	2,877	7	4
む つ み		135,675	206	83,324	131,322	96.8	3,839	6,384	-	-
須 佐		116,881	149	76,035	110,169	94.3	3,290	951	6	1
旭		101,044	106	50,813	75,553	74.8	17,495	432	-	-
福 栄		175,416	211	92,964	145,575	83.0	8,607	1,748	-	-

資料:市土木課

(令和7年3月31日現在)

【注】掲載数値は、四捨五入しているため、内訳合計と総数は必ずしも一致しない。

33 市道における橋りょうの状況

(単位:㎡、m)

区 地	分 域	面 積	橋 数 及 び 延 長							
			木 橋		永 久 橋		石橋・混合橋		合 計	
			箇 所	延 長	箇 所	延 長	箇 所	延 長	箇 所	延 長
総 数		45,764	11	33	738	8,459	13	64	762	8,557
萩		15,383	-	-	226	2,179	10	56	236	2,234
川 上		5,045	-	-	58	918	-	-	58	918
田 万 川		6,371	-	-	80	1,347	-	-	80	1,347
む つ み		5,891	1	4	83	1,075	-	-	84	1,079
須 佐		3,371	-	-	73	773	-	-	73	773
旭		5,398	8	23	124	1,228	2	5	134	1,257
福 栄		4,305	2	6	94	941	1	4	97	951

資料:市土木課

(令和7年3月31日現在)

【注】掲載数値は、四捨五入しているため、内訳合計と総数は必ずしも合致しない。

34 都市公園

(単位:ha)

	総 数		都 市 基 幹 公 園				住 区 基 幹 公 園		特 殊 公 園		そ の 他 の 公 園	
			総 合 公 園		運 動 公 園		街 区 公 園		歴 史 公 園 ・ 墓 園		都 市 緑 地	
	箇 所	面 積	箇 所	面 積	箇 所	面 積	箇 所	面 積	箇 所	面 積	箇 所	面 積
令 和 3 年	14	70.70	3	51.00	1	18.60	7	0.72	2	0.32	1	0.06
令 和 4 年	14	70.70	3	51.00	1	18.60	7	0.72	2	0.32	1	0.06
令 和 5 年	14	70.70	3	51.00	1	18.60	7	0.72	2	0.32	1	0.06
令 和 6 年	14	70.70	3	51.00	1	18.60	7	0.72	2	0.32	1	0.06
令 和 7 年	14	70.70	3	51.00	1	18.60	7	0.72	2	0.32	1	0.06

資料:市観光課

(各年3月31日現在)

【注】各数値は、公立・私立の合計
都市公園法の公園種別により記載。

35 下水道普及・水洗化等の状況

(単位:人、ha、%)

	行政人口 A	供用開始 区域内人口 B	水洗化済 人口 C	普及率 B/A×100	水洗化率 C/B×100	面 積		
						計画区域 面 積	整備済 面 積	整備率
令和3年								
公共下水		18,348	16,928		92.3	1,152.6	609.3	52.9
特定環境保全公共		1,371	1,288		93.9	67.0	67.0	100.0
農業集落排水		4,660	4,084		87.6	578.9	578.9	100.0
漁業集落排水		4,659	4,106		88.1	183.3	169.6	92.5
林業集落排水		37	34		91.9	4.4	4.4	100.0
特定生活排水		519	517		99.6	-	-	-
個別排水		159	145		91.2	-	-	-
合併処理浄化槽		10,295	10,295		100.0	-	-	-
計	45,105	40,048	37,397	88.8	93.4	1,986.2	1,429.2	72.0
令和4年								
公共下水		18,655	16,906		90.6	699.5	633.7	90.6
特定環境保全公共		1,324	1,249		94.3	67.0	67.0	100.0
農業集落排水		4,501	3,970		88.2	578.9	578.9	100.0
漁業集落排水		4,562	4,040		88.6	183.3	169.6	92.5
林業集落排水		35	32		91.4	4.4	4.4	100.0
特定生活排水		495	493		99.6	-	-	-
個別排水		148	134		90.5	-	-	-
合併処理浄化槽		9,489	9,489		100.0	-	-	-
計	44,151	39,209	36,313	88.8	92.6	1,533.1	1,453.6	94.8
令和5年								
公共下水		18,835	16,942		90.0	699.5	644.8	92.2
特定環境保全公共		1,285	1,214		94.5	67.0	67.0	100.0
農業集落排水		4,389	3,866		88.1	578.9	578.9	100.0
漁業集落排水		4,446	3,953		88.9	183.3	173.5	94.6
林業集落排水		34	31		91.2	4.4	4.4	100.0
特定生活排水		477	475		99.6	-	-	-
個別排水		145	131		90.3	-	-	-
合併処理浄化槽		9,069	9,069		100.0	-	-	-
計	43,275	38,680	35,681	89.4	92.2	1,533.2	1,468.6	95.8
令和6年								
公共下水		18,562	16,886		91.0	699.5	649.5	92.9
特定環境保全公共		1,241	1,171		94.4	67.0	67.0	100.0
農業集落排水		4,244	3,753		88.4	578.9	578.9	100.0
漁業集落排水		4,352	3,879		89.1	183.3	178.6	97.4
林業集落排水		33	30		90.9	4.4	4.4	100.0
特定生活排水		463	461		99.6	-	-	-
個別排水		143	129		90.2	-	-	-
合併処理浄化槽		8,713	8,713		100.0	-	-	-
計	42,188	37,751	35,022	89.5	92.8	1,533.2	1,478.5	96.4
令和7年								
公共下水		18,317	16,897		92.3	699.5	651.6	93.2
特定環境保全公共		1,191	1,130		94.9	67.0	67.0	100.0
農業集落排水		4,141	3,696		89.3	578.9	578.9	100.0
漁業集落排水		4,209	3,736		88.8	183.3	183.3	100.0
林業集落排水		35	32		91.4	4.4	4.4	100.0
特定生活排水		445	443		99.6	-	-	-
個別排水		130	118		90.8	-	-	-
合併処理浄化槽		8,418	8,418		100.0	-	-	-
計	41,078	36,886	34,470	89.8	93.5	1,533.1	1,485.2	96.9

資料:市下水道建設課

(各年3月31日現在)

【注】行政人口等は、外国人を含む。

各率は、小数点第2位を四捨五入した数値である。

各値は、小数点第2位を四捨五入した数値である。(整備率を除く)

各面積は、単位未満を小数点第2位で四捨五入した数値である。

整備率は、各面積の四捨五入前の数値で算定した後、小数点第2位を四捨五入した数値である。

36 水道普及状況

(単位:人,千m³,%)

	総 数		上 水 道		専 用 水 道	普及率 A/B×100	行政区域 内人口 B
	給 水 口 A	年 間 配 水 量	給 水 口	年 間 配 水 量	給 水 口		
令 和 3 年	42,261	6,870	42,187	6,870	74	93.7	45,105
令 和 4 年	41,407	6,501	41,334	6,501	73	93.8	44,151
令 和 5 年	40,571	6,426	40,494	6,426	77	93.8	43,275
令 和 6 年	39,558	6,315	39,491	6,315	67	93.8	42,188
令 和 7 年	38,492	6,302	38,425	6,302	67	93.7	41,078

資料:市上下水道局総務課

(各年3月31日現在)

【注】 各人口は外国人を含む。

年間配水量は、単位未満を四捨五入した数値である。

普及率は、小数点第2位を四捨五入した数値である。

37 農村型CATV加入件数

(単位:件,%)

年 度	川 上 地 域		む つ み 地 域		旭 地 域		福 栄 地 域	
	加入件数	加入率	加入件数	加入率	加入件数	加入率	加入件数	加入率
令和2年度	332	78.1	610	89.4	644	91.3	708	91.9
令和3年度	314	74.6	598	88.6	627	89.4	692	91.5
令和4年度	305	74.6	585	86.5	617	88.5	677	91.7
令和5年度	292	71.0	565	86.4	603	88.2	658	91.4
令和6年度	282	69.8	548	87.1	594	87.6	640	90.8

資料:市情報政策課

【注】 加入率は、加入件数÷地域内世帯数(各年3月末日住民基本台帳による。)で算出。

38 学校等の状況

(1) 幼保連携型認定こども園

(単位:校,人)

年次	園数	学級数	教育・保育職員数			職員数			年齢別園児数								
			総数	本務者		兼務者	本務者のみ	事務職員	総数	男	女	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
				男	女												
令和2年	2	12	38	2	31	5	11	2	205	107	98	2	9	14	62	68	50
令和3年	2	9	42	2	35	5	15	3	207	102	105	4	11	15	44	67	66
令和4年	2	10	43	2	38	3	15	3	179	85	94	2	17	15	39	44	62
令和5年	2	9	33	2	31	3	13	3	170	84	86	3	17	22	43	38	47
令和6年	2	10	37	2	33	2	12	3	161	80	81	2	14	17	45	44	39

資料:学校基本調査

(各年5月1日現在)

【注】各数値は、公立・私立の合計。

(2) 小学校

(単位:校,人)

	校数	学級数				児童数					
		総数	単式学級	複式学級	特別支援学級	総数	男	女	1学年	2学年	3学年
令和2年	21	117	64	30	23	1,773	891	882	264	287	284
令和3年	21	111	58	30	23	1,678	867	811	216	265	287
令和4年	21	111	58	29	24	1,596	806	790	257	219	263
令和5年	21	117	66	26	25	1,527	767	760	217	255	218
令和6年	21	106	53	29	24	1,426	739	687	185	219	255

	児童数			教員数				職員数 (本務者のみ)	
	4学年	5学年	6学年	総数	本務者		兼務者		事務職員
					男	女			
令和2年	288	334	316	223	71	119	33	42	20
令和3年	286	286	338	219	72	116	31	39	19
令和4年	286	287	284	221	77	110	34	39	19
令和5年	266	284	287	215	72	110	33	36	17
令和6年	216	266	285	220	70	114	36	38	18

資料:学校基本調査

(各年5月1日現在)

【注】各数値は、公立・私立の合計。

※ 休校:萩光塩学院小学校(平成20年4月～)、鈴野川小学校(平成22年4月～)、弥富小学校(平成31年4月～)

相島小学校(令和3年4月～)

※ 閉校:木間小学校(平成30年3月末)

38 学校等の状況(つづき)

(3) 中学校

(単位:校,人)

	校 数	学 級 数				生 徒 数					
		総 数	単 式 級	複 式 級	特 別 支 援 学 級	総 数	男	女	1 学 年	2 学 年	3 学 年
令 和 2 年	15	69	55	1	13	966	489	477	309	322	335
令 和 3 年	15	67	55	-	12	944	472	472	314	309	321
令 和 4 年	15	67	53	1	13	950	477	473	329	312	309
令 和 5 年	15	65	51	1	13	920	470	450	280	328	312
令 和 6 年	15	65	51	1	13	890	458	432	279	283	328

	教 員 数				職 員 数 (本務者のみ)	
	総 数	本 務 者		兼 務 者		事 務 員 職 員
		男	女			
令 和 2 年	212	97	68	47	24	13
令 和 3 年	199	97	67	35	24	10
令 和 4 年	199	97	67	35	19	7
令 和 5 年	194	88	66	40	19	7
令 和 6 年	203	87	69	47	14	8

資料:学校基本調査

(各年5月1日現在)

【注】各数値は、公立・私立の合計。

※ 休校:相島中学校(令和3年4月～)、見島中学校(令和2年4月～令和3年3月)

※ 閉校:木間中学校(平成30年3月末)

(4) 高等学校

(単位:校,人)

	校 数			生 徒 数						
	総 数	全日制	定時制	総 数	男	女	本 科			専 攻 科
							1 学 年	2 学 年	3 学 年	
令 和 2 年	3	3	-	982	489	493	326	316	340	-
令 和 3 年	3	3	-	949	460	489	311	322	316	-
令 和 4 年	3	3	-	947	463	484	321	305	321	-
令 和 5 年	3	3	-	914	439	475	304	311	299	-
令 和 6 年	3	3	-	893	436	457	306	280	307	-

	教 員 数				職 員 数 (本務者のみ)	
	総 数	本 務 者		兼 務 者		事 務 員 職 員
		男	女			
令 和 2 年	132	66	32	34	23	10
令 和 3 年	135	67	32	36	23	10
令 和 4 年	139	71	28	40	17	9
令 和 5 年	134	69	26	39	23	9
令 和 6 年	134	65	30	39	23	10

資料:学校基本調査

(各年5月1日現在)

【注】各数値は、公立・私立の合計。

38 学校等の状況(つづき)

(5) 特別支援学校

(単位:校,人)

	校数	学級数	在 学 者 数						教 員 数			職 員 数 (本 務 者 の み)		
			総 数	男	女	小学部	中学部	高等部	総 数	本 務 者		兼務者	事 務 員	職 員
										男	女			
令 和 2 年	1	26	79	50	29	24	19	36	75	37	31	7	10	4
令 和 3 年	1	23	74	47	27	25	18	31	71	32	33	6	10	4
令 和 4 年	1	28	81	53	28	30	16	35	74	35	39	8	10	5
令 和 5 年	1	30	78	52	26	29	13	36	88	35	43	10	9	4
令 和 6 年	1	32	85	57	28	32	15	38	77	32	45	14	9	4

資料:学校基本調査

(各年5月1日現在)

(6) 大学

(単位:校,人)

	校 数	学 科 数	学 生 数							
			総 数	男	女	1 年 次	2	3	4	専攻科・別課 及び聴講生等
令和 2 年	1	1	890	569	321	307	195	221	167	—
令和 3 年	1	1	862	564	298	272	229	185	176	—
令和 4 年	1	1	783	522	261	147	230	226	177	3
令和 5 年	1	1	744	489	255	135	136	256	215	2
令和 6 年	1	1	781	517	264	245	125	151	259	1

	教 員 数				職 員 数 (本 務 者 の み)	
	総 数	本 務 者		兼 務 者	事 務 員	職 員
		男	女			
令 和 2 年	87	29	5	53	24	24
令 和 3 年	85	29	6	50	32	32
令 和 4 年	83	30	5	48	32	32
令 和 5 年	79	28	6	45	33	33
令 和 6 年	86	29	6	51	37	37

資料:各学校

(各年5月1日現在)

38 学校等の状況(つづき)

(7) 専修学校

(単位:校,人)

	校 数	学 科 数	生 徒 数			教 員 数				職員数 (本務者 のみ)
			総 数	男	女	総 数	本 務 者		兼 務 者	
							男	女		
令和2年	3	7	225	42	183	138	5	20	113	8
令和3年	3	7	198	28	170	145	5	22	118	8
令和4年	3	7	229	43	186	151	4	22	125	6
令和5年	3	7	259	65	194	157	2	22	133	6
令和6年	3	7	213	50	163	161	3	21	137	8

資料:学校基本調査、教育統計調査結果報告書

(各年5月1日現在)

【注】各数値は、公立・私立の合計。

※ 休校:萩高等専修学校(平成13年4月～)

(8) 各種学校

(単位:校,人)

(単位:校,人)

	校 数	生 徒 数			教 員 数				職員数 (本務者のみ)
		総 数	男	女	総 数	本 務 者		兼 務 者	
						男	女		
令和2年	2	71	10	61	72	8	3	61	6
令和3年	2	56	12	44	72	7	3	62	6
令和4年	2	57	12	45	75	7	2	66	5
令和5年	2	42	11	31	76	7	3	66	5
令和6年	2	30	11	19	76	6	3	67	5

資料:学校基本調査

(各年5月1日現在)

39 社会体育施設の利用状況

(単位:人)

年 区	度 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
総	数	168,147	178,318	198,435	220,254	236,314
萩市民体育館		35,949	37,971	44,011	50,745	53,915
萩市堀内体育館		5,929	2,174	-	-	-
萩市土原体育館		13,701	14,426	16,208	16,977	17,525
萩市木間体育館		231	414	79	334	404
萩市見島体育館		-	33	-	50	22
萩市テニスコート		8,869	9,752	12,308	10,401	10,388
土原グラウンド		6,546	6,783	8,856	6,682	8,671
ナイター	萩東中学校	2,928	1,803	2,224	3,095	3,570
	明倫小学校	3,562	2,674	2,821	3,140	2,903
	椿東小学校	3,523	2,559	3,354	1,906	3,028
萩市川上体育館		1,798	2,004	1,551	1,801	2,168
明神島運動公園		-	-	-	-	-
萩市田万川体育館		5,039	2,981	4,354	6,006	5,055
萩市田万川グラウンド		5,830	6,046	5,698	6,018	5,955
萩市むつみB&G海洋センター体育館		1,219	1,055	4,492	5,671	6,433
萩市むつみグラウンド		279	478	3,885	5,031	4,771
萩市高俣グラウンド		20	-	-	90	-
萩市むつみB&G海洋センタープール		155	312	325	761	680
萩市弥富体育館		268	15	227	1,724	105
萩市鈴野川農林漁業者等健康増進施設		482	593	1,035	1,574	2,621
萩市須佐グラウンド		95	305	286	206	182
萩市弥富グラウンド		97	76	1,192	2,011	2,160
萩市旭農林漁業者等健康増進センター		2,706	4,000	4,478	4,438	3,718
萩市旭農林漁業者等山村広場		1,288	1,411	1,176	856	1,033
萩市旭農林漁業者等イベント広場		3,028	1,831	2,255	3,159	4,542
萩市福栄体育館		816	1,207	1,122	932	1,157
萩市紫福体育館		485	513	763	735	780
萩市福栄グラウンド		2,420	2,700	1,834	2,110	3,980
萩市紫福山村広場		1,197	1,006	869	561	230
萩ウェルネスパーク	萩スタジアム	9,465	13,157	14,108	15,343	16,672
	萩武道館	7,366	11,371	12,200	15,712	15,759
	弓道場	2,389	2,684	3,309	3,069	2,898
	萩スポーツ広場	10,314	13,359	16,225	18,959	19,603
	一般利用者	30,153	32,625	34,555	30,157	35,386

資料:市スポーツ振興課、市文化・生涯学習課

40 社会教育施設及び関係団体

区 分	令 和 3 年	令 和 4 年	令 和 5 年	令 和 6 年	令 和 7 年
図 書 館	3	3	3	3	3
公 民 館	16	16	16	16	16
博 物 館 ・ 美 術 館	6	6	6	6	6
ボ ー イ ス カ ウ ト					
団 体 数	1	1	1	1	1
人 員	34	25	25	25	25
ガ ー ル ス カ ウ ト					
団 体 数	2	2	2	2	2
人 員	49	54	61	61	61
子 ど も 会					
団 体 数	145	129	137	134	120
人 員	1,566	1,527	1,266	1,132	1,122
地 域 婦 人 会					
団 体 数	11	10	10	10	8
人 員	698	575	557	509	468
地 域 青 年 団					
団 体 数	-	-	-	-	-
人 員	-	-	-	-	-

資料：市文化・生涯学習課、萩図書館、山口県博物館協会

(各年3月31日現在)

41 保育所等の状況

(単位:人)

施設名	設置主体	施設数	保育士数	定員	年齢別入所児童数								
					総数	0歳	1	2	3	4	5	6	
令和3年	公	12	90	735	369	8	49	58	72	76	106	-	
	私	4	56	375	344	11	45	60	70	76	82	-	
4	公	12	101	735	335	9	52	57	75	71	71	-	
	私	4	60	375	335	9	61	55	61	73	76	-	
5	公	12	90	735	301	4	39	53	63	69	73	-	
	私	4	56	375	317	9	53	63	59	62	71	-	
6	公	12	86	735	275	5	33	46	55	65	71	-	
	私	4	54	365	296	7	49	58	63	58	61	-	
7	公	12	90	735	267	5	39	41	57	59	66	-	
	私	4	55	365	304	9	55	55	63	65	57	-	
越ヶ浜保育園	公		5	60	8	-	1	1	1	2	3	-	
越ヶ浜保育園大井分園	公		4	20	7	-	1	3	-	3	-	-	
椿保保育園	公		14	80	61	1	6	11	14	11	18	-	
三見保保育園	公		4	30	3	-	1	1	-	1	-	-	
椿東保保育園	公		20	130	74	2	13	10	12	20	17	-	
山田保保育園	公		14	90	44	-	6	6	10	11	11	-	
川上保保育園	公		5	30	10	-	1	2	3	3	1	-	
田万川保保育園	公		6	90	11	-	-	1	5	2	3	-	
田万川保育園小川分園	公		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
むつみ保保育園	公		4	45	10	-	2	2	2	1	3	-	
須佐保保育園	公		6	40	21	-	5	2	7	3	4	-	
あさひ保保育園	公		4	60	9	-	3	-	-	2	4	-	
あさひ保育園佐々並分園	公		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福川保保育園	公		-	30	-	-	-	-	-	-	-	-	
紫福保保育園	公		4	30	9	2	-	2	3	-	2	-	
日の丸保保育園	私		19	160	115	5	22	19	24	25	20	-	
住の江保保育園	私		17	115	102	4	19	19	19	21	20	-	
大島保保育園	私		3	20	11	-	2	2	1	3	3	-	
春日保保育園	私		16	70	76	-	12	15	19	16	14	-	
市外委託保育所													
川登保保育園	私			40	3	1	-	-	1	-	1	-	
緑ヶ丘保保育園	私			90	1	-	-	-	-	-	1	-	
みすゞ保保育園	私			90	2	1	-	-	-	1	-	-	
葵保保育園	私			90	1	1	-	-	-	-	-	-	
はあと保育園吉敷	私			12	1	-	1	-	-	-	-	-	
へき地保育所													
令和3年			3	30	7	-	-	2	1	2	2	-	
4			3	30	8	-	-	2	3	2	1	-	
5			4	30	9	-	-	4	3	2	-	-	
6			3	30	8	-	-	1	3	3	1	-	
7			3	30	2	-	-	-	2	-	-	-	
見島保保育園	公		3	30	2	-	-	-	2	-	-	-	
令和3年			2	-	2	-	-	-	-	-	2	-	
4			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
相島季節保育所	公		-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	
令和3年			5	18	12	1	8	3	-	-	-	-	
4			5	18	9	-	1	8	-	-	-	-	
5			5	18	9	3	6	-	-	-	-	-	
6			4	18	13	-	1	9	3	-	-	-	
7			4	18	11	1	5	5	-	-	-	-	
くすのき保育園	私		4	18	11	1	5	5	-	-	-	-	

資料:市子育て支援課

(各年4月1日現在)

【注】各年の年齢別入所児童数の設置主体別数値については、市外委託保育所分を含む。

※ 閉園:土原保育園(平成31年3月末)、大井保育園(平成31年3月末)

※ 休園:佐々並分園(令和2年4月から)、相島季節保育所(令和3年4月から)、福川保育園(令和5年4月から)

小川分園(令和6年4月から)

42 保健福祉施設等

区 分	公 立						私 立		社会福祉 法 人		財団・社団、 その他の法人		個 人	
	施設 数	定員	施設 数	定員	施設 数	定員	施設 数	定員	施設 数	定員	施設 数	定員	施設 数	定員
総 数	51	1,196	5	65	47	1,131	145	3,100	75	1,854	70	1,334	-	-
1. 老人保健福祉施設	14	46	-	-	14	46	7	72	6	72	1	-	-	-
養護老人ホーム	-	-	-	-	-	-	1	52	1	52	-	-	-	-
老人福祉センター	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
在宅介護支援センター	9	-	-	-	9	-	5	-	4	-	1	-	-	-
生活支援ハウス	4	46	-	-	4	46	1	20	1	20	-	-	-	-
2. 介護予防支援事業所	1	-	-	-	1	-	2	-	1	-	1	-	-	-
3. 居宅サービス事業所	1	-	-	-	1	-	51	949	23	496	28	453	-	-
訪問介護事業所	-	-	-	-	-	-	9	-	4	-	5	-	-	-
訪問入浴介護事業所	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-
訪問リハビリテーション事業所	1	-	-	-	1	-	3	-	-	-	3	-	-	-
訪問看護事業所	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	5	-	-	-
通所介護事業所	-	-	-	-	-	-	17	642	10	394	7	248	-	-
通所リハビリテーション事業所	-	-	-	-	-	-	4	205	-	-	4	205	-	-
短期入所生活介護事業所	-	-	-	-	-	-	8	102	8	102	-	-	-	-
短期入所療養介護事業所	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	4	-	-	-
4. 地域密着型サービス事業所	2	30	-	-	2	30	17	245	9	121	8	124	-	-
小規模多機能型居宅介護事業所	-	-	-	-	-	-	2	50	-	-	2	50	-	-
認知症対応型共同生活介護事業所	-	-	-	-	-	-	6	72	3	45	3	27	-	-
地域密着型介護老人福祉施設	-	-	-	-	-	-	1	20	1	20	-	-	-	-
地域密着型通所介護事業所	2	30	-	-	2	30	7	103	4	56	3	47	-	-
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-
5. 居宅介護支援事業所	-	-	-	-	-	-	14	-	5	-	9	-	-	-
6. 介護保険施設	1	130	-	-	1	130	11	564	7	380	4	184	-	-
介護老人福祉施設	1	130	-	-	1	130	7	380	7	380	-	-	-	-
介護老人保健施設	-	-	-	-	-	-	2	90	-	-	2	90	-	-
介護医療院	-	-	-	-	-	-	2	94	-	-	2	94	-	-
7. 障害者福祉サービス事業所	4	130	-	-	4	130	26	465	13	265	13	288	-	-
8. 相談支援事業所	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	2	-	-	-
9. 障害者支援施設(施設入所支援)	1	30	-	-	1	30	1	40	1	40	-	-	-	-
10. 保護施設	-	-	-	-	-	-	1	50	1	50	-	-	-	-
救護施設	-	-	-	-	-	-	1	50	1	50	-	-	-	-
11. 児童福祉施設	14	765	-	-	14	765	8	425	7	415	1	10	-	-
福祉型児童発達支援センター	-	-	-	-	-	-	1	30	1	30	-	-	-	-
放課後等デイサービス事業所	-	-	-	-	-	-	3	30	2	20	1	10	-	-
保育所	12	735	-	-	12	735	4	365	4	365	-	-	-	-
へき地保育所	1	30	-	-	1	30	-	-	-	-	-	-	-	-
児童厚生施設	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12. その他の保健福祉施設等	8	65	1	65	7	-	6	290	2	15	4	275	-	-
隣保館	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福祉センター	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
障害者就業・生活支援センター	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-
地域活動支援センター	-	-	-	-	-	-	1	15	1	15	-	-	-	-
認定こども園	-	-	-	-	-	-	2	205	-	-	2	205	-	-
保育士養成施設	-	-	-	-	-	-	1	40	-	-	1	40	-	-
看護師養成施設	1	65	1	65	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
准看護師養成施設	-	-	-	-	-	-	1	30	-	-	1	30	-	-
市保健センター	5	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13. 1～12以外の施設	3	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
健康福祉センター	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
社会福祉事務所	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
児童相談所	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

資料：市福祉部

(令和7年5月1日現在)

【注】 保育士養成施設・看護師養成施設・准看護師養成施設の各定員は、1学年定員である。
看護師養成施設(県立)の定員は、2学科分の合計である。

43 一般会計当初予算及び歳入決算

(単位:千円,%)

年 度 区 分		令 和 4 年 度				令 和 5 年 度			
		当初予算額	構成比	決 算 額	伸長率	当初予算額	構成比	決 算 額	伸長率
総 額		29,880,000	100.0	31,353,187	93.5	29,900,000	100.0	31,269,115	99.7
自 主 財 源	市 税	5,075,620	17.0	5,121,892	100.3	5,086,042	17.0	5,112,463	99.8
	分担金及び負担金	287,670	1.0	283,299	112.5	358,263	1.2	356,705	125.9
	使用料及び手数料	485,250	1.6	482,433	103.5	488,020	1.7	487,637	101.1
	財産収入	116,882	0.4	132,057	125.7	122,483	0.4	126,862	96.1
	寄附金	207,840	0.7	163,170	87.0	209,440	0.7	175,023	107.3
	繰入金	2,150,765	7.2	421,894	229.8	2,212,361	7.4	161,250	38.2
	繰越金	1	0.0	1,514,820	162.8	1	0.0	805,989	53.2
	諸収入	759,109	2.5	862,045	93.0	719,289	2.4	738,445	85.7
	小計	9,083,137	30.4	8,981,610	110.1	9,195,899	30.8	7,964,374	88.7
依 存 財 源	地方譲与税	344,700	1.2	320,003	86.7	277,300	0.9	321,324	100.4
	利子割交付金	5,000	0.0	3,326	49.7	2,800	0.0	2,979	89.6
	配当割交付金	20,000	0.1	23,927	90.2	15,000	0.0	27,518	115.0
	株式等譲渡所得割交付金	8,000	0.0	17,640	57.4	20,000	0.1	30,664	173.8
	法人事業税交付金	40,000	0.1	95,818	166.0	77,000	0.3	101,446	105.9
	地方消費税交付金	1,000,000	3.3	1,112,691	99.4	960,000	3.2	1,082,112	97.3
	ゴルフ場利用税交付金	3,000	0.0	4,013	97.9	3,000	0.0	3,335	83.1
	環境性能割交付金	25,000	0.1	29,139	97.8	25,000	0.1	37,509	128.7
	国有提供施設等 所在市町村助成交付金	-	-	-	-	-	-	-	-
	地方特例交付金	20,000	0.1	27,005	15.6	19,000	0.1	28,417	105.2
	地方交付税	11,850,000	39.7	12,374,307	97.3	11,850,000	39.6	12,485,455	100.9
	交通安全対策特別交付金	5,500	0.0	4,798	85.7	4,500	0.0	4,424	92.2
	国庫支出金	2,962,500	9.9	4,095,375	70.8	2,643,839	8.8	4,479,375	109.4
	県支出金	2,419,763	8.1	2,242,935	95.6	2,429,062	8.1	2,332,783	104.0
	市債	2,093,400	7.0	2,020,600	75.0	2,377,600	8.0	2,367,400	117.2
	小計	20,796,863	69.6	22,371,577	88.2	20,704,101	69.2	23,304,741	104.2

年 度 区 分		令 和 6 年 度				令 和 7 年 度		
		当初予算額	構成比	決 算 額	伸長率	当初予算額	構成比	伸 長 率
総 額		30,822,000	100.0	32,003,858	102.3	31,036,000	100.0	100.7
自 主 財 源	市 税	4,827,170	15.7	4,915,606	96.1	4,996,947	16.1	103.5
	分担金及び負担金	409,208	1.3	363,318	101.9	367,377	1.2	89.8
	使用料及び手数料	502,096	1.6	491,348	100.8	495,973	1.6	98.8
	財産収入	112,976	0.4	125,871	99.2	120,737	0.4	106.9
	寄附金	209,340	0.7	163,756	93.6	209,340	0.7	100.0
	繰入金	2,321,545	7.5	882,228	547.1	2,938,220	9.5	126.6
	繰越金	1	0.0	882,707	109.5	1	0.0	100.0
	諸収入	759,860	2.5	841,903	114.0	694,445	2.2	91.4
	小計	9,142,196	29.7	8,666,737	108.8	9,823,040	31.7	107.4
依 存 財 源	地方譲与税	326,600	1.1	349,893	108.9	331,800	1.1	101.6
	利子割交付金	2,100	0.0	3,551	119.2	6,800	0.0	323.8
	配当割交付金	16,000	0.0	38,826	141.1	28,000	0.1	175.0
	株式等譲渡所得割交付金	20,000	0.1	53,398	174.1	38,000	0.1	190.0
	法人事業税交付金	87,000	0.3	118,970	117.3	110,000	0.3	126.4
	地方消費税交付金	960,000	3.1	1,171,153	108.2	994,000	3.2	103.5
	ゴルフ場利用税交付金	2,800	0.0	3,124	93.7	2,500	0.0	89.3
	環境性能割交付金	35,000	0.1	36,191	96.5	39,000	0.1	111.4
	国有提供施設等 所在市町村助成交付金	17,100	0.0	18,670	皆増	17,500	0.1	102.3
	地方特例交付金	182,300	0.6	187,548	660.0	22,070	0.1	12.1
	地方交付税	11,950,000	38.8	12,738,337	102.0	11,950,000	38.5	100.0
	交通安全対策特別交付金	4,000	0.0	4,173	94.3	3,900	0.0	97.5
	国庫支出金	2,766,228	9.0	3,458,118	77.2	3,141,785	10.1	113.6
	県支出金	2,544,476	8.2	2,365,069	101.4	2,688,605	8.7	105.7
	市債	2,766,200	9.0	2,790,100	117.9	1,839,000	5.9	66.5
	小計	21,679,804	70.3	23,337,121	100.1	21,212,960	68.3	97.8

資料:市財政課

44 一般会計当初予算及び歳出決算

(単位:千円,%)

年 度 区 分		令和4年度					令和5年度				
		当初予算額	構成比	伸長率	決算額	伸長率	当初予算額	構成比	伸長率	決算額	伸長率
総 額		29,880,000	100.0	100.0	30,547,198	95.4	29,900,000	100.0	100.1	30,386,408	99.5
目 的 別 内 訳	議会費	196,956	0.7	99.2	190,586	102.7	198,444	0.7	100.8	190,226	99.8
	総務費	4,494,245	15.0	98.9	4,939,074	91.1	3,803,749	12.7	84.6	4,239,798	85.8
	民生費	8,767,885	29.3	99.6	8,915,570	90.1	9,003,336	30.1	102.7	9,457,895	106.1
	衛生費	2,798,185	9.4	103.6	2,885,119	104.2	2,948,199	9.8	105.4	2,830,057	98.1
	労働費	24,293	0.1	99.2	24,329	136.5	78,587	0.3	323.5	68,083	279.8
	農林水産業費	2,190,196	7.3	108.7	1,893,865	95.0	2,035,935	6.8	93.0	2,071,772	109.4
	商工費	2,232,455	7.5	91.8	2,420,536	88.7	2,242,309	7.5	100.4	2,505,217	103.5
	土木費	1,832,052	6.1	105.2	1,525,814	91.0	1,821,127	6.1	99.4	1,595,665	104.6
	消防費	1,472,490	4.9	94.5	1,432,695	95.6	1,945,361	6.5	132.1	1,447,266	101.0
	教育費	2,573,709	8.6	104.8	2,802,307	115.7	2,521,244	8.4	98.0	2,440,114	87.1
	災害復旧費	17,212	0.1	245.9	289,372	355.5	57,000	0.2	331.2	358,535	123.9
	公債費	3,230,322	10.8	96.4	3,227,931	97.2	3,194,709	10.7	98.9	3,181,780	98.6
	予備費	50,000	0.2	100.0	-	-	50,000	0.2	100.0	-	-
性 質 別 内 訳	義務的経費										
	人件費	5,940,301	19.9	102.0	5,873,880	102.8	5,645,013	18.9	95.0	5,749,089	97.9
	扶助費	4,376,933	14.7	98.3	4,669,626	89.8	4,313,100	14.4	98.5	5,023,373	107.6
	公債費	3,230,322	10.8	96.4	3,227,931	97.2	3,194,709	10.7	98.9	3,181,780	98.6
	小計	13,547,556	45.4	99.4	13,771,437	96.7	13,152,822	44.0	97.1	13,954,242	101.3
	投資的経費										
	普通建設事業費	2,922,992	9.8	99.2	2,545,855	64.0	2,939,810	9.8	100.6	2,722,550	106.9
	1.補助	1,305,299	4.4	121.9	882,495	45.9	720,732	2.4	55.2	1,008,480	114.3
	2.単独	1,617,693	5.4	86.2	1,663,360	80.9	2,219,078	7.4	137.2	1,714,070	103.0
	災害復旧事業費	17,382	0.0	254.2	298,271	355.7	58,364	0.2	335.8	369,565	123.9
	1.補助	10,518	0.0	皆増	255,066	465.2	51,500	0.2	489.6	324,678	127.3
	2.単独	6,864	0.0	100.4	43,205	148.9	6,864	0.0	100.0	44,887	103.9
	受託事業費	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1.補助	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2.単独	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	県工事負担金	205,543	0.7	94.7	178,244	99.1	165,875	0.6	80.7	145,023	81.4
	小計	3,145,917	10.5	99.2	3,022,370	71.2	3,164,049	10.6	100.6	3,237,138	107.1
	その他の経費										
	物件費	4,030,178	13.5	106.6	3,904,078	90.9	4,142,055	13.8	102.8	3,949,563	101.2
	維持補修費	305,645	1.0	112.6	267,982	136.4	316,302	1.1	103.5	249,185	93.0
	補助費等	4,322,389	14.5	102.2	4,404,879	101.6	4,524,161	15.1	104.7	4,441,486	100.8
	積立金	317,999	1.0	65.0	1,300,975	185.3	413,627	1.4	130.1	594,936	45.7
	投資及び出資金	568,827	1.9	101.3	555,056	98.2	592,087	2.0	104.1	593,673	107.0
	貸付金	413,211	1.4	83.4	349,005	80.7	358,636	1.2	86.8	415,744	119.1
	繰出金	3,178,278	10.6	99.2	2,971,416	98.8	3,186,261	10.6	100.3	2,950,441	99.3
	予備費	50,000	0.2	100.0	-	-	50,000	0.2	100.0	-	-
	小計	13,186,527	44.1	100.8	13,753,391	101.6	13,583,129	45.4	103.0	13,195,028	95.9

資料:市財政課

44 一般会計当初予算及び歳出決算（つづき）

（単位：千円，％）

年 度 区 分		令 和 6 年 度					令 和 7 年 度		
		当 初 予 算 額	構 成 比	伸 長 率	決 算 額	伸 長 率	当 初 予 算 額	構 成 比	伸 長 率
総 額		30,822,000	100.0	103.1	31,272,349	102.9	31,036,000	100.0	100.7
目 的 別 内 訳	議 会 費	194,884	0.6	98.2	190,174	100.0	197,582	0.6	101.4
	総 務 費	4,640,028	15.1	122.0	4,409,593	104.0	3,702,873	11.9	79.8
	民 生 費	9,014,203	29.2	100.1	9,876,389	104.4	9,410,985	30.3	104.4
	衛 生 費	3,045,065	9.9	103.3	3,344,788	118.2	3,476,069	11.2	114.2
	労 働 費	40,049	0.1	51.0	33,921	49.8	25,880	0.1	64.6
	農 林 水 産 業 費	2,137,837	6.9	105.0	1,916,639	92.5	2,207,403	7.1	103.3
	商 工 費	2,014,316	6.5	89.8	1,865,889	74.5	2,023,678	6.5	100.5
	土 木 費	2,011,918	6.5	110.5	1,537,706	96.4	2,201,154	7.1	109.4
	消 防 費	1,898,159	6.2	97.6	2,091,542	144.5	1,742,991	5.6	91.8
	教 育 費	2,642,458	8.6	104.8	2,656,889	108.9	2,930,956	9.5	110.9
	災 害 復 旧 費	97,000	0.3	170.2	324,174	90.4	7,000	0.0	7.2
	公 債 費	3,036,083	9.9	95.0	3,024,645	95.1	3,059,429	9.9	100.8
	予 備 費	50,000	0.2	100.0	-	-	50,000	0.2	100.0
性 質 別 内 訳	義 務 的 経 費	5,944,400	19.3	105.3	6,109,597	106.3	6,025,912	19.4	101.4
	扶 助 費	4,428,742	14.4	102.7	4,979,791	99.1	4,817,926	15.5	108.8
	公 債 費	3,036,083	9.8	95.0	3,024,645	95.1	3,059,429	9.9	100.8
	小 計	13,409,225	43.5	101.9	14,114,033	101.1	13,903,267	44.8	103.7
	普 通 建 設 事 業 費	3,448,577	11.2	117.3	3,183,758	116.9	2,553,417	8.3	74.0
	1.補助	939,947	3.1	130.4	590,890	58.6	1,244,358	4.0	132.4
	2.単独	2,508,630	8.1	113.0	2,592,868	151.3	1,309,059	4.3	52.2
	災 害 復 旧 事 業 費	99,564	0.3	170.6	334,244	90.4	6,864	0.0	6.9
	1.補助	92,700	0.3	180.0	268,934	82.8	-	-	皆減
	2.単独	6,864	0.0	100.0	65,310	145.5	6,864	0.0	100.0
	受 託 事 業 費	-	-	-	-	-	-	-	-
	1.補助	-	-	-	-	-	-	-	-
	2.単独	-	-	-	-	-	-	-	-
	費 県 工 事 負 担 金	183,862	0.6	110.8	175,013	120.7	220,050	0.7	119.7
	小 計	3,732,003	12.1	118.0	3,693,015	114.1	2,780,331	9.0	74.5
内 訳	物 件 費	4,258,956	13.8	102.8	3,866,408	97.9	4,239,908	13.7	99.6
	維 持 補 修 費	303,781	1.0	96.0	275,484	110.6	289,866	0.9	95.4
	補 助 費 等	4,627,106	15.0	102.3	4,639,399	104.5	5,148,260	16.6	111.3
	積 立 金	225,039	0.7	54.4	613,055	103.0	451,442	1.4	200.6
	投 資 及 び 出 資 金	605,877	2.0	102.3	607,847	102.4	605,294	1.9	99.9
	貸 付 金	328,852	1.1	91.7	356,819	85.8	272,100	0.9	82.7
	繰 出 金	3,281,161	10.6	103.0	3,106,289	105.3	3,295,532	10.6	100.4
	予 備 費	50,000	0.2	100.0	-	-	50,000	0.2	100.0
	小 計	13,680,772	44.4	100.7	13,465,301	102.0	14,352,402	46.2	104.9

資料：市財政課

45 特別会計当初予算及び歳入歳出決算

(単位:千円)

区 分	令和4年度			令和5年度		
	当初予算額	決算額		当初予算額	決算額	
		歳入	歳出		歳入	歳出
総 額	14,623,800	14,165,339	14,044,705	14,841,100	13,831,463	13,717,058
土地取得事業特別会計	800	515	515	600	320	320
国民健康保険事業(事業勘定)特別会計	6,696,500	6,612,526	6,610,670	6,839,700	6,368,237	6,368,145
国民健康保険事業(直診勘定)特別会計	705,300	645,587	645,587	651,500	584,196	584,196
休日急患診療事業特別会計	104,800	93,581	93,581	100,500	88,305	88,305
後期高齢者医療事業特別会計	992,000	988,270	972,625	1,007,500	993,009	977,050
介護保険事業特別会計	6,124,400	5,824,860	5,721,727	6,241,300	5,797,396	5,699,042

区 分	令和6年度			令和7年度
	当初予算額	決算額		当初予算額
		歳入	歳出	
総 額	14,774,500	13,848,332	13,569,913	14,240,400
土地取得事業特別会計	600	977	977	1,900
国民健康保険事業(事業勘定)特別会計	6,680,200	6,203,964	6,203,651	6,150,700
国民健康保険事業(直診勘定)特別会計	696,000	624,418	624,418	686,100
休日急患診療事業特別会計	107,600	94,998	94,998	99,900
後期高齢者医療事業特別会計	1,159,300	1,116,201	1,094,746	1,139,400
介護保険事業特別会計	6,130,800	5,807,774	5,551,123	6,162,400

資料:市財政課

46 市税収入

(単位:千円)

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
総 額	5,102,550	5,105,087	5,121,892	5,112,463	4,915,606
個 人 市 民 税	1,763,140	1,747,651	1,739,302	1,743,786	1,579,029
法 人 市 民 税	235,767	255,891	237,171	225,123	277,301
固 定 資 産 税	2,348,810	2,339,141	2,354,770	2,352,629	2,281,401
軽 自 動 車 税	167,657	169,824	174,718	176,769	179,470
市 た ば こ 税	255,286	270,705	280,256	276,622	266,281
入 湯 税	19,964	19,696	26,626	26,055	28,313
都 市 計 画 税	311,926	302,179	309,049	311,479	303,811

資料:市収納課

47 地方交付税

(単位:千円)

年 度	交 付 税 額 決 定 額	普 通 交 付 税	特 別 交 付 税	基 準 財 政 需 要 額 A	基 準 財 政 収 入 額 B	普通交付税 交付基準額 A-B	財政力指数 3ヵ年平均
令和2年度	12,046,531	10,491,962	1,554,569	15,663,749	5,163,785	10,499,964	0.325
令和3年度	12,717,558	11,117,548	1,600,010	16,089,528	4,971,980	11,117,548	0.320
令和4年度	12,374,307	10,810,999	1,563,308	15,888,516	5,077,517	10,810,999	0.319
令和5年度	12,485,455	10,900,947	1,584,508	15,991,947	5,091,000	10,900,947	0.316
令和6年度	12,738,337	11,117,668	1,620,669	16,245,076	5,127,408	11,117,668	0.318

資料:市財政課

48 市債年度末現在高

(単位:千円)

区	分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
総	額	24,602,346	24,134,698	23,054,805	22,320,123	22,179,086
一	般 会 計	24,456,930	23,935,027	22,817,656	22,087,381	21,942,388
総	務 債	909,765	1,291,027	1,273,801	1,342,127	1,591,649
民	生 債	1,826,313	1,705,900	1,609,212	1,521,050	1,413,187
衛	生 債	1,172,541	1,014,315	875,937	741,794	606,513
労	働 債	-	-	-	-	-
農	林 水 産 業 債	623,869	588,570	547,416	521,894	499,688
商	工 債	139,947	127,686	127,925	114,220	101,183
土	木 債	2,540,290	2,244,399	1,939,449	1,673,318	1,404,945
消	防 債	396,082	334,731	389,990	622,143	1,388,444
教	育 債	4,223,178	3,878,152	3,487,955	3,169,095	2,694,511
辺	地 債	537,432	615,039	589,413	626,943	592,199
過	疎 債	4,494,852	5,149,867	5,729,421	6,235,716	6,759,836
災	害 復 旧 債	742,699	644,736	605,712	580,344	548,192
そ	の 他	6,849,962	6,340,605	5,641,425	4,938,737	4,342,041
特	別 会 計	145,416	199,671	237,149	232,742	236,698
	国民健康保険事業(直診勘定)債	145,416	199,671	237,149	232,742	225,098
	休日急患診療事業債	-	-	-	-	11,600

資料:市財政課

49 萩市水道事業会計決算

(単位:千円)

年 度	収 益 の 収 支		資 本 の 収 支	
	収 入	支 出	収 入	支 出
令和2年度	1,141,895	1,047,554	381,553	600,573
令和3年度	1,125,760	1,026,129	393,478	652,539
令和4年度	1,113,658	1,021,353	436,362	758,028
令和5年度	1,121,574	964,256	713,768	1,075,637
令和6年度	1,160,460	977,720	1,389,556	1,690,409

資料:市上下水道局総務課

50 萩市下水道事業会計決算

(単位:千円)

年 度	収 益 の 収 支		資 本 の 収 支	
	収 入	支 出	収 入	支 出
令和2年度	2,043,609	2,007,773	1,063,491	1,564,689
令和3年度	1,967,103	1,932,942	1,037,677	1,536,269
令和4年度	1,941,937	1,908,898	1,133,123	1,630,688
令和5年度	1,934,473	1,899,267	1,127,871	1,606,848
令和6年度	1,979,914	1,925,192	1,536,118	2,033,740

資料:市上下水道局総務課

51 萩市病院事業会計決算

(単位:千円)

年 度	収 益 的 収 支		資 本 的 収 支	
	収 入	支 出	収 入	支 出
令和2年度	2,581,989	2,649,722	261,989	436,053
令和3年度	2,682,197	2,705,251	435,784	560,766
令和4年度	2,742,119	2,771,601	368,638	484,498
令和5年度	2,584,240	2,913,333	409,274	556,302
令和6年度	3,120,684	3,140,521	336,778	513,211

資料:市民病院事務部

52 ふるさと寄付の状況

(単位:件,円)

年 度	件 数	金 額
令和2年度	7,368	146,640,300
令和3年度	8,503	172,455,500
令和4年度	6,804	148,839,700
令和5年度	5,365	150,030,000
令和6年度	4,503	138,983,900

資料:市産業戦略室

《協定締結一覧》

53 包括連携協定

No.	協 定 名	協 定 の 相 手 方	締 結 日
1	萩市と株式会社丸久との地域活性化包括連携に関する協定	株式会社丸久	平成27年9月29日
2	萩市と萩山口信用金庫との地方創生に係る包括連携に関する協定	萩山口信用金庫	平成28年6月28日
3	株式会社レノファ山口、イオングループ及びホームタウン自治体との「オール山口 Jリーグで地方創生、まちづくりパートナーシップ包括連携」に関する協定	株式会社 レノファ山口 イオングループ 山口県及び県内市町	平成29年5月13日
4	萩市と至誠館大学との包括的連携・協力に関する協定	至誠館大学	平成29年9月29日
5	国立大学法人山口大学と萩市との包括的連携・協力に関する協定	国立大学法人山口大学	平成30年1月24日
6	萩市、株式会社山口銀行及び株式会社YMFG ZONEプランニングとの地方創生に係る包括連携に関する協定	株式会社 山口銀行 株式会社 YMFG ZONEプランニング	平成30年1月24日
7	萩市と日本郵便株式会社萩市内の郵便局及び山口中央郵便局との地域活性化包括連携協定	日本郵便株式会社	平成30年3月28日
8	萩市と生活協同組合コープやまぐちとの地域活性化包括連携に係る協定	生活協同組合コープやまぐち	令和2年11月19日
9	萩市と大塚製薬株式会社との地域活性化包括連携に係る協定	大塚製薬株式会社	令和3年5月31日
10	萩市とあいおいニッセイ同和損害保険株式会社との地域活性化包括連携に係る協定	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	令和3年9月28日
11	萩市と第一生命保険株式会社との地域活性化包括連携に係る協定	第一生命保険株式会社	令和4年12月23日
12	萩市と山口県飲食業生活衛生同業組合萩支部との地域活性化包括連携に係る協定	山口県飲食業生活衛生同業組合萩支部	令和5年7月28日
13	萩市と明治安田生命保険相互会社との包括連携に係る協定	明治安田生命保険相互会社	令和7年1月17日

資料:各課

(令和7年9月末日現在)

54 その他の連携協定

No.	協 定 名	協 定 の 相 手 方	締 結 日
1	健康づくりの推進に向けた包括的連携に関する協定	全国健康保険協会山口支部	平成30年2月1日
2	萩市・公益財団法人さわやか福祉財団包括連携協定	公益財団法人さわやか福祉財団	令和元年10月7日
3	健康増進に関する連携協定	明治安田生命保険相互会社山口支社	令和4年2月17日
4	萩市の地域活性化に向けた雇用促進と定住促進に関する協定	Indeed Japan株式会社	令和5年3月28日
5	萩市、青山学院大学陸上競技部、アスリートキャリアセンター、絆スポーツクラブ萩とのスポーツによるまちづくりに関する協定書	青山学院大学陸上競技部、アスリートキャリアセンター、絆スポーツクラブ萩	令和5年3月30日
6	地域おこし・人材育成に関する研究開発連携協力協定	一般社団法人社会創発塾	令和5年4月24日
7	萩市における包括的連携・協力に関する協定	株式会社セールスフォース・ジャパン 株式会社Phone Appli	令和5年8月3日
8	地域社会の発展及び人材の育成に関する事業連携協定	一般社団法人日本財団ドワンゴ学園準備会 学校法人角川ドワンゴ学園 一般社団法人motibase	令和6年3月28日
9	地域社会の発展等に関する事業連携協定	株式会社ショウイン 学校法人明倫学園萩明倫館高等学校 一般社団法人motibase	令和7年5月12日

資料:各課

(令和7年9月末日現在)

55 災害時応援協定

No.	協 定 名	協 定 の 相 手 方	締 結 日
1	災害時における相互応援に関する協定	鎌倉市(神奈川県)	平成7年8月30日
2	災害時における相互応援に関する協定	下田市(静岡県)	平成7年11月27日
3	山口県自治体病院開設者協議会災害初動時相互応援に関する協定	岩国市、山陽小野田市、下関市、周南市、周防大島町、光市、美祢市(山口県)	平成8年7月17日
4	日本水道協会山口県支部相互応援対策要綱	日本水道協会山口県支部会員	平成13年4月1日
5	ガス漏れ事故等の防止対策に係る申し合わせ	(社)山口県LPガス協会萩支部	平成17年3月6日
6	萩海上保安署と萩市消防本部との船舶火災等に関する業務協定	萩海上保安署	平成17年3月6日
7	航空機燃料の備蓄に関する協定	山口県	平成17年3月6日
8	災害情報に関する放送の実施協定	株式会社エフエム萩	平成17年4月1日
9	山口県消防防災ヘリコプター応援協定	山口県、山口県内自治体、一部事務組合	平成17年5月19日
10	阿武川ダム放流警報設備を利用した災害情報等の伝達提供に関する協定	阿武川ダム管理事務所	平成18年3月10日
11	フラワー都市交流連絡協議会災害時相互応援に関する協定	フラワー都市交流連絡協議会加入自治体 中富良野町(北海道)、久留米市(福岡県)、長井市(山形県)、砺波市(富山県)、宝塚市(兵庫県)、下田市(静岡県)、和泊町(鹿児島県)、大野町(岐阜県)、須賀川市(福岡県)、武生市(福井県)	平成18年10月15日
12	災害時における災害救助物資確保に関する協定	エディオン萩店	平成19年9月6日
13	災害時における萩市と萩市内の郵便局の相互協力に関する覚書	日本郵便株式会社萩郵便局	平成19年10月1日
14	災害時における飲料供給に関する協定	サントリーフーズ株式会社	平成19年10月3日
15	災害時における飲料供給に関する協定	コーラウェストジャパン株式会社代理店 田村商事株式会社	平成19年10月3日
16	災害時における災害救助物資確保に関する協定	株式会社ジュンテンドー	平成19年10月19日
17	災害時における災害救助物資確保に関する協定	株式会社丸久萩店	平成19年11月13日
18	災害時における災害救助物資確保に関する協定書	ダイキ株式会社	平成19年11月30日
19	災害時における飲料製品提供に関する協定	山口ヤクルト販売株式会社	平成20年2月1日
20	災害時における災害救助物資確保に関する協定	ホームセンターナフコ南萩店	平成20年3月25日

資料:市防災危機管理課、市消防本部警防課

(令和7年9月末日現在)

55 災害時応援協定（つづき）

No.	協 定 名	協 定 の 相 手 方	締 結 日
21	萩市、益田市、津和野町及び益田地区広域市町村圏事務組合広域消防相互応援協定	益田市、津和野町、益田地区広域市町村圏事務組合（島根県）	平成20年4月15日
22	浜田市・益田市・長門市・萩市災害時の相互応援に関する協定	浜田市、益田市（島根県）、長門市（山口県）	平成21年8月19日
23	大規模災害時における応急対策業務の協力に関する協定	萩市建設業協会	平成21年11月25日
24	萩市消防本部地域における医療救護活動に関する協定	医療法人医誠会都志見病院	平成22年10月1日
25	萩市とマックスバリュ西日本株式会社との地域貢献連携協定	マックスバリュ西日本株式会社	平成23年8月2日
26	山口県及び市町相互間の災害時応援協定	山口県、山口県内自治体	平成24年1月12日
27	山口県萩市と茨城県鉾田市との間における災害時相互応援に関する協定	鉾田市（茨城県）	平成24年3月15日
28	山口県内広域消防相互応援協定	山口県内自治体、一部事務組合	平成24年4月1日
29	「母体・新生児救急搬送マニュアル」に係る救急業務相互応援協定	山口県内自治体、一部事務組合	平成24年4月1日
30	災害時における情報交換に関する協定	国土交通省中国地方整備局	平成24年4月16日
31	災害時における物資供給に関する協定	NPO法人コメリ災害対策センター	平成24年4月19日
32	災害応急対策活動の相互応援に関する協定	篠山市（兵庫県）	平成24年6月6日
33	災害応急対策活動の相互応援に関する協定	輪島市（石川県）	平成24年11月22日
34	大規模災害時における萩市が管理する施設の警察派遣部隊の利用に関する協定	萩警察署	平成25年2月14日
35	災害応急対策活動の相互応援に関する協定	尾張旭市（愛知県）	平成25年7月25日
36	特設公衆電話の設置・利用に関する協定	西日本電信電話株式会社	平成25年8月12日
37	災害時における行政書士業務の支援活動に関する協定	山口県行政書士会	平成25年12月25日
38	災害時における災害救助物資確保に関する協定	生活協同組合コープやまぐち	平成26年7月4日
39	災害時における物資の供給に関する協定	山口県LPガス協会萩支部	平成26年11月10日
40	災害に係る情報発信等に関する協定	ヤフー株式会社	平成27年1月15日
41	大規模災害時相互応援協定	石巻市（宮城県）	平成28年4月8日
42	災害時等の消防活動に必要な燃料の供給等に関する協定	山口県石油協同組合萩支部	平成28年7月1日
43	災害時における施設利用及び備蓄品の提供等に関する協定	萩・長門清掃一部事務組合、株式会社はないろ、長門市（山口県）	平成28年11月7日
44	アマチュア無線による災害時応援協定	JARLアマチュア無線萩クラブ	平成29年3月10日

資料：市防災危機管理課、市消防本部警防課

（令和7年9月末日現在）

55 災害時応援協定（つづき）

No.	協 定 名	協 定 の 相 手 方	締 結 日
45	災害時における支援協力に関する協定	山口県土地家屋調査士会	平成29年5月17日
46	災害時における災害救助物資確保に関する協定	株式会社キヌヤひやこ店	平成30年7月17日
47	災害時における災害救助物資確保に関する協定	株式会社キヌヤ江崎店	平成30年7月17日
48	災害時における災害救助物資確保に関する協定	株式会社キヌヤ須佐店	平成30年7月17日
49	災害時における災害救助物資確保に関する協定	株式会社キヌヤ菊ヶ浜店	平成30年7月17日
50	災害時における災害救助物資確保に関する協定書	株式会社ユアーズ丸和東萩店	平成30年7月17日
51	災害応急対策活動の相互応援に関する協定	津和野町（島根県）	平成31年1月28日
52	災害時における道の駅施設使用に関する協定	国土交通省中国地方整備局 山口河川国道事務所	令和1年11月1日
53	災害情報に関する放送の実施協定	萩テレビ株式会社	令和2年2月21日
54	災害時における連絡体制および協力体制に関する取扱い	中国電力ネットワーク株式会社 萩ネットワークセンター	令和2年6月18日
55	災害時におけるストーマ装具等の供給に関する協定	有限会社ひまわり	令和2年7月1日
56	防災活動への協力に関する協定	王子コンテナ株式会社防府工場	令和2年10月15日
57	災害時等における災害用トイレ等の供給に関する協定	株式会社ケンユー	令和2年10月30日
58	災害応急対策活動の相互応援に関する協定	株式会社岩崎宏健堂	令和3年3月8日
59	災害時等におけるドローンを使用した支援活動に関する協定	山口県産業ドローン協会	令和3年5月10日
60	災害時における物資（ユニットハウス等）の供給に関する協定	三協フロンテア株式会社	令和3年11月5日
61	災害時における石油類燃料の供給に関する協定	山口県石油商業組合萩支部	令和4年10月3日
62	災害時における物資輸送等に関する協定	山陰福山通運株式会社 萩営業所	令和4年10月21日
63	災害時における災害救助物資確保に関する協定	株式会社ゆめマート北九州	令和4年11月2日
64	自然災害時の共同取組に関する覚書	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	令和4年11月18日
65	災害時における消化ガス発電設備による電力供給に関する協定	萩浄化センター消化ガス発電事業 グリーネスト株式会社 ヤンマーエネルギーシステム株式会社広島支店共同事業体	令和4年12月20日
66	損害調査結果の提供及び利用に関する協定	三井住友海上火災保険株式会社 山口支店	令和5年3月13日
67	萩市と山口県飲食業生活衛生同業組合萩支部との地域活性化包括連携に係る協定	山口県飲食業生活衛生同業組合萩支部	令和5年7月28日

資料：市防災危機管理課、市消防本部警防課

（令和7年9月末日現在）

55 災害時応援協定（つづき）

No.	協 定 名	協 定 の 相 手 方	締 結 日
68	災害時における応急対策資機材の供給等に関する協定	光東株式会社	令和6年2月1日
69	山口市・萩市・防府市消防相互応援に関する協定	山口市、萩市、防府市	令和6年3月25日
70	災害時における応急対策資機材の供給等に関する協定	株式会社キロク	令和6年7月5日
71	災害時における宿泊施設等の提供に係る協定	萩の御厨 高大	令和6年10月28日
72	災害時における宿泊施設等の提供に係る協定	グラン・ジュテ萩	令和6年10月28日
73	災害時における宿泊施設等の提供に係る協定	パーク・イン まるふく	令和6年10月28日
74	災害時における宿泊施設等の提供に係る協定	萩の宿 常茂恵	令和6年10月28日
75	災害時における宿泊施設等の提供に係る協定	萩トラベルイン	令和6年10月28日
76	災害時における宿泊施設等の提供に係る協定	萩ロイヤルインテリジェントホテル	令和6年10月28日
77	災害時における宿泊施設等の提供に係る協定	千春楽	令和6年10月28日
78	災害時における宿泊施設等の提供に係る協定	リゾートホテル美萩	令和6年10月28日
79	災害時における宿泊施設等の提供に係る協定	萩本陣	令和6年10月28日
80	災害時における宿泊施設等の提供に係る協定	夕景の宿 海のゆりかご 萩小町	令和6年10月28日
81	災害時における宿泊施設等の提供に係る協定	萩観光ホテル	令和6年10月28日
82	災害時における宿泊施設等の提供に係る協定	赤崎旅館	令和6年10月28日
83	災害時における物資輸送等に関する協定	有限会社吉部運送	令和7年2月5日
84	災害時における物資輸送等に関する協定	マルケー萩貨物自動車株式会社	令和7年2月5日
85	災害時における物資輸送等に関する協定	協栄運輸株式会社	令和7年2月5日
86	災害時における物資輸送等に関する協定	有限会社旭運送	令和7年2月5日
87	災害時における物資輸送等に関する協定	有限会社山根運送	令和7年2月5日
88	B&G財団及び中国ブロックB&G海洋センター等所在市町村間 災害時相互応援協定	B&G財団・中国ブロック内B&G海洋センター等所在市町村	令和7年9月9日

資料：市防災危機管理課、市消防本部警防課

(令和7年9月末日現在)

《萩市のあゆみ》

56 萩市のあゆみ

- 平成 17. 3 新「萩市」が誕生
野村興児萩市長が就任
萩市民病院東館完成
福川污水处理場完成
老人福祉施設「萩市中津江・福祉複合施設なごみ」完成
知的障害者福祉施設「さんみ苑グループホーム」完成
- 4 萩温泉郷スタート
- 10 全国史跡整備市町村協議会開催
日仏景観会議萩会議開催
- 11 新「萩市」誕生記念式典開催、市章決定
萩ものしり博士検定実施
- 平成 18. 2 藍場川が「全国疏水 100 選」に選定
- 3 田万川総合事務所新庁舎完成
旧萩藩校明倫館南門保存修理事業完了
椿西小学校新校舎完成
田万川農産物加工施設完成
むつみ大根洗浄選別施設完成
- 4 松陰誕生地広場整備完了
井上勝旧宅門修復（ワンコイントラスト）
萩商工高校開校
- 5 菊ヶ浜が「快水浴場 100 選」に選定
玉江浦・倉江地区に漁業集落道・緑地広場等整備
- 7 長州ファイブジュニア派遣開始
- 8 萩市が平和都市宣言
萩博物館入館者 20 万人達成
- 10 主要県道萩・川上線完成
指月公園が「日本の歴史公園 100 選」に選定
- 11 国民文化祭山口 2006 開催
新「萩市」の市民憲章等制定
- 平成 19. 2 福栄地域産業廃処分場建設反対総決起大会開催
- 3 萩市が「美しい日本の歴史的風土 100 選」に選定
育英小学校完成
国道 262 号萩バイパス開通
市消防署佐々並分遣所完成
- 4 萩国際大学が山口福祉文化大学へ改称
- 5 上津江水源地に上水道除マンガン施設完成
- 7 「萩市地域生活推進小規模多機能サービス特区」が構造改革特区認定
- 8 萩博物館入館者 30 万人達成
松下村塾開塾 150 年記念

- 平成 19. 9 萩往還が「日本風景街道」に登録
- 10 萩ウェルネスパーク大型複合遊具広場完成
- 12 「萩市景観計画」策定し、萩市景観条例施行
- 平成 20. 2 国道 191 号萩・三隅道路（三見明石～三隅間 7.1km）開通（県内初、山陰自動車道供用開始）
主要地方道萩三隅線（2.3km）開通
- 3 無田ヶ原口・福祉複合施設おとずれ完成
- 4 萩第二リサイクルセンター（エコプラザ・萩）供用開始
萩市民病院結核病床（15 床）廃止
- 6 三見戸湧水と阿字雄の滝が「平成の名水百選」に選定
- 7 萩市水道水源保護条例施行
- 8 山口県立萩美術館・浦上記念館入館者 100 万人達成
明治維新 140 年記念事業開催
- 9 文化庁が「九州・山口の近代化産業遺産群」の世界遺産国内暫定一覧表への掲載を発表（萩市構成資産；萩反射炉、恵美須ヶ鼻造船所跡、松下村塾）
- 10 萩市屋外広告物等に関する条例施行
- 11 県内初、平和市長会議に加盟
- 12 世界遺産条約関係省庁連絡会議で世界文化遺産に政府が推薦する暫定リストに正式に記載
- 平成 21. 1 萩市が「歴史的風致維持向上計画」第 1 号認定
- 3 萩市市民活動センター「結」オープン
萩市東農業委員会と萩市西農業委員会を統合し、萩市農業委員会を設置
- 4 中央公園供用開始
- 5 大照院鐘楼門保存修理工事完了（建立後 260 年で初の大改修）
- 8 萩博物館入館者 50 万人達成
- 9 伊藤博文公没後 100 年記念事業開催
- 10 世界遺産登録推進萩市民会議設立
吉田松陰先生 150 年祭記念式典開催、至誠館オープン
- 平成 22. 3 萩市制施行 5 周年記念式典
萩市民の歌「萩のよこび」制定
三見浄化センター完成
唐樋札場跡復元
- 4 萩・長門清掃一部事務組合設立
道の駅「萩・さんさん三見」オープン
- 5 見島診療所完成

56 萩市のあゆみ

- 平成 22. 9 県立萩美術館・浦上記念館に「陶芸館」オープン
- 10 道の駅「萩往還」リニューアルオープン
高杉晋作立志像完成
- 11 萩・長門峡観光遊覧船運航開始
全国伝統的工芸品フェスタ in 萩開催
- 12 萩城跡「時打矢倉跡」石垣保存修理工事完了
- 平成 23. 1 新図書館開館
地域情報通信基盤整備(地上デジタル放送・ブロードバンド化・携帯電話不感エリアへの対応)
小郡萩道路・秋吉台 IC 開通(秋吉台 IC～十文字 IC 間 2.3 km)
- 2 「唐樋札場跡」国史跡萩往還に追加指定
- 3 3.11「東日本地震災害を救援する萩市の会」を設立し、支援開始
見島ふれあい交流センター完成
大島小学校・大島中学校完成
新萩図書館・児童館「萩あいぶらり」開館
重要文化財大照院保存会設立
萩城跡外堀保存整備完了
- 5 小郡萩道路・秋吉台 IC～絵堂 IC 間 12.9 km 開通
- 6 佐々並市が国の重要伝統的建物群保存地区に選定(4 地区目指定により京都市と並び全国最多)
- 7 市民総合窓口開設
- 9 萩・三隅道路全線開通
- 10 第 66 回国民体育大会・第 11 回全国障害者スポーツ大会開催
萩循環まあるバス、バスでは全国初磁気ループ導入
視覚障害者誘導用道路横断帯(エスコートゾーン)を北浦地域で初設置
- 11 田万川温泉「憩いの湯」新泉源から供給開始
萩セミナーハウスオープン
- 平成 24. 2 第 22 回全国椿サミット萩大会開催
- 9 「大板山たたら製鉄遺跡」国の指定史跡に指定
- 10 萩市空き家等の適正管理に関する条例施行
萩市花と緑のまちづくり条例施行
下関市と広域連携事業協定締結
- 11 全国農林水産物直売サミット開催
- 12 人間国宝(国指定重要無形文化財萩焼保持者)で、萩市名誉市民の陶芸家・三輪壽雪さん 102 歳で逝去

- 平成 25. 2 福祉複合施設つばき完成
- 3 中央公園にプレーパーク完成
佐々並中学校閉校
- 4 大島航路に新船「はぎおおしま」就航
陶芸の村公園の交流広場、グラウンド・ゴルフ専用コースオープン
萩市消費生活センターマスコットキャラクター「萩にゃん」誕生
- 8 7.28 豪雨災害により、1000 世帯以上の住宅被害、激甚災害の指定
- 9 7.28 豪雨災害の復旧・復興のため災害復興局を新設
萩反射炉など 8 県 11 市の 28 資産で構成する「明治日本の産業革命遺産九州・山口と関連地域」を世界遺産の推薦に決定
- 10 休日急患診療センター診療開始
萩市地域医療連携支援センター完成
- 12 平成 27 年 NHK 大河ドラマに「花燃ゆ」放送決定
- 平成 26. 2 第 1 回萩・幕末維新検定実施
- 3 明倫小学校新校舎完成
むつみ農産物加工販売施設「萩・むつみの恵」オープン
7 月 28 日を「萩市民防災の日」に制定
- 4 小郡萩道路絵堂～萩間事業化決定
山口福祉文化大学が至誠館大学に改称
- 6 川上にトーフレ新工場開所
- 7 萩博物館入館者 100 万人達成
- 8 幕末歴史資料コレクター小川忠文さん幕末歴史コレクション 3,247 点を萩市に寄付
- 11 萩博物館と萩まちじゅう博物館開館 10 周年
- 平成 27. 1 大河ドラマ「花燃ゆ」放送開始、「文と萩物語 花燃ゆ 大河ドラマ館」オープン
- 3 萩市合併 10 周年記念式典開催
旧明倫小学校と弥富猿屋の柱状節理(猿屋の滝)が市指定文化財に指定
弥富保育園閉園
須佐保育園新園舎完成
萩・長門清掃工場「はなもゆ」完成
- 4 新川保育園と椿東保育園を統合し、新保育園「椿東保育園」開園
山陰道(益田市～萩市)3 区間が優先整備区間に選定
須佐歴史民俗史料館「みこと館」リニューアルオープン

56 萩市のあゆみ

- 平成 27. 7 萩反射炉、恵美須ヶ鼻造船所跡、大板山たたら製鉄遺跡、萩城下町、松下村塾の 5 つの資産が「明治日本の産業革命遺産製鉄・製鋼、造船、石炭産業」として世界遺産に登録
萩市小川交流センター「みのり」完成
- 9 見島小学校・中学校の新校舎完成
地域おこし協力隊活動スタート
- 10 ねんりんピックおいでませ！山口 2015 萩でマラソン交流大会開催
阿武川ダム完成 40 周年記念事業実施
- 11 被災した須佐歴史民俗資料館の別館「益田館」再開館
- 平成 28. 1 鹿児島市と友好都市の盟約締結
萩・世界遺産ビジターセンター学び舎オープン
- 3 東部地域定住促進住宅「うみかぜ須佐住宅」完成
大井小・中学校屋内運動場完成
- 4 紫福小学校と福川小学校を統合し、福栄小学校を開校
明木中学校の校名を旭中学校に変更し開校
新明木図書館開館
石巻市と友好都市の協定締結
- 5 フラワー都市交流連絡協議会総会開催
- 8 夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会開催
- 10 田万川診療所開所
台北市士林区と友好交流協力に関する覚書締結
井上勝志気像完成
映画「八重子のハミング」上映開始
- 11 まあーるバス累計利用者 400 万人達成
- 12 萩山口信用金庫「萩市創業チャレンジ応援助成金」第一号の交付
- 平成 29. 1 大型定置網漁船「第一新名島丸」完成
萩図書館入館者 200 万人達成
- 2 萩・世界遺産ビジターセンター学び舎閉館
- 3 萩・明倫学舎オープン
東部地域定住促進住宅「うみかぜ田万川住宅」完成
萩市高校生女子寮完成
大板山たたら館完成
野村興児萩市長が退任
藤道健二萩市長が就任
山陰道益田～萩間で初の事業化（木与防災事業）
- 4 佐々並市伝建地区 旧小林家住宅オープン

- 陶芸の村公園内に萩ドッグランオープン
- 6 萩・明倫学舎入館者 10 万人達成
J R 西日本豪華寝台列車「TWILIGHT EXPRESS 瑞風」運行開始
- 8 新観光列車「〇〇のはなし」運行開始
- 10 子育て世代包括支援センターHAGUオープン
萩の博物館（田中博物館）開設 80 周年
- 11 大照院本堂等保存修理完了
- 平成 30. 1 萩・明治維新 150 年オープニングイベント開催
- 2 萩・明倫学舎の入館者 30 万人達成
東部地域定住促進住宅「うみかぜ須佐住宅」完成
- 3 新大井公民館・大井出張所「阿牟（あむ）の里けやき」完成
移住世帯数累計 200 世帯到達
見島地域コミュニティ無線整備
萩市立木間小中学校閉校
- 4 コンビニ納付、コンビニ交付サービス開始
- 7 萩市基本ビジョン策定
- 9 萩ジオパークが日本ジオパークに認定
- 10 萩市蕨山広域市姉妹都市提携 50 年記念式開催
萩・食の祭典開催
萩・明治維新 150 年記念式典開催
記念漫画「長州ファイブ」発刊
- 11 萩・明倫学舎入館者 50 万人達成
- 12 地域産業振興構想及び萩市ひとづくり構想策定
- 平成 31. 1 萩市出身の故小原實夫さんから 4 億円寄付
- 3 萩市土原保育園閉園
- 4 須佐地域に、農林水産物直売所「いかマルシェ」オープン
見島航路に新高速船「ゆりや」就航
- 令和元. 5 浜崎地区に萩市インキュベーションセンターと、山口大学サテライトラボ萩オープン
- 7 萩市総合福祉センター完成
越ヶ浜保育園大井分園完成
鎌倉市と姉妹都市締結 40 年記念事業開催
7 月 28 日を萩市民防災の日、7 月 23 日～29 日の期間を萩市民防災週間と定め、式典・防災講演会開催
- 8 萩博物館入館者 150 万人達成
- 11 全国藩校サミット萩大会開催
「きものの似合う街」大賞受賞

56 萩市のあゆみ

- 令和2. 1 第1回中核病院形成検討委員会開催
 2 ビジネスチャレンジサポートセンター「はぎビズ」開設
 萩市出身の故小原實夫さんから約4,000万円寄付
 3 新福栄複合施設「ふくえ〜る」完成
 4 見島に「島のよろずやボプラ見島店」開店
 路線バスの運賃と離島航路の船賃の助成「HAGICA」開始
 5 堀内雨水ポンプ場供用開始
 7 世界文化遺産登録5周年
 見島豪雨災害
 8 萩市名誉市民の浦上敏郎さん94歳で逝去
 10 萩図書館入館者300万人達成
 萩児童館入館者50万人達成
- 令和3. 1 親子の遊び場「あそぼー舎」オープン
 道の駅「あさひ」リニューアルオープン
 萩市全域が萩市ワイン特区として認定
 藤道健二萩市長が退任
 田中文夫萩市長が就任
 萩市と阿武町の6酒蔵が製造する日本酒が地理的表示(GI)に指定
 4 萩市総合アプリ「はぎなび」運用開始
 5 新型コロナウイルスワクチン高齢者向け接種開始
 5 笠山山頂展望台リニューアルオープン
 7 地域おこしメッセンジャー創設
 第1回中核病院協議会開催
 東京2020オリンピック競技大会カヌーに足立和也選手出場
 11 大島複合施設「ゆうあい館」完成
- 令和4. 3 萩・明倫学舎4号館開館
 木間ヘリポート完成
 4 中学校給食費無償化開始
 「はぎボルト-暮らしの案内所-」開設
 はぎ地域づくり協同組合が県内初、特定地域づくり事業協同組合に認定
 SMOUT移住アワード2021で萩市が第1位獲得
 田万川温泉憩いの湯リニューアルオープン
 6 子どもの居場所・萩拠点「わくわくベース」オープン
 7 出逢いサポートセンター「GO-ENセンター」開所
 はぎボルト(旧・萩暮らし応援センター)を通じた萩市への移住が400世帯到達

- 萩・明倫学舎入館者100万人達成
 9 萩・明倫学舎3号館開館(4棟全て完成)
 市民ギャラリー「ふれ愛ギャラリー萩ぶらっと」オープン
 12 萩ジオパークが日本ジオパークに再認定
- 令和5. 3 第33回全国椿サミット萩大会開催
 長門峡国指定名勝100周年
 4 小学校給食費無償化開始
 萩阿武川温泉ふれあい会館リニューアルオープン
 笠山山頂展望台にカフェ「鳶ノ巣」オープン
 8 相島航路に新船「あいしま」就航
- 令和6. 3 はぎボルト(旧・萩暮らし応援センター)を通じた萩市への移住が500世帯到達
 4 シーボルトのピアノ 附 熊谷家文書三通四点と金谷神社の異人的額が市指定文化財に指定
 道の駅「萩・さんさん三見」リニューアルオープン
 看護師住宅と高校生男子寮の運営開始
 6 カーボンニュートラルチャレンジを宣言
 7 「鉄道の父」井上勝の関係資料が英国から萩市に寄贈
 8 GI萩「萩の清酒」と「萩焼」をニューヨークでPR
 11 萩市がNHKワールドJAPANで紹介
 12 料亭高大が国の登録有形文化財に登録
 萩反射炉国史跡指定100周年
 明神池国天然記念物指定100周年
- 令和7. 1 見島や萩焼を題材とした「夢化けの島」が収録された「藍を継ぐ海」が直木賞受賞
 3 萩市合併20周年
 旧小川村役場庁舎が国の登録有形文化財に登録
 4 毛利輝元公没後400年記念事業開催
 7 世界文化遺産登録10周年
 10 はぎボルトを通じた萩市への移住者が1,000人に到達
 11 山口県消防指令センター運用開始

57 旧市町村のあゆみ

旧萩市

昭和 7 . 7 市制施行
 昭和 8 . 2 山陰本線全線開通
 7 市民憲章制定
 昭和 9 . 3 市章・市歌制定
 昭和 16 . 10 社会館開設 昭21.12市立移管
 昭和 17 . 1 萩～防府間放送中継線開通
 保健所開所
 昭和 20 . 12 市立図書館の設置(土原)
 昭和 21 . 9 商工会議所設立
 11 市民憲章を公募、制定
 昭和 22 . 5 新制中学校開校(5校)
 10 萩市消防団設立
 昭和 24 . 6 萩電報電話局開局
 昭和 26 . 6 史跡・萩城跡国指定
 9 市柑橘試験場設置
 昭和 27 . 2 萩光塩女子学院開校
 4 市指月園開設
 昭和 28 . 3 西の浜に塵芥焼却場完成
 昭和 30 . 3 三見・大井・六島・見島各村を萩市に合併
 (人口4.1万人から5.7万人へ)
 4 市救護所開設
 11 北長門海岸国定公園に指定
 昭和 31 . 7 市民球場完成
 昭和 32 . 5 市と見島農漁協で(有)萩海運を設立
 見島航路営業開始
 昭和 34 . 8 市松陰遺墨展示館開館
 昭和 35 . 11 文化財保護条例制定
 昭和 39 . 1 し尿処理場完成
 12 萩～小郡間道路完全舗装完了
 昭和 42 . 1 史跡萩城跡追加指定
 史跡萩城城下町国指定
 4 萩女子短期大学開校
 昭和 43 . 10 市民館完成
 維新百年行事盛大に挙行
 韓国蔚山市と姉妹都市提携
 昭和 44 . 9 萩地区広域市町村圏圏域指定
 昭和 45 . 9 県出先機関総合庁舎竣工
 昭和 46 . 8 萩総合福祉センター開設
 昭和 47 . 1 身障児通園施設「ふたば園」開園
 7 市民憲章制定
 10 歴史的景観保存条例制定
 昭和 48 . 4 市花(つばき、はぎ)市木(くろまつ)決定
 昭和 49 . 7 広域市町村圏組合萩清掃工場操業開始
 市新庁舎竣工
 9 市立図書館開館
 昭和 50 . 1 市武道館完成
 10 下田市と姉妹都市提携
 昭和 51 . 7 市隣保館開館
 9 国の重要伝統的建造物群保存地区に指定
 (堀内地区)
 昭和 52 . 12 相島文化センター完成
 昭和 53 . 3 見島し尿処理施設完成
 昭和 54 . 3 市民体育館完成

昭和 54 . 7 全国伝統的建造物群保存地区協議会
 発足(菊屋萩市長が会長就任)
 11 鎌倉市と姉妹都市提携
 第1回北浦ふるさとまつり開催
 昭和 55 . 4 見島総合センター完成
 昭和 57 . 4 大島診療所完成
 7 市制50周年行事盛大に挙行
 昭和 59 . 2 萩城城下町追加指定
 7 見島ジーコンボ古墳群国の史跡指定
 11 潤いのあるまちづくり優良団体として自治大臣
 表彰
 昭和 60 . 4 公共下水道共用開始
 昭和 61 . 5 萩市保健センター完成
 大島・見島航路定期船「たちばな2」就航
 昭和 63 . 10 萩清掃工場完成
 11 萩市一会津若松市の民間交流スタート
 平成 元 . 1 萩物産協会設立
 4 大井不燃物埋立処理場完成
 8 高杉晋作生誕150年記念祭開催
 9 萩CATV開局
 萩女子短期大学美萩台キャンパス完成
 平成 2 . 7 萩市が緑化推進の功績により内閣総理大臣賞
 受賞
 10 輪島市と姉妹都市提携
 12 萩市都市景観条例制定
 平成 3 . 3 県道萩城跡線、市道平安古・菊ヶ浜線の電線
 地下埋設完了
 4 デイサービスセンター・市老人福祉センター開設
 平成 4 . 3 萩有料道路開通
 萩往還梅林園、松陰記念館、松陰群像完成
 4 県立萩養護学校開校
 (前字部養護学校萩分校)
 7 萩市制60周年記念式典挙行
 平成 5 . 3 国出先機関萩地方合同庁舎完成
 平成 6 . 3 (株)マリーナ萩(第3セクター)設立
 10 建設省の「都市景観100選」に選定
 平成 7 . 3 国土庁の「水の郷」に認定
 4 山口県立萩看護学校開校
 10 萩市の在宅福祉事業が厚生大臣表彰受賞
 平成 8 . 3 見島高齢者生活福祉センター完成
 4 萩都市計画道路・土原新川線の「松陰大橋」
 完成
 7 萩市の新しいシンボルマーク策定
 8 コミュニティFM「エフエム萩」開局
 10 山口県立萩美術館「浦上記念館」開館
 11 萩往還が文化庁の「歴史の道百選」に選定
 平成 9 . 3 川内3中学校が校区再編による閉校
 4 萩東中学校・萩西中学校開校
 5 萩リサイクルセンター完成
 平成 10 . 3 萩広域斎場「萩やすらぎ苑」完成
 萩市さんみ苑完成
 6 萩ウェルネスパーク都市公園野球場「萩スタ
 ジアム」完成

57 旧市町村のあゆみ

旧萩市

平成 11 . 3	萩第二浄化センター完成	平成 16 . 4	社会福祉法人萩市社会福祉事業団事業開始
4	萩国際大学開学	7	1市2町4村の合併調印式
9	サンライフ萩完成	平成 17 . 2	藍場川が「全国疎水100選」に選定
10	萩市郷土博物館閉館 吉田松陰没後140年記念事業	3	萩市閉庁式 萩市開庁式 1市2町4村合併
12	見島環境管理センター完成		
平成 12 . 3	萩女子短期大学閉校		
4	萩・健康維新の里オープン (萩市民病院、萩・福祉複合施設かがやき) 萩循環まあるバス運行開始 萩地区広域消防発足		
10	「萩焼400年パリ展」開催		
平成 13 . 3	伊藤博文公別邸完成 越ヶ浜浄化センター、大島浄化センター完成 萩ウェルネスパーク「ちびっこ広場」完成		
4	山口はぎ漁業協同組合発足 「萩しーまーと」完成 萩市河添介護予防センター完成		
10	国の重要伝統的建造物群保存地区に選定 (浜崎地区) わくわく子ども図書館オープン 夏みかんの花のかおりが環境省の「かおり 風景100選」に選定		
平成 14 . 1	萩焼が国の伝統的工芸品に指定		
3	見島ダム完成 三見小中学校完成 萩市鶴江介護予防センター完成 椿東小学校地域ふれあいセンター完成		
4	旧田中別邸公開、かんきつ公園完成 「山口はぎ水産物地方卸売市場」完成 萩木間畜産団地(HAGI-KOMAモーモー ファーム)完成 「大照院」国の重要文化財に指定		
6	1市2町4村連携による統一条例河川環境 保全条例制定		
7	萩市制施行70周年記念式典 萩市のうた「萩のなないろ」完成		
9	「萩往還」遊歩百選に選定 萩ウェルネスパーク武道館(多目的体育館) オープン		
12	前橋市と友好都市提携		
平成 15 . 2	萩広域市町村合併協議会設置		
3	鶴江渡船新造船就航 見島簡易水道浄水場完成 萩市越ヶ浜介護予防センター完成		
4	萩市福祉支援センター開所		
7	萩漁港環境整備事業完成 見島ダイビングサービス開始		
8	「国史跡 旧萩藩校明倫館」指定地域を拡大		
9	「萩・益田・津和野地域」が国の観光交流空間 づくりモデル事業に選定		
11	新博物館竣工式		
平成 16 . 3	見島し尿処理場竣工		

57 旧市町村のあゆみ

旧川上村

明治 22 . 4	村制施行	平成 12 . 5	川上村役場庁舎竣工式及び記念行事
明治 44 . 夏	山口高商英語教師ガントレットが阿武川の御堂原～竜宮淵を踏査し「長門耶馬溪」と命名	平成 15 . 2	萩広域市町村合併協議会設置
大正 9 . 8	高島北海の発議により長門耶馬溪を長門峡と改める	平成 16 . 7	1市2町4村の合併調印式
大正 12 . 3	史跡名勝天然記念物保存法により長門峡は名勝に指定される	平成 17 . 2	村制115周年記念式典及び閉村式
10	立野小学校に図書館を付設	3	1市2町4村合併
昭和 3 . 1	「川上村のムクゲ群落」天然記念物に指定		
昭和 16 . 7	萩～長門峡間乗合自動車開通		
12	「川上村のユズおよびナンテンの自生地」天然記念物に指定		
昭和 27 . 3	川上村森林組合設立		
10	川上村教育委員会発足		
昭和 28 . 2	社会福祉協議会設立		
昭和 31 . 12	野戸呂小学校校舎落成		
昭和 34 . 11	川上公民館開館		
昭和 35 . 3	県立自然公園として長門峡を指定		
昭和 38 . 6	母子健康センター開所		
昭和 39 . 4	阿武川総合開発事業予備調査開始		
昭和 41 . 6	玉泉寺の毘沙門天立像が山口県重要文化財に指定		
昭和 42 . 2	川上村章を制定		
昭和 43 . 4	大原に直営ユズ園1haを造成、1,100本を植栽		
昭和 46 . 9	平助・権太の石地藏を相原に再建		
昭和 48 . 7	三徳橋開通式		
昭和 50 . 3	阿武川歴史民俗資料館オープン		
	阿武川ダム完成(水没世帯162世帯 670人)		
12	阿武川ダム建設による付替道路萩長門峡線が開通		
昭和 51 . 7	川上中学校校舎完成		
昭和 54 . 7	川上村公民館完成		
9	県道萩長門峡線湯之瀬隧道完成		
昭和 55 . 9	村木に「スギ」村花に「ユズ」が決まる		
	かわかみ音頭を制定		
11	第1回川上村ふるさとまつりを開催		
昭和 58 . 5	県立自然公園長門峡が日本の自然100選に選定		
6	川上郵便局新局舎完成		
11	舟戸橋開通		
昭和 62 . 9	主要県道川上線「小郷橋」開通		
平成 2 . 3	国道262号佐古バイパス完成		
8	泉源開発調査ボーリング着手		
平成 3 . 3	かじか橋竣工式		
	川上村森林組合竣工		
8	温泉湧出(9月2日「阿武川温泉」に決定)		
平成 4 . 5	三徳歩道橋開通式		
平成 5 . 4	阿武川温泉ふれあい会館竣工式		
平成 8 . 4	特別養護老人ホーム「かわかみ苑」開苑		
平成 9 . 3	保健センター・診療所竣工		
平成 10 . 4	阿武川河川公園使用開始		
11	阿武川温泉露天風呂増設工事完成		
平成 12 . 3	川上村商工会竣工式		

57 旧市町村のあゆみ

旧田万川町

昭和 30 . 4	町制施行	平成 15 . 4	田万川中学校開校
昭和 31 . 9	須佐町の江津・尾浦が田万川町へ編入	平成 16 ・ 7	1市2町4村の合併調印式
昭和 35 . 6	田万川町母子保健センター開所	平成 17 . 1	田万川中学校新校舎竣工式
昭和 37 . 3	田万川町役場新庁舎完成 上野原畑地かんがい事業完成	2	田万川町開町式
5	役場新庁舎・母子保健センター・多磨小学校・小川公民館等の総合落成式挙行	3	1市2町4村合併
昭和 40 . 4	江崎漁協養殖事業に着手		
10	新町章決定		
昭和 42 . 4	上小川小・中小小川小・下小川小の三校を統合し、小川小学校として発足		
9	田万川町商工会館落成		
昭和 43 . 3	田万川町営火葬場完成		
4	行政区として大沢部落が完成		
昭和 45 . 5	田万川歯科診療所開設		
10	田万川町営墓地完成(築地地区)		
昭和 47 . 6	田万川町観光協会発足		
昭和 49 . 12	田万川町町民センター完成		
昭和 51 . 9	町民グラウンド完成(下郷地区) 町民歌及び町民音頭を制定		
昭和 52 . 7	小川町民センター完成		
昭和 54 . 3	県下初の保健センター完成		
昭和 56 . 2	益田ファンデーションが進出し、創業開始		
12	西堂寺六角堂が県文化財に指定		
昭和 57 . 3	小川地区に特別養護老人ホーム「阿北苑」完成		
昭和 60 . 4	行政区として「わらび台」が誕生		
昭和 61 . 3	下小川ふれあいセンター完成		
11	町内各団体主催による「田万川まつり」開催		
昭和 63 . 8	田万川夏まつりを開催		
10	数年ぶりに江崎湾で花火		
平成 元 . 8	警察庁が江崎警察署内6年間交通死亡事故ゼロの記録を表彰(日本一の記録)		
平成 2 . 3	新田万川町商工会館完成		
平成 3 . 1	江崎ふるさとセンター完成		
4	友信神楽舞が県指定無形文化財に指定		
10	小川地区で玄武岩柱状節理露出		
平成 4 . 4	町民グラウンド完成		
平成 5 . 2	肥城桃を平山台で植栽		
4	田万川町営斎場オープン		
平成 6 . 3	田万川町シンボルマーク決定		
6	町道瀬越線(パークロード)共用開始		
平成 8 . 4	田万川町温泉センターオープン		
山口阿武農業協同組合が発足			
平成 9 . 1	在宅介護支援センターオープン		
10	道の駅ゆとりパークたまがわオープン		
平成 10 . 7	田万川町リサイクルセンター完成		
小川農免道路開通			
平成 13 . 4	町道松崎線竣工		
平成 14 . 3	町民グラウンド整備工事完了		
9	萩広域任意合併協議会離脱		
11	市町村合併住民アンケート実施		
平成 15 . 2	萩広域市町村合併協議会設置		
3	小川・多磨中学校閉校		

57 旧市町村のあゆみ

旧むつみ村

昭和 30 . 4	旧吉部村・旧高俣村が合併しむつみ村発足	平成 16 . 2	高齢者生活支援ハウス竣工式(11室入居開始)
昭和 31 . 3	むつみ村農業共済組合設立	4	むつみ保育園竣工式・開園式
11	高佐温泉起工式	6	むつみコミュニティセンター完成
昭和 34 . 11	第1回村内駅伝競走大会	7	1市2町4村の合併調印式
昭和 35 . 12	山口自衛隊むつみ演習場使用開始	12	むつみ小学校完成
昭和 38 . 1	むつみ村商工会発足	平成 17 . 2	むつみ村閉村式
4	吉部・高俣診療所開設	3	1市2町4村合併
昭和 41 . 3	高俣支所・高俣公民館落成		
昭和 43 . 4	高俣幼稚園・吉部幼稚園開園		
昭和 44 . 12	村章制定		
昭和 50 . 4	農村研修所・むつみ診療所完成		
昭和 52 . 3	吉部小学校・徳佐高校高俣分校完成		
昭和 53 . 10	第1回むつみ村ふるさとまつり		
昭和 55 . 3	むつみ村社会福祉協議会設立		
11	B&Gむつみ海洋センター完成		
昭和 57 . 3	むつみ村商工会館完成		
昭和 58 . 10	国道315号線阿東むつみ校区開通		
昭和 59 . 4	阿武中広域農道完成		
昭和 60 . 8	むつみ村庁舎・農村環境改善センター完成		
	村民歌・村民音頭制定		
昭和 61 . 4	国道315号線御舟子多覚山トンネル完成		
昭和 62 . 4	村獣「野うさぎ」・村鳥「キジ」制定		
6	伏馬山ネムの丘キャンプ場オープン		
9	むつみ村民憲章制定		
平成 元 . 4	ひまわり栽培開始		
平成 3 . 6	健康いきいきひまわりロード設置		
10	高俣中学校学校林でマツタケ狩り		
11	吉部地区県営圃場整備事業竣工		
平成 4 . 4	むつみ中学校開校		
6	第1回大光寺はたるまつり開催		
平成 6 . 4	むつみ幼稚園開園式		
	特別養護老人ホーム「むつみ園」開園式		
平成 7 . 3	村キャラクターマーク作成		
6	奥阿武むつみ太鼓結成		
平成 8 . 3	在宅健康管理システム末端機(50台)設置		
	むつみ村観光協会発足		
平成 9 . 4	村内巡回患者輸送開始(火・金)		
7	こいこいがんこ村オープン		
8	生涯学習資料館(旧庁舎)開館		
11	吉部地区農業集落排水施設供用開始		
12	千石台大根集出荷施設完成		
平成 10 . 3	吉部小学校・高俣小学校閉校式		
	福祉の里ふれあいセンター完成(旧吉部中学校)		
4	むつみ小学校開校式		
平成 11 . 7	むつみ昆虫王国オープン		
	ひまわりロードフェスタ開催		
平成 12 . 4	いのししの里おぐにファーム竣工		
7	昆虫王国かぶと虫ドーム新設		
平成 13 . 6	うり坊の郷katamataオープン		
8	飛石川水辺の楽校開校式		
平成 15 . 3	ネムの丘公園整備完成(ローラーすべり台地)		

57 旧市町村のあゆみ

旧須佐町

昭和 30 . 4	旧須佐町・旧弥富村が合併し須佐町発足 須佐町章を制定	平成 15 . 4	須佐町文化センター竣工
11	北長門海岸国定公園指定	10	周南市との友好都市提携(4月22日旧徳山市 が合併により周南市となる)
昭和 31 . 9	江津・尾浦(90世帯481人)が須佐町から田万川 町へ編入	平成 16 . 4	ふれあいステーション須佐オープン(高齢者・ 障害者支援センター開設) 須佐中学校・弥富中学校統合により新生「須 佐中学校」誕生
昭和 43 . 4	新国道191号開通式	7	1市2町4村の合併調印式
11	須佐町明治維新百年記念式挙行 町民憲章制定 弥富公民館完成	平成 17 . 2	須佐町閉町式
昭和 45 . 9	馬取分校を弥富小学校に統合	3	1市2町4村合併
昭和 46 . 9	須佐町中央公民館が完成		
昭和 48 . 8	上三原田植えばやしが県指定無形文化財に指 定		
昭和 52 . 3	国道191号須佐バイパス開通(大刈・須佐トンネ ルが開通し、須佐・萩間が約40分で結ばれる)		
昭和 59 . 3	保健センター完成		
	4 漁業集落環境整備事業・汚水処理施設完成		
	7 鈴野川に農林漁業者等健康増進施設新築完 成		
昭和 60 . 4	徳山市との姉妹縁組提携調印		
10	合併30周年記念として町民歌・町民音頭を制 定		
11	町花(つつじ・さつき)・町木(ひのき・もくせい) 制定		
昭和 61 . 3	漁村センター新築完成		
	弥富小学校校舎改築完成		
	4 知的障害者更生施設「しんわ苑」開苑		
昭和 62 . 11	須佐町歴史民俗資料館完成		
平成 3 . 3	国道315号須佐バイパス開通、須佐大橋完成		
平成 4 . 3	新港橋竣工		
平成 6 . 3	役場新庁舎新築移転(5月1日竣工)		
	4 特別養護老人ホーム「すさ苑」開苑		
	県道須佐湾・高山尾浦線開通		
平成 7 . 7	「全国岬サミット」須佐町で開催		
平成 8 . 3	弥富診療所須佐出張診療所完成		
	4 須佐湾エコロジーキャンプ場オープン シーサイドステーション「つわぶきの館」オープ ン		
平成 9 . 3	高齢者保健福祉支援センターやまびこ竣工		
平成 10 . 2	町立図書館「まなぼう館」オープン		
	3 須佐町交流促進センター竣工		
	9 須佐湾フィッシングパークオープン		
平成 11 . 3	弥富上営農飲雑用水施設竣工		
	5 須佐湾ダイビングステーションオープン		
平成 13 . 3	町営火葬場「ともしび苑」開苑		
	4 萩消防署弥富出張所開所 すさ苑高齢者生活福祉センター「寿」・すさ苑 認知症老人グループホーム「はたるの里」完成		
	5 21世紀に残す日本の風景遺産100選にホルン フェルスが入選		
平成 14 . 11	県道益田阿武線 梅ノ木トンネル貫通		

57 旧市町村のあゆみ

旧旭村

昭和 30 . 4	旧明木村・旧佐々並村が合併し旭村発足	平成 11 . 9	「下横瀬公民館」「落合の石橋」国の登録文化財指定
	7 菅蓋上橋完成		
昭和 31 . 11	役場庁舎(明木)および明木中学校屋内体操場完成	平成 12 . 2	村営住宅「すもうば団地」完成、一行政区となる
		7	芋郷橋完成
昭和 32 . 3	明木図書館完成	平成 14 . 3	旭村活性化センター完成
	6 下長瀬橋完成	平成 15 . 3	牛地定住促進団地分譲開始
昭和 33 . 1	佐々並中学校完成		萩往還交流施設「乳母の茶屋」完成
昭和 34 . 1	明木小学校完成	平成 16 . 3	沖ノ原村営住宅完成
	3 古戦場、角力場農道開設	5	レストステーション「つつじ」オープン
	5 佐々並ダム完成	7	1市2町4村の合併調印式
昭和 36 . 6	旭村商工会発足	平成 17 . 2	旭村閉村式
	7 明木出張診療所開設	3	1市2町4村合併
昭和 37 . 7	佐々並公民館完成		
昭和 43 . 8	佐々並バイパス完成		
昭和 44 . 12	旭村章制定(募集による)		
昭和 47 . 11	国道262号全線開通		
昭和 49 . 3	佐々並農協育苗センター完成		
昭和 52 . 5	不燃物処理場完成		
	8 国道262号明木バイパス開通		
昭和 54 . 8	明木ライスセンター完成		
昭和 58 . 3	高齢者コミュニティセンター完成		
	矢代農免道路開通		
	4 21世紀の森完成		
	7 健康増進センター完成		
昭和 59 . 9	村木「ひのき」村花「つつじ」に決定		
昭和 60 . 2	山村広場完成		
	4 旭村民憲章制定		
昭和 61 . 3	旭村保健センター完成		
昭和 62 . 2	明木農協農産物加工場完成		
	3 菅蓋農免道路開通		
昭和 63 . 3	歴史の道「萩往還」国文化財指定		
平成 元 . 7	旭村イメージソング「ひとすじの道」「あさひ音頭」完成		
平成 2 . 11	第1回旭グリーンアドベンチャーマラソン開催		
平成 4 . 3	萩有料道路開通		
	4 特別養護老人ホーム「ちはるえん」開設		
	6 ドイツユーリンゲン・ビルゲンドルフと姉妹提携		
平成 6 . 4	イベント広場完成		
	6 道の駅「あさひ」オープン		
平成 7 . 6	第3セクター(有)グリーンファーム旭設立		
	7 旭アクティビティパーク・オートキャンプ場オープン		
平成 8 . 3	庁舎固定化協議会最終答申により本庁固定		
	4 旭村アクティビティパーク・ナチュラサーキットオープン		
	12 本庁舎増改築工事完了		
平成 9 . 3	旭村リサイクルセンター完成		
	旭村マルチメディアセンター完成		
平成 11 . 3	明木診療所、在宅介護支援センター、老人憩いの家完成		
	鹿背隧道、国の登録文化財指定(村第1号)		

57 旧市町村のあゆみ

旧福栄村

昭和 30 . 4	福川村、紫福村が合併し福栄村発足	平成 13 . 5	広域基幹林道「福萩線」開通
6	福栄村社会福祉協議会設立	6	福栄村総合情報施設「FIC」開局
12	第1回福栄村産業祭開催	平成 14 . 3	広域消防、萩消防署紫福分遣所完成
昭和 33 . 9	福栄村役場新庁舎落成	6	紫福ふれあい市(農林水産物直売食材供給施設)竣工
11	社会教育推進のため、部落公民館長制度創設	12	農事組合法人平蔵台共同生産組合、法人として山口県エコファーマー第1号に認定
昭和 35 . 10	紫福診療所開所	平成 15 . 1	ケーブルテレビ第3セクター「株式会社北浦21世紀型農村CATVネットワーク」設立
昭和 37 . 3	福栄村商工会創立	2	福栄村商工会の商工会館完成
昭和 41 . 4	福栄村章制定	6	福栄村葉たばこ乾燥貯蔵施設完成
昭和 42 . 7	木造文殊菩薩騎獅像が山口県有形文化財に指定		大韓民国全羅南道靈巖郡徳津面と姉妹結縁協定調印
昭和 45 . 9	福川地区にライスセンター完成	平成 16 . 4	福栄村内の4土地改良区統合、「福栄村土地改良区」発足
昭和 47 . 3	佐々連鍾乳洞一帯が県より佐々連洞自然保護地区に指定	7	1市2町4村の合併調印式
8	福栄村コミュニティセンター新築完成	平成 17 . 3	福栄村閉村式
昭和 49 . 2	森田家住宅が国指定重要文化財に指定		1市2町4村合併
昭和 50 . 10	福川診療所竣工		
昭和 52 . 9	紫福地区にライスセンター完成		
昭和 55 . 3	福栄村老人福祉センター完成		
11	第1回福栄村ふるさとまつり開催		
昭和 57 . 4	福栄村村民体育館完成		
昭和 58 . 6	村営一般廃棄物処理場(千枚畑)完成		
昭和 59 . 5	山の口ダム完工式		
昭和 60 . 3	村の文化財に彫刻10件、天然記念物1件を指定		
10	紫福山村広場完成		
	村民憲章及び村のシンボル制定		
昭和 63 . 3	山陰大規模林道「波佐阿武線」の福栄阿武地区間開通		
11	大板山たたら製鉄遺跡が山口県指定史跡に指定		
平成 元 . 3	滝の里キャンプ場完成		
	特別養護老人ホーム「紫福園」完成		
平成 2 . 8	村の歌「しあわせのふるさと」「福栄音頭」発表		
11	農産物加工センター「ふくふくセンター」完成		
平成 4 . 3	保健センター「すくすくふくえ」完成		
9	県道山口福栄須佐線ふくふくトンネル貫通		
平成 5 . 2	村のシンボルマーク公表		
4	押原バイパス開通		
平成 6 . 8	美乃越トンネル貫通		
平成 7 . 12	大板山たたら製鉄遺跡保存整備完了		
平成 8 . 3	農業管理センター開設		
4	福栄中学校開校		
5	県道山口福栄須佐線、掘割・向山間全線開通		
6	国民健康保険福川診療所開所		
平成 9 . 4	道の駅「ハピネスふくえ」オープン		
平成 10 . 3	「森の館 萩」竣工		
10	平わらび台活性化交流施設「夢る〜らる雲海」完成		
平成 11 . 4	サンサンひろば公園完成		
12	福栄村在宅介護支援センター完成		
平成 12 . 3	穀物乾燥調整貯蔵施設の阿西カントリーエレベーター竣工		
	木造阿弥陀如来立像が村文化財に指定		

ふるさと萩のすがた（令和7年版）

令和7年12月発行

編集 萩市総合政策部企画政策課

発行 萩市

〒758-8555

山口県萩市大字江向510番地

TEL 0838-25-3431

FAX 0838-26-3803

定価 100円

令和7年12月17日

所属部課	部長	課長	課長補佐	担当	連絡先
萩市商工観光部 観光課	藤原 章雄	中村 浩二	上利 寿博	吉村 亜美	0838-25-3139

件名	<p>～萩の花々で描く世界～ はなゆう 第29回 押花絵展「花遊」開催</p>
----	---

平成9年から始まり、今回で29回目を迎える押花絵展「花遊」。

萩の花々を押し花にして作る押花絵を伊藤博文別邸で展示します。

一見すると普通の絵画ですが、よく見ると押花によって描かれています。美しい花々によって描かれる美しい世界をお楽しみください。



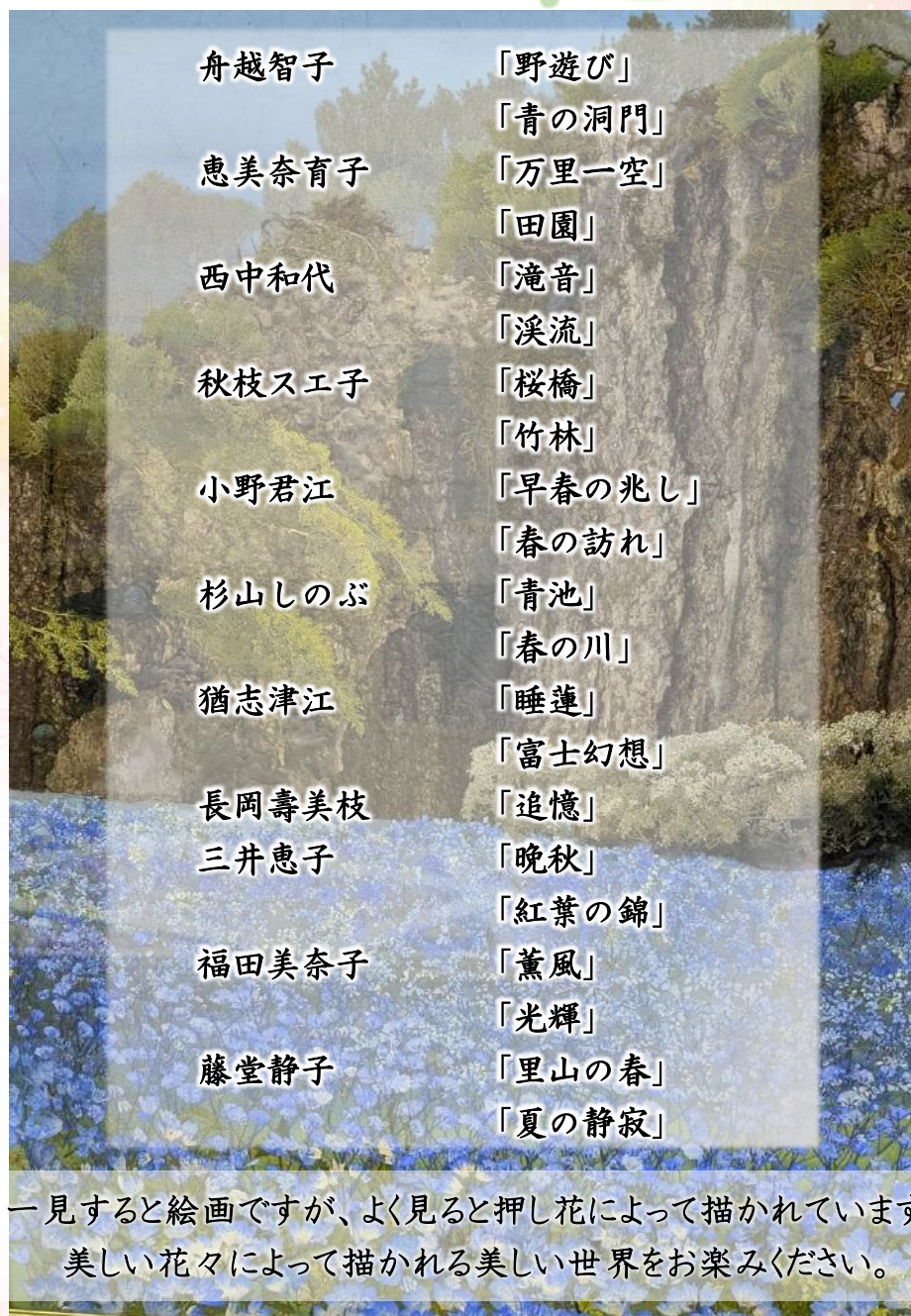
（昨年度の展示作品）

- 開催期間** 令和7年12月23日（火）～令和8年1月20日（火）
午前9時～午後5時（無休）
※先着100名に、押し花のしおりをプレゼント
- 開催場所** 伊藤博文別邸（萩市椿東1511-1）
施設入館料 小学生以上100円
- 駐車場** 伊藤博文別邸駐車場 無料（普通車7台）
松陰神社駐車場より徒歩7分
- 展示作品数** 21点（作者 11名）
- 企画・協力** 花遊（代表 ふなこし 舟越 ともこ 智子）
花遊とは…フラワーデザインと押し花を楽しむグループ



〔参考〕 昨年の展示期間：令和6年12月17日（火）～令和7年1月16日（木）〕
昨年の来場者数：893人

押花絵展 花遊



作品：舟越智子「青の洞門」

一見すると絵画ですが、よく見ると押し花によって描かれています。
美しい花々によって描かれる美しい世界をお楽しみください。

令和7年

令和8年

12月23日(火)～1月20日(火)

会場 伊藤博文別邸（萩市椿東 1511-1）

開館時間 9:00～17:00（無休）

施設入館料 100 円



【主催】萩市観光課 0838-25-3139

【企画・協力】はなゆう花遊 代表 舟越 智子

令和7年12月17日

所属部課	部長	課長	課長補佐	担当	連絡先
萩市商工観光部 観光課	藤原 章雄	中村 浩二	上利 寿博	梶本 学	0838-25-3139

件名	萩青年会議所 フラワーツーリズム開発事業 #HAGI ～萩の花をバズらせよう～ #HAGI モニュメント 寄附受納式について
----	--

萩青年会議所(理事長:田中 宏之)が、令和7年度実施された「フラワーツーリズム開発事業 #HAGI～萩の花をバズらせよう～」の一環として活用してきた、#HAGIモニュメントを萩市へ寄附することとなり、以下のとおり、寄附受納式を行います。

また、フィンランド発祥のアウトドアスポーツ「モルック」の道具一式の寄附受納も行われます。



◎寄附受納式 概要

- 日 時：令和7年12月18日(木) 午後4時～(議会終了後)
- 場 所：萩市役所本庁ロビー
- 出席者：萩市長、(一社)萩青年会議所理事長、他関係者
- 内 容：①開式
②寄附者代表 挨拶
③受贈者代表 挨拶(市長)
④記念撮影
⑤閉式

【フラワーツーリズム開発事業 #HAGI ～萩の花をバズらせよう～ 事業概要】

■事業期間：令和7年2月～11月

■目的：(1)萩市には多くの花の名所(地域資源)があり、様々な手法を試験的に実施することで、その資源(萩の花)の認知度を高める。
(2)アンケートを実施し、データをまとめ、検証することで、萩市のフラワーツーリズムの開発に貢献する。

■成果：

- ・花の開花時期に合わせた、モニュメント展示を11か所で実施。
- ・Instagramを中心とした「#萩バズ」「#萩花」のハッシュタグ付きの投稿数は615件。
- ・アンケートでは、総じて、花は観光資源として有効であるとの回答結果を得た。

■実施主体：一般社団法人萩青年会議所 地域資源開発委員会(委員長:阿武 択磨)

○今後について(萩市観光課コメント)

- ・花を通じて、萩市の魅力発信に大きく貢献していただき、感謝している。
- ・今後も、椿群生林、かんきつ公園や、むつみフラワーロードなどで「#HAGI」モニュメントを活用するなど、引き続き、花を活かした観光振興に取り組んでいく。

記者発表（配付）資料

令和7年12月17日

所属部課	部 長	課 長	課長補佐	担当	連絡先
萩市商工観光部 企業誘致推進課	藤原 章雄	大久保成彦	二宮 大輔	二宮 大輔	0838-25-3811

件名	A I を活用したコミュニケーション分析サービスとデジタル人材育成の拠点が萩へ！ コグニティ株式会社のサテライトオフィス進出に関する 協定調印式について
----	---

市では、「萩市基本ビジョン」に基づき、地域産業の振興や起業・創業、企業誘致の一層の推進に取り組んでいます。

このたび、A I を活用したコミュニケーション分析サービスなどを展開する「コグニティ株式会社」（本社：東京都品川区）が、萩市へ進出することが決定し、山口県立会いのもと、同社と萩市との間で進出協定の調印式を行いますのでお知らせします。

コグニティ社は、シングルマザー支援やデジタル人材育成に実績を有しており、今回の進出により、萩市を「全国展開の事務局（本拠地）」として位置付ける計画で、地域の女性活躍推進や企業との連携強化など、地域にもたらす効果が大きく期待されます。

記

■進出に係る調印式の概要

（１）日 時：令和7年12月24日（水） 午後2時～3時

※調印式終了後、記者会見を行います。

（２）場 所：萩・明倫学舎本館2階 特別応接室

（３）出席者：コグニティ株式会社 代表取締役社長 河野 理愛（かわの りえ）
管理部門長 河野 信明（かわの のぶあき）
萩市長 田中 文夫（たなか ふみお）
山口県産業労働部 企業立地統括監 藤村 和也（ふじむら かずや）

■協定締結企業の概要

（１）企業名：コグニティ株式会社

公式サイト <https://cognitee.com/>

（２）代表者：代表取締役社長 河野 理愛

（３）所在地：東京都品川区西大井1-1-2 Jタワーイースト208

（４）設 立：平成25年3月28日

（５）資本金：6億円（準備金含む）

（６）従業員数：71名（リモートワーカー含む）（令和7年12月1日現在）



- (7) 事業内容：定性情報の「定量化」技術・分析サービス（A I を用いたセールストークやプレゼンテーションの内容を分析・採点するサービス）

■萩市への進出計画の概要

- (1) 事務所名：コグニティ株式会社 萩サテライトオフィス
- (2) 所在地：萩市土原 582 - 2（旧ヤクルト萩センター 2 階）
- (3) 事業内容：定性情報の「定量化」技術・分析サービスの営業活動、シングルマザー向けデジタルスキル研修・就労支援（休眠預金事業）、バックオフィス業務（人事等の管理業務）
- (4) 操業開始：令和 8 年 5 月（予定）
- (5) 雇用計画：正社員：5 名（うち 1 名は管理部門長の河野信明氏で、すでに雇用済み）
業務委託：年 5 ～ 10 名を継続的に採用（すでに 3 名と契約済み）

■進出の背景およびこれまでの経緯

萩市では、令和 5 年度から（株）パソナ J O B H U B と連携したテレワーク実証事業を通じ、コグニティ社と協力しながら、テレワーク普及セミナー、ワーケーションツアー、市内人材の就業支援などの取組を進めてきました。

その後、「萩テレワーク推進パートナー企業」として認定され、市との連携を深める中で、今年度、一般社団法人グラミン日本の「休眠預金活用事業」に採択されたことを契機に、萩市を事業の本拠地とする進出が正式に決定しました。

■一般社団法人グラミン日本の概要

一般社団法人グラミン日本は平成 30 年に設立されたグラミン銀行の日本版です。シングルマザーを中心に困窮する女性の経済的自立支援を目的に、マイクロファイナンスと呼ばれる無担保・少額融資や起業・就労支援などを行っています。令和 3 年より、グラミン日本は、10 年以上取引のない預金を活用して子ども・若者支援、生活困窮者支援、地域活性化支援などを行う休眠預金活用制度の資金分配団体に採択され、全国の女性支援団体の「デジタルスキル研修&起業・就労支援」事業に対して包括的支援を行っています。

■その他

コグニティ株式会社の進出は、萩市にとって 9 社目の I T 系進出企業となります。同社では、正社員 5 名に加え、毎年 5 ～ 10 名の業務委託者を継続的に採用する計画を掲げており、地域における持続的な雇用機会の創出が期待されます。

河野信明氏は萩市大井地区の出身で、U ターン人材として萩市を拠点に事業展開を牽引する存在となります。こうした地元出身者の活躍は、市内におけるロールモデルとなるとともに、地域に根差した企業活動を進めるうえで大きな力となります。

今回の進出により、市内外女性の就業機会の創出、デジタルスキルを核とした地域人材育成、県内企業との新規連携の加速など、地域活性化への波及効果が期待されます。

記者発表（配付）資料

令和7年12月17日

所属部課	部 長	課 長	課長補佐	担当	連絡先
萩市商工観光部 企業誘致推進課	藤原 章雄	大久保成彦	二宮 大輔	二宮 大輔	0838-25-3811

件 名	地域産業のさらなる振興と持続的な雇用創出を目指して！ トーフレオメガフレックス株式会社の工場増設に関する 協定の締結について
-----	---

市では、「萩市基本ビジョン」に基づき、地域産業の振興や起業・創業、企業誘致の一層の推進に取り組んでいます。

このたび、トーフレオメガフレックス株式会社（本社：山口県萩市）が、金属製フレキシブルチューブの増産を目的とした第3期工事を行うこととなり、萩市との間で協定を締結いたしましたのでお知らせします。

同社は、平成26年6月に萩市川上で操業を開始して以来、順調に事業を拡大しており、令和4年7月にはウルトラファインバブル製品の研究開発・製造を行う新事業研究開発製造棟の建設を含む第2期工事に関する協定を締結しています。

本協定は、当該企業の工場増設に際し、円滑な事業活動が図られるよう行政が協力するとともに、地域経済の発展のために企業の積極的な協力が得られるよう締結するものです。

記

■工場増設計画の概要

- （1）事業所名：フレキシブルチューブ製造棟
- （2）所在地：山口県萩市川上白上885番1他
- （3）敷地面積：約36,557.60㎡
- （4）延床面積：約478.73㎡
- （5）事業内容：金属製フレキシブルチューブの増産
- （6）着工日：令和7年7月
- （7）操業開始：令和8年12月（予定）
- （8）設備投資額：約8億円（建屋1億円、装置7億円）
- （9）新規雇用者：5人（予定）
- （10）協定締結日：令和7年12月17日（水）

■協定締結企業の概要

＜設置者＞

- (1) 会 社 名：トーフレ株式会社
- (2) 代 表 者：代表取締役社長 中野 勝利（なかの かつとし）
- (3) 所 在 地：大阪府大阪市中央区本町1丁目6番16号
- (4) 設 立：昭和37年1月
- (5) 従業員数：219名（令和7年12月1日現在）
- (6) 事業内容：ステンレス製フレキシブルチューブ等の設計・開発・製造・販売

＜運営者＞

- (1) 会 社 名：トーフレオメガフレックス株式会社
- (2) 代 表 者：代表取締役社長 中野 勝利（なかの かつとし）
- (3) 所 在 地：山口県萩市川上字白上 886 番 1
- (4) 設 立：平成7年4月
- (5) 従業員数：111名（令和7年12月1日現在）
- (6) 事業内容：ステンレス製フレキシブルチューブ等の設計・開発・製造・販売

■その他

同社の意向により、本協定に関する協定調印式は実施いたしません。

トーフレオメガフレックス株式会社は、トーフレ株式会社 100%出資の子会社です。今回の増設は、新規事業拡大及び生産能力増強のため、トーフレ株式会社が設備投資を行い、トーフレオメガフレックス株式会社に貸与するものです。

■位置図

製造棟建設地（山口県萩市川上字白上 885 番 1）【トーフレオメガフレックス社地内】



フレキシブルチューブ製造棟建設地

国土地理院地図

所属部課	局長	課長	課長補佐	担当	連絡先
萩市教育委員会事務局 文化・生涯学習課	岸田 尚之	岡村 卓司	寺口 栄子	中村 后咲	25-3511

件 名	第50回萩市役所ロビーコンサートの開催について ～お昼休みの市役所ロビーで憩いのひとときを～
-----	---

市民の皆さんに親しみやすい明るい市役所の雰囲気づくりと、市民の文化意識の高揚を図ることを目的に、お昼休みの時間帯を利用した市役所ロビーコンサートを令和3年11月から原則、毎月第1水曜日に開催しています。

今回は、内山望美さん、薬師智子さんによるクリスマスコンサートの演奏をお届けしますので、お知らせします。

記

- 開催日時 令和7年12月24日（水） 午後12時15分～12時45分
- 会場 萩市役所ロビー（入場無料）
- 出演者 内山望美（声楽）、薬師智子（ピアノ）、サンタクロース with トナカイ



【うちやまのぞみ内山望美プロフィール】



山口市在住。エリザベト音楽大学声楽科卒業。同大学院修了。第149回日本演奏連盟新人演奏会にて広島交響楽団と共演。第35回飯塚新人音楽コンクール第1位受賞、文部科学大臣賞、朝日新聞社賞を受賞。現在は、演奏活動を行う傍ら、県内小中学校を巡り、歌を通して日本語の美しさや表現の大切さを届ける活動にも取り組む。また、今年の4月に自身初のリサイタルを開催したほか、来年の1月に広島シティオペラ「アンドレア・シェニエ」に出演予定。

【やくしともこ薬師智子プロフィール】



山口市在住。大阪教育大学教育学部教養学科芸術専攻音楽コース卒業。大学在学中にグリフィス大学クイーンズランド音楽院留学。神戸オペラ協会でコレペティトゥアの修行を積み、合唱、弦楽器、また宝塚歌劇団生・OBのサロンコンサートでも伴奏者を務める。現在、山口室内オペラ工房のほか、コンクールや演奏会の伴奏者を務めている。

- 曲 目
 - ・クリスマスソング
 - ・Ave Maria ほか

- 次回日程（予定）
 - 1月7日（水）
 - 出演者：五味俊哉（鎌倉交響楽団コンサートマスター）
 - 内容：ヴァイオリン演奏 ※出演者等が変更となる場合があります。

所属部課	部 長	課 長	室 長	担 当	連 絡 先
萩市商工観光部観光課 花と緑の推進室	藤原 章雄	中村浩二	永安広司	後藤優気	0838-25-3644

件 名	多くの皆さんに愛されているサクラ 2026年 萩の桜カレンダーを作成しました
-----	---

萩に咲いている花々を、もっと身近に感じていただけるように、昨年から花にまつわるカレンダーを作成しています。

2026年用は、多くの方々に愛されている「サクラ」を集めて、「2026年 萩の桜カレンダー」を作成しましたので、お知らせします。

カレンダーには、市内各地の桜の見どころや、例年の桜の開花予定、各地域のイベント等を記載しています。

（イベントの開催日等は、令和7年12月10日現在の状況です。変更される場合もありますので、ご注意下さい。）

■掲載場所

萩市観光課ホームページ（販売はしておりません。）

URL : <https://www.city.hagi.lg.jp//soshiki/51/h68393.html>（令和7年12月18日公開）



■各月のサクラ

- 1月 萩：指月公園（ミドリヨシノ）
- 2月 むつみ：辻山（シダレザクラ）
- 3月 萩：南明寺（イトザクラ）
- 4月 萩：親水公園（カワヅザクラ）
- 5月 須佐：松崎八幡宮（ソメイヨシノほか）
- 6月 福栄：紫福楠桜園（ソメイヨシノ）
- 7月 萩：大井八幡宮（ソメイヨシノ）
- 8月 田万川：江崎駅（ソメイヨシノ）
- 9月 旭：佐々並支所前（ヨウキヒ）
- 10月 萩：大島八幡宮（ソメイヨシノ）
- 11月 萩：見島ダム公園（カワヅザクラほか）
- 12月 川上：阿武川沿いライトアップ（ソメイヨシノ）

記者発表（配付）資料

令和7年12月19日

所属部課	部長	課長	課長補佐	担当	連絡先
萩市総合政策部 企画政策課	肌野 次雄	谷野 芳之	村田 直之	三井 知之	0838-25-3102

件 名	第2期萩市総合戦略の令和6年度効果検証について
-----	-------------------------

「まち・ひと・しごと創生法」に基づき策定しております「第2期萩市総合戦略」に位置づける取組や事業の令和6年度実績等について、別添の資料に取りまとめましたので、お知らせします。

資料に記載の取組等について、ご不明な点、お気づきの点がございましたら、企画政策課又は各取組の所管課へご連絡いただきますようお願いいたします。

なお、資料につきましては、萩市ホームページにも掲載しておりますことを申し添えます。

送付資料：第2期萩市総合戦略令和6年度効果検証

第2期萩市総合戦略 令和6年度効果検証

萩市総合政策部企画政策課

1	だれもが生きいきと暮らせるまちづくり	1
	①持続可能な医療体制の構築	1
	②地域ぐるみの助け合い「地域包括ケアシステム」の深化・推進	2
	③青年期から高齢期に至るまでの健康の維持増進	3
	④障がい者の社会参加の促進	4
	⑤安心して質の高いサービスの確保	5
	⑥その他全般的事項	6
2	子育ての幸せが実感できるまちづくり	7
	①妊娠・出産・子育て環境の充実	7
	②子どもたちの笑顔があふれる居場所づくり	8
	③仕事と子育ての両立支援	8
	④出会い・結婚サポートの充実	9
3	未来を担うひとを育むまちづくり	10
	①「志」教育の推進	10
	②新しい時代に必要な資質・能力の育成	11
	③地域とともにある学校づくりの推進	11
	④萩の未来を支える教育機会の充実	12
	⑤その他全般的事項	12
4	産業活力があふれるまちづくり	13
	①地域のにぎわいを取り戻す地場産業の再生	13
	②起業・創業と企業誘致の推進	14
	③企業人材の育成と雇用拡大の支援	14
	④力強い農林水産業の推進	15
	⑤地域産業の担い手・後継者育成	16
	⑥地域経済の発展を加速化する高速道路ネットワークの形成	18
	⑦その他全般的事項	18

5	魅力ある歴史・文化・自然をいかしたまちづくり	19
	①全国に誇る萩のまちなみの継承	19
	②文化財の保存と活用による萩のにぎわいづくり	20
	③文化のおたから、自然のおたから、産業のおたからの再発見・継承	21
	④萩ジオパーク構想の推進	21
	⑤観光地経営の視点に立った観光地域づくりの推進	22
	⑥観光客誘致の積極展開	23
	⑦その他全般的事項	24
6	生活基盤の充実した住みよいまちづくり	25
	①暮らしに密着した交通網の形成	25
	②生活サービス機能の維持・向上	26
	③持続可能で快適な環境づくり	27
	④防災体制の強化	28
	⑤地球にやさしい環境づくり	29
7	だれからも愛されるまち、求められるまちづくり	30
	①市民との協働による元気なコミュニティづくり	30
	②萩の魅力をいかした移住・定住	31
	③市民一人ひとりが輝くまちづくり	32
	④地域の特色をいかしたまちづくり	33
	⑤魅力ある離島の発展	34
	⑥DXによる幸せなまちづくり	35
	⑦その他全般的事項	36

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比	(達成・未達要因、成果・課題等)				
1 だ れ も が 生 き い き と 暮 ら せ る ま ち づ く り	KGI：市民満足度の向上		向上	-	28.7%	30.8%	27.8%						
	KGI：市民満足度の向上（満足されていない方の割合）		10.0%	16.3%			18.6%	22.5%	12.5%				
	※第3期萩市総合戦略の策定に当たりR5年度実績により検証を行ったため、R5年度で終了												
	【KGI分析】令和5年度には目標値の10%に対して22.5%となった。この項目は、主には医療、介護、福祉、健康に関する施策の満足度を測るものである。指標は10%台半ばから20%台前半であるが、個別の項目では、「持続可能な医療体制の構築」の項目（R2:26.5%→R5:42.2%）や、「安心で質の高いサービスの確保」の項目（R2:22.7%→R5:29.4%）については高めに推移している。新型コロナウイルス感染症の感染拡大以降、医療・健康への関心が高まる中、高齢化の進行や、人口減少による医療従事者不足に伴う医療に対する不安のほか、広大な面積を有する萩市においては、中山間地域や離島における地域医療体制への不安が、満足していない指標として表れたのではないかと考えられることから、引き続き、持続可能な医療体制の構築に向けて取り組むとともに、健康寿命の延伸など健康に関する施策や医療従事者等の確保を進めていく。												
	①持続可能な医療体制の構築												
	KPI①：萩・阿武健康ダイヤル24利用件数（年間）		3,100件	1,555件	2,161件	3,071件	4,615件	3,939件	4,140件		1,040件	【KPI①】相談件数は目標値を大きく上回っている。様々な機会にダイヤル24利用の周知も行っており、今後も継続して、救急医療に関わる医療従事者の負担軽減を図っていく。 【KPI②】令和7年は新規救急救命士を1名養成する。目標数は達しているが、年齢や管理職への昇格により現場活動が困難になる隊員もいるため、継続的に救急救命士の養成に向けて取り組んで行く。	
	KPI②：高度救命処置を実施できる救急救命士の養成数		33人	28人	28人	30人	34人	34人	33人		0人		
	主 な 取 組	萩保健医療圏における中核病院の形成											
		・中核病院形成に向けた検討、協議 ⇒ 萩市民病院と都志見病院との統合による中核病院の形成を目指し、基本合意に向けた協議、調整を行った。											
		市民病院、市立診療所の運営管理・設備の維持・確保											
		・市民病院の運営管理 ⇒ 地域の急性期医療の中心を担う公立病院として二次救急医療をはじめ、地域住民に必要な医療サービスの提供を行った。 ・市立診療所の運営管理 ⇒ 患者数の減少や医療従事者の不足など診療所の運営は厳しくなっており、グループ化や集約化等、体制見直しを検討している。											
		救急医療体制の確保											
	・一次救急の維持 ⇒ 在宅当番医制及び休日急患診療センターの運営により、一次救急の維持を図った。 ・二次救急の維持 ⇒ 救急病院の輪番制により二次救急を維持した。												

項目		R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析	
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比	(達成・未達要因、成果・課題等)	
1 だ れ も が 生 き い き と 暮 ら せ る ま ち づ く り	②地域ぐるみの助け合い「地域包括ケアシステム」の深化・推進										
	KPI①：認知症サポーターの養成数（累計）		10,000人	8,311人	8,840人	8,962人	9,296人	9,571人	9,994人	-06人	【KPI①】「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」の目的や基本理念に沿って、認知症施策を推進した。介護予防に関する啓発活動や、認知症サポーター養成講座など認知症支援事業を実施した。認知症の人の支援や地域づくりの推進を担う住民ボランティア等も着実に増えている。 【KPI②】計画策定時に設定した目標は、通所型・訪問型ともに達成した。令和7年度には、2地域で地域ささえあい協議体が立ち上がり、住民主体のサービスが実施される予定である。今後も、各生活圏域において必要な生活支援サービスが提供できるよう、地域ささえあい推進員や協議体を通じて、継続的な支援を行う。
	KPI②-1：住民主体によるサービス提供団体数 通所型		17箇所	13箇所	15箇所	16箇所	16箇所	16箇所	16箇所	-1箇所	
	KPI②-2：住民主体によるサービス提供団体数 訪問型		11箇所	9箇所	10箇所	11箇所	11箇所	11箇所	13箇所	2箇所	
	主 な 取 組	介護予防と認知症支援の推進									
		・一般介護予防 ⇒ 地域で自立した生活を送ることができるように、フレイルに早く気づき、日常生活の中で予防に自ら取り組めるよう、介護予防についての普及啓発を行った。 ・認知症施策の推進 ⇒ 認知症の人の本人発信支援やその家族の支援、見守り体制など、認知症の人の意思が尊重され、よりよい環境で暮らすことができる地域づくりを推進した。									
		すべての人への権利擁護支援									
		・萩市権利擁護支援センターの運営 ⇒ 権利擁護支援の総合相談窓口として、萩市権利擁護支援センターを運営した。 ・権利擁護支援体制の充実 ⇒ 萩市権利擁護支援センターを中核機関とし、権利擁護支援の地域連携ネットワークを活用した支援を行った。									
		地域の支え合い活動の推進									
		・地域ささえあい推進員の配置 ⇒ 地域の生活支援サービス提供体制づくりを支援した。 ・地域ささえあい協議体の設置 ⇒ 地域の生活支援サービス提供に向けた情報共有及び連携強化の場を設置した。 ・住民主体の生活支援環境整備 ⇒ 住民主体の高齢者生活支援サービスを実施する団体を支援した。									
	高齢者等公共交通利用困難者への移動支援										
	・交通空白地域外出支援サービス ⇒ 公共交通機関から遠距離にある地域及び離島における高齢者等の外出支援サービスを実施した。 ・大島地区高齢者等外出支援サービス ⇒ 市の公用車を貸与して町内会の運行により渡船場までの送迎を行った。										

項目		R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析 (達成・未達要因、成果・課題等)		
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比			
1 だ れ も が 生 き い き と 暮 ら せ る ま ち づ く り	③青年期から高齢期に至るまでの健康の維持増進											
	KPI①-1：健康寿命 男	79.80歳	78.87歳	79.93歳	79.37歳	79.6歳	79.25歳	79.08歳	-0.72歳	【KPI①、②】健康寿命の延伸に向けて、生活習慣病予防と重症化予防のため節塩運動に取り組んだ。地域における健康教室や健康フェア等では感染症対策を行い、住民へのアプローチを実施した。今後も働き盛り世代への健康づくりの動機付けとして、やまぐち健幸アプリの登録の推進や健康栄養相談の場を利用し、循環器病対策への働きかけを行う。 【KPI③】がん検診の受診率向上を目指しポスター掲示や周知活動を行った。胃がん検診については受診率が低下したが、大腸がん健診については上昇した。今後も働き盛り世代へのがん検診の周知の徹底を図るとともに費用への支援を継続し、受診率の向上に努める。 【KPI④】特定健康診査受診率は、目標値には到達していないが、健診未受診者への受診勧奨事業、みなし健診や多職種連携により、受診率は上昇している。今後も引き続き受診勧奨事業に加え、医療機関と連携し、受診率の向上を図っていく。		
	KPI①-2：健康寿命 女	84.36歳	83.74歳	83.11歳	82.64歳	85.34歳	83.54歳	84.28歳	-0.08歳			
	KPI②：糖尿病患者の割合（50歳代）	6.5%	8.0%	8.5%	9.2%	8.4%	8.0%	8.5%	2.0%			
	KPI③-1：胃がん検診受診率 男	10.0%	2.4%	0.9%	1.4%	2.1%	2.0%	1.9%	-8.1%			
	KPI③-2：胃がん検診受診率 女	10.0%	3.8%	1.1%	2.5%	3.6%	3.3%	3.1%	-6.9%			
	KPI③-3：大腸がん検診受診率 男	10.0%	3.2%	5.6%	3.3%	3.3%	3.5%	3.6%	-6.4%			
	KPI③-4：大腸がん検診受診率 女	10.0%	6.8%	7.4%	7.1%	6.9%	6.9%	7.4%	-2.6%			
	KPI④：特定健康診査受診率	60.0%	26.5%	24.9%	29.5%	32.2%	35.8%	39.8%	-20.2%			
	主 な 取 組	各種健康診査や予防接種の推進										
		・成人健康診査 ⇒ 特定健康診査（生活保護受給者）、肝炎ウイルス検診、歯周疾患検診、骨粗しょう症検診、胃がん検診、子宮がん検診等、各種検診を行った。 ・がん検診の総合支援 ⇒ 特定の年齢に達した方のがん検診の無料クーポン券を交付し受診促進を図った。 ・高齢者の予防接種 ⇒ 高齢者肺炎球菌ワクチン、高齢者インフルエンザワクチンの接種を実施した。										
主 な 取 組	健康的な生活習慣の推進											
	・生活習慣病予防と重症化防止の取組 ⇒ 生活習慣病予防のための食事や運動についての媒体や健康体操を作成し、周知した。節塩プロジェクトを実施し、健康相談や健康教育等、節塩運動を広めた。 ・やまぐち健康マイレージ事業の活用 ⇒ 萩市のマイレージ事業「萩にゃん。健康チャレンジ」、やまぐち健幸アプリ登録の推進を行った。											

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析 (達成・未達要因、成果・課題等)		
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比			
1 だ れ も が 生 き い き と 暮 ら せ る ま ち づ く り	④障がい者の社会参加の促進										
	KPI①：手話通訳者数		10人	6人	6人	6人	6人	7人	9人	-1人	【KPI①、②】「手話言語条例」に基づき、誰もが手話に触れ、新たなコミュニケーション方法参加型の手話研修会を実施した。また、手話通訳者、要約筆記者を確保するため今後も養成講座を実施する。手話通訳者数、要約筆記者数ともに目標値には達しなかった主な要因は、研修会や講座の参加者が伸び悩んだことが挙げられる。今後は市報に加え、SNSなどを活用して広く周知して行くことが必要であると考える。
	KPI②：要約筆記者数		10人	8人	8人	8人	8人	9人	9人	-1人	
	主 な 取 組	手話言語条例の推進									
		・手話研修会の開催 ⇒ 市民、市職員を対象に開催した。 ・手話通訳者や要約筆記の配置 ⇒ 市主催の講演会等において配置した。 ・フォローアップ研修の実施 ⇒ 手話通訳者資格の取得に向け、手話奉仕員を対象に実施した。 ・奉仕員の養成講座の開催 ⇒ 要約筆記者確保に向け、市内のみの活動に限定した養成講座を実施した。 ・〈新規〉手話言語条例制定10周年イベントの開催 ⇒ 手話の普及や、手話言語から生まれる文化やその魅力を更に周知するため、10周年の節目として開催した。									
		相談支援体制の強化									
		・相談事業所の機能強化を推進 ⇒ 基幹相談支援センターを設置し、機能強化を推進した。 ・相談支援事業の体制支援 ⇒ 相談支援事業所（1事業所）が廃業することによる利用者への影響を軽減するため、新たな相談支援事業所が開設された。これに伴う事業所間の連携を支援した。									
障がい者福祉の経済的支援や環境整備											
・経済的支援 ⇒ 福祉サービスの助成を行った。医療費の助成を行った。日常生活用具費の助成を行った。 ・さんみ苑、つばき園の施設修繕 ・障がいのある方の利用しやすい環境の整備 ⇒ 点字図書、拡大図書など視覚障がいのある方の読書環境の充実を図った。											

項目		R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析 (達成・未達要因、成果・課題等)		
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比			
1 だ れ も が 生 き い き と 暮 ら せ る ま ち づ く り	⑤安心して質の高いサービスの確保											
	KPI①：山口県立萩看護学校（第1看護学科）卒業生の市内医療機関就職者数（年間）		5人	1人	0人	1人	1人	2人	0人	-5人	【KPI①】令和2年度から5年度の採用実績はあるものの、令和6年度は0人となり、目標値には到達していない。少子化・コロナ禍等の影響もあり、年々入学人数が減少していることや県内唯一の県立看護師要養成施設でもあり、出身地域での就職が多いことも一因と考えられるが、萩の地域に関心を持ってもらうことも必要である。令和4年度からは、萩看護学校のコミュニティ論の学習の一環として、講義やフィールドワークの受入など市として協力している。 【KPI②】目標値には到達しているところだが、医療従事者不足等の影響により、市内医療機関の受入体制が年々困難な状況となりつつある。今後も取組を継続できるよう、関係機関との連携を深めていく。 【KPI③】介護人材の不足数は、令和4年度の67人をピークに年々改善され、令和6年度は59人となっている。介護福祉士等の受講・受験に係る費用の一部を助成する「介護人材確保・育成事業」を引き続き継続するとともに、今後も事業者の意見等を踏まえながら、支援制度の充実に向けた検討を進めていく。	
	KPI②：医師の初期研修受入者数		10人	17人	18人	8人	12人	11人	10人	人		
	KPI③：介護人材の不足数		41人	76人	54人	50人	67人	60人	59人	18人		
	主 な 取 組	医療従事者の確保対策の推進										
		・医療従事者の確保 ⇒ ・医療従事者を志す学生に地域医療の魅力を知ってもらうため、地域医療セミナーを開催した。 ・市立診療所、市民病院の医師等が萩看護学校、萩准看護学院で講義、講演を実施し、市内就職の促進に努めた。 ・看護職員の不足を解消するため、市外から新たに二次救急輪番病院に勤務する看護職員を対象とした看護師住宅を整備した。 （令和5年度整備、令和6年度運用開始）										
		介護人材の確保対策の推進										
		・資格取得に係る費用の助成 ⇒ 介護人材の確保、介護人材の育成及び離職を防ぐため、各種研修、介護福祉士国家試験などの費用を助成した。										

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析 (達成・未達要因、成果・課題等)		
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比			
1 だ れ も が 生 き い き と 暮 ら せ る ま ち づ く り	⑥その他全般的事項										
	KPI①-1：福祉ボランティア数 団体	16団体	10団体	10団体	14団体	14団体	24団体	25団体	9団体	【KPI①】 令和 6 年度に新たに点 訳グループの団体が登録をさ れ、 1 団体増加した。目標値は 達成しているが引き続き登録団 体の増加に努める。 【KPI②】 上記団体に属さないボ ランティアも活動されており、 令和 6 年度は入会された方が退 会された方を上回り 6 人増加し た。地域福祉組織は増減はなく 4 1 組織を維持した。いずれも 目標値には届かなかったため、 引き続き増加に努める。 【KPI③】 6 回のゲートキーパー 養成講座等を実施し、令和 6 年 度は見守り隊員が140人増加し た。目標値を超過したものの、 引き続き、学校や地区組織、事 業所等広く住民に働きかけ、見 守り隊員の増加を図る。	
	KPI①-2：福祉ボランティア数 個人	70人	5人	5人	41人	42人	51人	57人	-13人		
	KPI②：住民による地域福祉組織（地区社協・町内会福祉部等）の設置数	51組織	38組織	39組織	40組織	41組織	41組織	41組織	-10組織		
	KPI③：こころの健康づくり見守り隊員数（累計）	4,000人	2,559人	3,462人	3,578人	3,811人	4,171人	4,311人	311人		
	主 な 取 組	地域福祉の推進									
		・萩市社会福祉協議会の運営 ⇒ 地域福祉活動推進事業を安定的に運営できるよう、人件費等の補助を行った。									
		地域保健の推進									
	・ハイリスク児童生徒を見守る支援者養成講座の開催 ⇒ 学校教育課と協力し、教職員を対象に開催した。										
	・ゲートキーパー養成講座の開催 ⇒ 閉じこもり、自殺等の早期発見、早期対応策として心の健康づくりの支援を行った。										

項目		R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析 (達成・未達要因、成果・課題等)	
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比		
2 子 育 て の 幸 せ が 実 感 で き る ま ち づ く り	KGI：希望する子どもの数（子どもを持つ予定人数）の増加		2.27人	2.21人	2.11人	2.26人	2.24人	2.22人	<div></div> -5.00%	※第3期萩市総合戦略の策定に当たりR5年度実績により検証を行ったため、R5年度で終了	
	【KGI分析】令和5年度には目標値の2.27人に対して2.22人となり、現状値から0.01人増加した。第2期総合戦略の計画期間中には、不妊治療に係る交通費の助成、妊娠期から出産・子育てまでの伴走型相談支援と経済的支援、子育て世帯応援誕生祝金、多子世帯応援誕生祝金、学校給食費の助成などの支援事業を開始したほか、GO-ENセンターの開設による出会い・結婚サポートの充実を図った。今後、希望する子どもの数の増加につながるよう、引き続き、必要な施策に取り組んでいく。										
	①妊娠・出産・子育て環境の充実										
	KPI①：育児に必要な備品購入等支援件数（累計）		1,500件	-	307件	524件	R3年度終了	<div></div>	<div></div>	<div></div>	【KPI①】令和3年度で終了 【KPI②～③】萩市こども家庭センターHAGU（母子保健機能分野）の相談件数は、来所相談数が伸び、前年比で約1.5倍となった。特定妊婦の相談実施については、妊婦の状況に応じて電話相談・対面相談等での対応に取り組んだ。今後も定期的な状況把握に努め、相談者に寄り添った対応、助産師が在駐している強みをいかした対応を継続する。対面相談や訪問は、必要性や本人の意向に沿って実施する。
	KPI②：子育て世代包括支援センター相談件数（年間）		1,000件	567件	993件	854件	679件	728件	1,068件	68件	
	KPI③-1：特定妊婦相談実施率 電話相談		95.0%	64.3%	92.3%	76.2%	100.0%	100.0%	88.2%	-6.8%	
	KPI③-2：特定妊婦相談実施率 対面相談		60.0%	42.9%	34.6%	19.1%	62.5%	52.6%	47.1%	-12.9%	
	KPI③-3：特定妊婦相談実施率 家庭訪問		50.0%	32.1%	26.9%	9.5%	0.0%	15.8%	11.8%	-38.2%	
	主 な 取 組	子育て世帯への経済的支援の推進									
		・医療費の助成 ⇒ 高校生等までの医療費自己負担額（保険適用分）を助成した。 ・誕生祝金の給付 ⇒ 令和3年4月1日以降に出生した子を持つ子育て世帯に対して市内共通商品券を給付した。 ・児童手当、多子世帯子育て支援金の支給 ⇒ 児童手当を支給した。第3子以降の保育料を助成した。 ・給食費の助成 ⇒ 萩市内の中学校、小学校に通う生徒の学校給食費を助成した。									
相談体制や各種講座の充実											
・こども家庭センターの運営 ⇒ 総合相談窓口として開設した。相談対応による支援をはじめ、出前講座による啓発活動を実施した。 ・出産・子育て応援事業 ⇒ 安心して出産・子育てができるよう、妊娠期から出産・子育てまで、伴走型相談支援と経済的支援を一体的に実施した。 ・家庭児童相談室の運営 ⇒ 家庭児童相談員を配置し、虐待、いじめ、不登校など家庭の環境により生じた健全育成上の問題に対し、助言・指導を実施した。											
健康診査や予防接種の推進											
	・母子保健に係る取組 ⇒ 相談対応による支援や各種健康診査の実施、妊婦健康診査費用の助成、産婦健康診査費用の助成を実施した。 ・予防歯科 ⇒ 妊婦歯科健康診査、歯科医師や歯科衛生士による歯科健診や保健指導（出前講座）を実施した。 ・予防接種の実施 ⇒ 風しんの追加的対策事業（抗体検査、予防接種）、小児定期予防接種を実施した。各種予防接種費用を助成した。										
	不妊症・不育症に対する支援										
	・不妊症治療費の助成 ⇒ 一般不妊治療、生殖補助医療、＜新規＞生殖補助医療通院交通費助成 ・不育症治療費の助成 ・県不妊治療専門相談会への協力										

項目		R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析 (達成・未達要因、成果・課題等)	
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比		
2 子育 ての 幸 せ が 実 感 で き る ま ち づ く り	②子どもたちの笑顔があふれる居場所づくり										
	KPI①：児童館の来館者数（年間）		52,000人	50,872人	43,346人	40,854人	43,185人	46,459人	47,420人	-4,580人	【KPI①】子育て支援の拠点として、また、こどもや保護者の交流の場として活用されており、来館者数も、コロナの影響による減少があったものの、令和3年度以降、増加に転じている。 【KPI②】今後も100%の受入が維持できるよう、必要な対策を講じながら取り組む。
	KPI②：児童クラブ等利用希望受入率		100%の維持	100%	100%	100%	100%	100%	100%	0%	
	主 な 取 組	保育所等の運営管理									
		・公立保育園の運営、民間保育所等への支援 ⇒ 公立保育園を運営するとともに、市内児童が入所している民間保育所等に対して運営経費を支援した。 ・保育士の確保対策 ⇒ 勤務されていない有資格の保育士の就職を支援した。									
子育て拠点施設や遊び場の運営管理											
・児童館の運営 ⇒ 子どもの諸活動、子育て支援事業、広報活動等を実施した。 ・プレーパークの運営 ⇒ 自己責任のもと、自由な遊びを実現する場を提供した。 ・親子の遊び場「あそぼー舍」の運営 ⇒ 創造力豊かな子どもの育成につながるよう、体全体を使ってアクティブに遊べる親子の遊び場を運営した。											
放課後等の生活・遊び場の充実											
・児童の健全育成の推進 ⇒ 小学生を対象に児童クラブを開設した。放課後子ども教室を開催した。 ・子どもの居場所づくり支援 ⇒ 子ども食堂、学習支援、相談など子どもの居場所づくりに取り組む団体を支援した。											

項目		R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析 (達成・未達要因、成果・課題等)	
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比		
2 子育 ての 幸 せ が 実 感 で き る ま ち づ く り	③仕事と子育ての両立支援										
	KPI①：病児保育利用者数（年間）		450人	299人	255人	552人	507人	1022人	692人	242人	【KPI①】感染症が1年を通じて流行していた令和5年度に比べ、利用者数は減少したが、令和2年度以降、2番目に高い利用者数となった。仕事と子育ての両立を支援する仕組みとして活用されている。 【KPI②】休日保育利用者数は減少傾向であるが、保護者の就労形態に応じて利用できる保育サービスとして、周知を図っていく。
	KPI②：休日保育利用者数（年間）		600人	592人	409人	534人	420人	413人	321人	-279人	
	主 な 取 組	仕事と子育ての両立しやすい環境づくり									
		・24時間保育の実施 ⇒ 夜間及び深夜勤務を伴う保護者の児童を翌朝まで預かり、仕事と子育ての両立を支援した。 ・休日保育の実施 ⇒ 日曜祝日に保護者が仕事で家庭での保育ができない児童を預かり、保育を実施した。 ・延長保育の実施 ⇒ 1時間から2時間、開所時間を超える延長保育を実施した。 ・病児保育の実施 ⇒ 病気やけがのため集団保育が困難な子どもを、一定期間専用施設で預かり、保育を実施した。 ・ファミリー・サポート・センターの運営 ⇒ 子育て相互援助組織による地域の子育て支援を推進した。									
ひとり親家庭の支援											
・児童扶養手当の支給 ⇒ ひとり親家庭の生活の安定と自立促進を目的に児童扶養手当を支給した。 ・母子家庭等自立支援給付金の給付 ⇒ ひとり親家庭で資格取得のために養成機関で修業した場合、生活費の一部や訓練講座受講経費の一部を補助した。 ・ひとり親家庭医療費の助成 ⇒ ひとり親家庭の父または母、その児童の医療費自己負担額（保険適用分）を助成した。											

項目		R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析 (達成・未達要因、成果・課題等)	
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比		
2 子 育 て の 幸 せ が 実 感 で き る ま ち づ く り	④出会い・結婚サポートの充実										
	KPI①：結婚支援制度を活用した成婚数（累計）		10件	-	0件	1件	2件	4件	7件	-3件	【KPI①】累計で7件の実績となった。令和4年7月から新たに萩市・長門市・美祢市が共同で結婚活動を支援する「GO－EN」プロジェクト推進事業を展開し、例年、実績は上がってきているものの、GO－ENセンターの会員数の増加も容易ではなく、成婚まで時間を要することも目標値への未達要因に寄与している。今後も、GO－ENプロジェクトを含め結婚支援制度の更なる周知に努め、引き続き定住人口の増加や若者の定着を目指していく。
	主 な 取 組	結婚を希望する男女の出会いの場の充実									
		<div>・結婚相談所の運営 ⇒ 結婚相談所を運営しマッチング、カップリングを実施した。（令和4年7月からGO－ENセンターへ移行）</div> <div>・GO－ENプロジェクトの推進 ⇒ 萩市・長門市・美祢市で共同でGO－ENセンターを運営し、婚活イベントやスキルアップセミナーを開催した。</div> <div>・出会いの場づくりの応援 ⇒ はぎ縁結び応援団へ企画を募集し、採択された企画へ補助金を交付した。</div>									

項目		R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析	
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比	(達成・未達要因、成果・課題等)	
3 未来を担うひとを育むまちづくり	KGI：将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 小学生		90.0%	87.1%	-	80.8%	79.1%	80.4%	86.1%	-3.9%	
	KGI：将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 中学生		85.0%	84.3%	-	73.6%	75.4%	72.0%	67.0%	-18.0%	
	【KGI分析】小学生においては将来の夢や目標を持っている児童の割合が増加しているが、中学生においては減少している。高校生や地域の大人等との関わりを更に充実させる教育活動の工夫が必要であると考えられる。また、地域での居場所づくりを推進することで児童生徒の心の安定も図っていく。										
	①「志」教育の推進										
	KPI①：ひとづくりセミナーの参加者数（年間）		1,000人	-	1,210人	760人	1,121人	1,298人	851人	-149人	【KPI①】令和6年度はセミナー講師の要望により、ひとづくりセミナーの対象者を萩市内の中高生のみとしたことから、一般の方の聴講について市報等による希望調査を行わなかった。このため、令和6年度の聴講者数は目標値に届いていないが、コロナの影響によってリモート開催となった令和3年度以外は概ね目標を達成している。 【KPI②】各中学校区で9年間を見通した学校・地域連携カリキュラムのブランディングに向けて、見直しと共有が図られた。今後は、これまでの取組をブラッシュアップするとともに、その取組の発信を推進していく。 【KPI③】地域のひと・もの・ことをいかした教育活動が活発かつ継続されていることから、児童生徒が地域のよさを実感し、地域を更によくしようとする機会が増えている。引き続き、地域の誇りを実感し、自分自身が地域の担い手となるという児童生徒の意識を高めていく。
	KPI②：地域の特色を生かしたカリキュラムを作成している学校の割合		100.0%	-	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	
	KPI③：地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある児童生徒の割合 小学校		70.0%	-			43.3%	89.1%	82.8%	12.8%	
	KPI③：地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある児童生徒の割合 中学校		70.0%	-			52.0%	70.9%	78.1%	8.1%	
	主な取組	未来を切り拓くひとづくり ・未来を切り拓くひとづくりセミナーの開催 ⇒ 市内中学校・高校を対象に開催し、萩商工高等学校など一部の学校が萩市民館で聴講した。 その他の学校については、オンライン開催により実施した。 ・成人式の開催 ⇒ 令和7年二十歳のつどいを開催した。 新成人（18歳）に向けた市長、教育長からのお祝いメッセージをYoutube上に掲載した。 ・わくわくキッズフェスタ開催の補助 ⇒ 子ども達に様々な体験活動を楽しんでもらうイベントの開催を補助した。									
		特色ある教育の推進 ・学校・地域連携カリキュラムの作成及び改訂 ⇒ 全ての中学校区において作成済の学校・地域連携カリキュラムを、児童生徒や保護者、地域住民の声を聞きながら見直しを図り、教育活動の充実につなげた。									

項目		R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析 (達成・未達要因、成果・課題等)		
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比			
3 未来を担うひとを育むまちづくり	②新しい時代に必要となる資質・能力の育成											
	KPI①：中学校卒業時に英検3級以上を取得している生徒の割合		50.0%	30.8%	28.8%	46.6%	46.9%	54.0%	54.7%	4.7%	【KPI①】 英語学習指導員の配置により、英語検定に向けた効果的な指導・支援が継続して各学校で行われた成果が、確実に生徒の英語力に結びついている。 【KPI②】 ICTの活用により、授業中に児童生徒一人一人の個に応じた学びが実現できる一方で、学びの定着に向けてもICTを有効に活用する必要がある。	
	KPI②-1：全国学力・学習状況調査における全国平均との比較 小学生国語		上回る	上回る	-	上回る(+3.3)	下回る(-0.6)	下回る(-0.7)	上回る(+0.3)			
	KPI②-2：全国学力・学習状況調査における全国平均との比較 小学生算数		上回る	下回る	-	下回る(-0.2)	下回る(-0.2)	下回る(-1.3)	下回る(-1.4)			
	KPI②-3：全国学力・学習状況調査における全国平均との比較 中学生国語		上回る	上回る	-	上回る(+1.4)	全国平均同数	上回る(+1.3)	下回る(-0.1)			
	KPI②-4：全国学力・学習状況調査における全国平均との比較 中学生数学		上回る	上回る	-	下回る(-0.2)	下回る(-0.4)	上回る(+1.4)	下回る(-0.5)			
	主な取組	グローバル人材の育成										
		・英語学習指導員の配置 ⇒ 1名の指導員による放課後及び夏休みの英検チャレンジ教室を実施した。 ・英語教育研修会の開催 ⇒ 小学校教員を対象にした研修会を集合型で2回開催した。 ・英語検定3級以上受検料の補助 ⇒ 中学3年間のうち一度は補助することを周知し、受検者数を増やすよう努めてきた。										
		学力向上の取組										
		・複式学習指導員の配置 ⇒ 複式学級を有する小学校を計画的に訪問し、年々増加する若手教員や複式指導未経験教員に対する指導を実施した。 ・授業改善支援員の配置 ⇒ ICT支援員が各小中学校を訪問し、ICT活用支援を行った。										

項目		R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析 (達成・未達要因、成果・課題等)		
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比			
3 未来を担うひとを育むまちづくり	③地域とともにある学校づくりの推進											
	KPI①-1：地域の行事に参加している児童生徒の割合 小学生		85.0%	81.4%	-	80.7%	57.8%	76.4%	-	【KPI①】 各学校が「学校・地域連携カリキュラム」のブランディングを図り、総合的な学習を核として、その地域ならではのひと・もの・ことをいかした教育活動が充実した。ブランディング化に向けて、地域の意見を反映する学校運営協議会の果たす役割は大きい。なお、令和6年度のKPIの値は、数値の基礎となる全国学力・学習状況調査の質問項目が変更されたことから、-表記としている。		
	KPI①-2：地域の行事に参加している児童生徒の割合 中学生		80.0%	72.7%	-	72.9%	60.0%	58.7%	-			
	主な取組	コミュニティ・スクールの推進										
		・コミュニティ・スクールとしての取組の推進 ⇒ 「学校・地域連携カリキュラム」をもとに、各学校において、地域の特色を生かした教育活動の展開につながった。 ・コミュニティ・スクール関連経費への補助 ⇒ 会議開催経費や、地域との交流活動経費を補助した。										
		地域協育ネットの推進										
		・地域協育ネットの推進 ⇒ 地域学校協働活動推進員を配置し、学校、地域、家庭が連携し、子どもたちの育ちを支援した。										

項目			R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析
					R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比	(達成・未達要因、成果・課題等)
3 未来を担うひとを育むまちづくり	④萩の未来を支える教育機会の充実										
	KPI①：児童・生徒用コンピュータ整備の割合		100.0%	18.3%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	【KPI①、②】100％を達成できた。引き続き、ICT機器を活用した効果的な授業や家庭学習を進めていく。 【KPI③】不登校児童生徒の割合は、令和6年度は、令和5年度と比較すると、中学校においては減少している。ステップアップルームや萩輝きスクール分室を効果的に運用し、可能な限り早い対応をしたことが減少に繋がった。しかし、小学校の不登校児童の割合が増加しているので、子ども相談・支援室を中心とした巡回訪問等で児童生徒の実態を確実に把握し、SCやSSWを活用した早期の支援やその他の課との連携を通した多様な支援を行い、引き続き、児童生徒の「校内の居場所づくり」に努める。
	KPI②：家庭でのオンライン学習に向けた通信環境の整備		100.0%	-			100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	
	KPI③-1：児童100人当たりの不登校児童生徒の割合（小学校）		減少させる	0.48	0.18	0.69	1.07	1.5	2.2		
	KPI③-2：生徒100人当たりの不登校児童生徒の割合（中学校）		減少させる	2.51	3.98	3.09	4.31	5.68	5.56		
	主な 取 組	キャリア教育の推進									
		・市内小学生・中学生へのライフキャリア教育 ⇒ 市内小学生・中学生が地域のひと・もの・ことから生き方について学ぶ学習を実施した。 ・志教育推進事業の開催 ⇒ 児童・生徒が自分たちが住んでいる地域を誇りに思い、そのよさを語ることができるような活動を各学校独自で展開することができた。									
		教育環境の充実及びG I G Aスクール構想の推進									
		・小、中学校の改修営繕 ⇒ 施設、空調設備の整備工事を実施した。L E D設置工事を実施した。校舎の予防保全工事を実施した。 ・学校の I C Tを活用した授業環境高度化 ⇒ 大型提示装置・ZOOMを導入して授業環境を整備した。									
		相談体制、支援体制の充実									
・子ども相談・支援室、萩輝きスクールの運営 ⇒ 生徒指導上の課題に対応するため、ケース会議の実施や萩輝きスクールでの支援を行った。											
修学のための経済的支援											
・奨学金の給付 ⇒ 市内高校生、至誠館大学生、至誠館以外の大学生、萩准看護学院生、萩看護学生、市外の看護師養成施設の生徒、農業大学校生を対象に奨学金を給付した。											

項目			R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析	
					R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比	(達成・未達要因、成果・課題等)	
3 未来を担うひとを育むまちづくり	⑤その他全般的事項											
	KPI①：高校生・大学生等が参画した市の事業数（累計）		50事業	-	10事業	19事業	31事業	46事業	67事業	17事業	【KPI①】若年層の意見や企画を取り入れるため、年々、高校生・大学生に参画いただく事業が増加し、目標値を達成することができた。引き続き、各機関と連携し、市の事業への高校生、大学生の参画を促す。	
	主な 取 組	ひとづくり構想の推進										
		・ひとづくり構想の推進 ⇒ 萩市ひとづくり構想推進委員会を開催し、教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検及び評価を実施した。										
		高等教育機関との連携										
・世界遺産周遊促進事業への参画 ⇒ 明治日本の産業革命遺産が令和7年に世界遺産登録10周年記念を迎えることから、記念プレイベント「萩の世界遺産をめぐる！謎解きウォークラリー2024～先人が築いた近代化への道筋～」を開催。高校生に、企画段階から参加いただき、謎の作成やSNSを活用した広報に参画いただいた。												

項目		R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析 (達成・未達要因、成果・課題等)	
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比		
4 産 業 活 力 が あ ふ れ る ま ち づ く り	KGI：納税義務者1人当たりの所得		2,659千円	2,591千円	2,617千円	2,706千円	2,716千円	2,754千円	2,935千円	276千円	
	【KGI分析】令和３年度において目標値を達成している。傾向として、本市では総所得金額等に占める割合として、約９割が給与所得と公的年金所得であり、この数値が横ばいで推移している一方、納税義務者数が減少していることから、１人あたりの所得が増加となっている。令和６年度は定額減税の影響により、納税義務者数が前年度と比較して約10%の減少となり、１人あたりの所得も大幅に上昇する結果となった。今後も、所得そのものの維持及び向上により１人当たり所得が増加するよう、産業活力の向上を図る必要がある。										
	①地域のにぎわいを取り戻す地場産業の再生										
	KPI①：地域ブランド調査の食品想起率県内ランキング（ブランド総合研究所）		1位	3位	3位	3位	3位	4位	5位	4位	【KPI①】食のポータルサイト「萩GoChi」のビュー数は増加しているものの食品想起率の順位上昇には反映していない。萩の全国的な知名度は一定数あるものの、食としての萩のイメージ定着には至っていない。引き続き様々な媒体を活用し、認知度向上に取り組んでいく。 【KPI②】萩ビズの運営について、満足度は高い水準で推移しているものの低下傾向にある。商工会議所と連携して、サポート内容の改善を図る。 【KPI③】目標値を上回っている。さらなる利用促進に向け、制度の周知を図りたい。 【KPI④】令和６年度の市内事業者デジタル化促進事業のキャッシュレス決済導入支援等の実績は０件であった。目標値には届いていないが、キャッシュレス決済の実施率は当初から伸びており、当該事業によるキャッシュレス決済導入については一定の役割を果たした。
	KPI②：はぎビズ相談件数（年間）		1,000件	-	607件	590件	480件				
	KPI②：はぎビズ利用者満足度（年間）		90%	-			97.0%	94.0%	88.0%	-2.0%	
	KPI③：新商品開発件数（累計）		6件	-	4件	6件	9件	11件	13件	7件	
	KPI④：キャッシュレス決済の実施率		25.00%	11.28%	15.89%	16.92%	16.92%	23.95%	23.95%	-1.05%	
	主 な 取 組	萩ブランドの推進									
		・萩・地域ブランドの構築 ⇒ 食のブランド産品を中心にウェブサイト、紙媒体等による総合的な情報発信を行い、販路拡大や事業者の稼ぐ力の向上を支援した。									
		地場産業の振興									
		・中小企業長期経営安定資金の融資 ⇒ 事業活動に必要な資金（運転資金、設備資金）を融資した。 ・起業化支援対策資金の融資 ⇒ 新たに事業を開始する中小企業者等に対し、事業活動に必要な資金（運転資金、設備資金）を融資した。									
		中小企業の事業拡大等への支援									
	・中小企業等事業拡大補助金の交付 ⇒ 事業拡大へのチャレンジに補助金を交付し、販路の拡大、設備の充実及び広告宣伝等、経営力の向上を図った。 ・はぎビズの運営 ⇒ 中小企業の販路拡大や新サービス展開など、あらゆる分野の経営相談を継続的に支援した。										
	拠点施設の整備・機能強化										
・道の駅等の整備 ⇒ 道の駅「あさひ」の駐車場拡張工事を実施した。											

項目		R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析 (達成・未達要因、成果・課題等)	
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比		
4 産業 活 力 が あ ふ れ る ま ち づ く り	②起業・創業と企業誘致の推進										
	KPI①：中心市街地の空店舗活用件数（累計）		5件	1件	3件	4件	6件	10件	10件	5件	【KPI①、②】目標値を上回っているが令和6年度は利用がない状況である。利用促進に向け、制度や施設利用の周知を図りたい。 【KPI③】コロナ禍以降、徐々に経済活動が再開し、新規起業件数が増加している。引き続き関係機関と協力し支援を行う。 【KPI④】目標値を上回っており、件数も年々増加傾向にある。さらなる移住促進を図りたい。
	KPI②：インキュベーションセンター利用件数（累計）		8件	-	5件	8件	10件	12件	12件	4件	
	KPI③：新規起業件数（年間）		11件	6件	11件	9件	11件	21件	24件	13件	
	KPI④：移住就業・移住創業事業者数（累計）		10件	1件			5件	15件	26件	16件	
	主 な 取 組	起業・創業支援の推進									
・萩市インキュベーションセンターの管理運営 ⇒ 地域産業の振興や起業・創業、企業誘致のさらなる促進のため、萩市インキュベーションセンターを運営した。 ・はぎビズの運営 ⇒ 萩商工会議所を通じ、中小企業の販路拡大に向けたあらゆる分野の経営相談を継続的に支援した。 ・創業セミナー等支援の実施 ⇒ 商工会議所等が実施する創業者・予定者に対する相談、指導及びフォローアップに係る支援に対して補助を行った。											
	企業誘致の推進										
	・企業誘致の推進 ⇒ 過去最多となる6社の企業誘致を実現した。										

項目		R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析 (達成・未達要因、成果・課題等)	
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比		
4 産業 活 力 が あ ふ れ る ま ち づ く り	③企業人材の育成と雇用拡大の支援										
	KPI①：萩市内企業の新規雇用者数（年間）		950人	883人	780人	760人	772人	740人	769人	-181人	【KPI①】目標値には及ばないが、前年度より雇用者数は増加した。有効求人倍率は回復傾向にあり、雇用情勢は改善されている。 【KPI②】目標値を大きく上回っている。引き続き登録社数増加のため周知を図る。 【KPI③】卒業者数の減少、大学進学率や都会志向の増加により市内就職者数が減少傾向にある。 【KPI④】市内進出したIT企業へ声掛けをしたため、結果的に参加企業数が増加した。ただし、各企業の状況により、参加・不参加の入れ替わりは変わらずあるため、今後も引き続きマッチングの場として周知を図る。
	KPI②：やまぐち移住支援サイトへの登録企業数		20社	8社	9社	13社	15社	37社	54社	34社	
	KPI③：高校等卒業生の市内就職者数（年間）		50人	32人	43人	29人	36人	31人	32人	-18人	
	KPI④：合同企業説明会参加企業数		30社	25社	24社	26社	25社	26社	28社	-2社	
	主 な 取 組	人材育成の推進									
・産業人材育成塾の開催 ⇒ 萩市産業人材育成塾「熱中小学校萩明倫館」実行委員会を開校し、チャレンジマインドの醸成を図った。 ・就業の促進 ⇒ 新規採用者等を対象とした新社会人向け研修会を開催した。											
	雇用拡大の支援										
	・就業の促進 ⇒ 合同企業説明会を実施し、高校卒業予定者と市内企業のマッチングの場を提供するとともに、市内企業の魅力を伝える企業ガイドブックを制作した。										

項目		R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析	
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比	(達成・未達要因、成果・課題等)	
4 産 業 活 力 が あ ふ れ る ま ち づ く り	④力強い農林水産業の推進										
	KPI：①集落営農法人連合体の組織数	3組織	2組織	3組織	5組織	5組織	5組織	5組織	2組織	【KPI①】 集落営農法人の経営合理化の手法の一つとして、法人連合体の設立支援を行っていく。 【KPI②】 安定した経営を図るため、繁殖牛頭数20頭以上の飼養が目標であり、20頭以上の規模に到達した経営体は令和6年度までに、累計で3経営体となった。引き続き、安定した畜産経営を実現するため、飼料価格等の外部環境を見定めながら規模拡大等を支援していく。 【KPI③】 森林の団地化、主伐・再造林一貫作業の推進、木材の流通・販売体制の構築・強化を通じ、主伐による搬出材積量の増加に取り組んでいるが、萩市有林以外の民有林における主伐実績が伸び悩んだため目標数値には届かなかった。今後、市内外の林業事業体による団地外の主伐の動向や森林整備センター等の事業計画にも注視してまいりたい。 【KPI④】 令和2年度から6年度まで、どの年度でも目標値の達成とはならなかった。漁業者の減少や水産資源の減少など課題は多く、今後も引き続き漁業者への効果的な支援や水産資源の保全・生産力の向上等を推進していく。	
	KPI：②飼養頭数（母牛）20頭以上に規模拡大する和牛繁殖農家数	2経営体	-	1経営体	1経営体	3経営体	3経営体	3経営体	1経営体		
	KPI：③搬出材積量（主伐、年間）	11,700m³	3,000m³	4,488m³	5,926m³	3,681m³	7,777m³	5,421m³	-6,279m³		
	KPI：④水産物水揚量（年間）	6,100t	6,041t	4,983t	5,265t	5,697t	5,699t	5,487t	-613t		
	主 な 取 組	農地機能・農村機能の維持、農地集積・集約化の推進									
		・ 中山間地域等への直接支払 ⇒ 農地を守り農業生産活動を行う集落等に面積規模に応じて交付金を交付した。 ・ 多面的機能維持、発揮への支援 ⇒ 農業・農村が担ってきた地域に対する多面的機能の維持、発揮のため、農業者と地域住民の共同活動を支援した。 ・ 機構集積協力金の交付 ⇒ 農地中間管理機構を活用した貸付、借受による担い手への農地集積を支援した。									
		収益力の強化、担い手の経営発展									
		・ 集落営農法人連合体の育成 ⇒ 規模拡大、低コスト化等に向けた農業用機械の導入を支援した。 ・ 農業中心経営体育成支援事業 ⇒ 個人の認定農業者等に対し農業用機械等の導入や栽培施設等の整備に係る経費を支援した。 ・ 地域農業資源リノベーション事業 ⇒ 規模拡大に取り組む農業法人が行った中古農業用機械の導入に対し支援した。									
		有害鳥獣等の被害対策									
		・ 鳥獣被害防止の総合対策 ⇒ 鳥獣被害防止対策経費の一部を補助することにより、農業被害の軽減を図り所得の安定及び生産意欲の向上を推進した。 ・ 野猿被害軽減対策事業 ⇒ 被害軽減対策として、阿萩地区、阿北地区の各猟友会に市内全域のサル捕獲業務を委託した。									
		農林水産品の生産振興、販売促進									
		・ 儲かる農業経営体モデル確立の支援（ソフト） ⇒ 販売促進や新品種の導入を行う農業者等を支援した。 ・ 萩市産木材需要拡大の支援 ⇒ 地元森林組合と製材事業者が設立した合同会社に対して、木材の円滑な供給に必要な資金の貸付を実施したほか、住宅等への地域産木材の活用、木材を持続可能なエネルギー資源として活用するための薪ストーブの整備を支援した。 ・ 萩の魚ブランド化推進協議会等への補助金 ⇒ 萩の魚のブランド化を推進することにより付加価値を高め、魚価の安定や消費拡大を推進した。									
	畜産業の振興										
	・ 粗飼料等の価格高騰対策 ⇒ 飼料価格が高騰していることから、畜産農家が購入した粗飼料及び単味の濃厚飼料代の一部について支援した。										
	イベント等を通じた農林水産業の振興										
	・ 萩の魚ブランド化推進協議会補助金 ⇒ 萩の魚のブランド化を推進することにより付加価値を高め、魚価の安定や消費拡大を推進した。 ・ 萩・魚まつりの開催 ⇒ 漁協及び関係団体が協調し、地域及び都市住民との交流を図る中で、魚の消費拡大並びに魚食普及を行った。										

木材の活用を通じた持続可能な地域づくり	
<div>・木材利用の推進 ⇒ 地域産木材の活用に向け、関係者の意見交換の場づくりや、市内中学校における授業等の普及啓発を実施したほか、市内の幼稚園・保育園児や小学生を対象とした木育体験を実施した。</div> <div>・萩市産木材需要拡大の支援 ⇒ 地元森林組合と製材事業者が設立した合同会社に対して、木材の円滑な供給に必要な資金の貸付を実施したほか、住宅等への地域産木材の活用、木材を持続可能なエネルギー資源として活用するための薪ストーブの整備を支援した。（再掲）</div>	
次世代まで幸せになる林業	
<div>・主伐・再生林の推進 ⇒ 造林事業者に対して、コンテナ苗を使用した再生林の支援を実施した。</div> <div>・森、職、人づくりの推進 ⇒ 適切な森林整備を進めるため森林環境譲与税を活用し、林業経営体（地元森林組合）に対し、森林団地認定のための森林所有者の意向調査、森林団地における適切な森林整備、効率的な作業を進めるための機械化、担い手の確保・育成の取組を支援した。</div>	
水産資源の保全・生産力の向上	
<div>・水産多面的機能発揮対策事業負担金 ⇒ 藻場やヨシ帯の保全回復に取り組む漁業者等の活動を支援し、水産業の再生及び漁村の活性化を推進した。</div> <div>・単独漁場改良造成等事業費補助金 ⇒ 白魚産卵漁場の改良造成、稚あゆ等の放流、アワビ等種苗の購入にかかる経費を補助した。</div> <div>・離島漁業再生支援交付金 ⇒ 離島の漁業再生等を図るため、漁業の生産力の向上等の取組を行う漁業集落を支援した。</div> <div>・阿武・萩地域栽培漁業推進協議会負担金 ⇒ ヒラメ、アカアマダイ、カサゴの中間育成及び放流経費の一部を補助した。</div>	
農林水産施設の整備・運営管理	
<div>・水産基盤ストックマネジメント ⇒ 施設の機能保全計画を策定し、計画的に保全工事を実施することで施設の長寿命化を推進した。</div>	

項目		R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析 (達成・未達要因、成果・課題等)
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比	
⑤地域産業の担い手・後継者育成										
KPI①：新規農業就業者数（累計）		40人	-	8人	16人	24人	40人	55人	15人	【KPI①】令和6年度は、年平均目標8名を超える15名の就業があった。目標値を超えることができたが、今後も、関係機関と連携して、地域農業の担い手の確保に取り組んでいく。 【KPI②】林業スタートアップ応援事業の活用や阿武荻森林組合による就業フェアへの参加、自伐型林業者の開業等により目標を上回る実績となった。一方で、新規就業者の定着について課題が残り、引き続き林業経営体が行う就業者確保に向けた取組への支援が必要である。
KPI②：新規林業就業者数（累計）		10人	-	4人	6人	8人	10人	14人	4人	
KPI③：新規漁業就業者数（累計）		40人	-	8人	17人	23人	32人	50人	10人	
KPI④：農援隊による農繁期支援者数（累計）		100人	-	0人	0人	0人	0人	0人	-100人	
KPI⑤：スマート農業を導入した経営体数		5経営体	-	4経営体	12経営体	12経営体	16経営体	17経営体	12経営体	
KPI⑥：IT企業と連携した人材育成カリキュラムの実施数（累計）		5回	-	1回	2回	3回	4回	5回	回	
農林水産業の新規就業者の確保、育成、定着支援										
<div>・新規就農の総合支援 ⇒ 経営が不安定な就農直後の所得を確保するための支援等を実施した。新規就業者を雇用し技術習得等の研修を行う農業法人を支援した。</div> <div>・農業スタートアップの応援 ⇒ 新規就農者の経済的な負担の軽減及び安定した農業経営と生活基盤の確立を支援するための支援を実施した。</div> <div>・林業スタートアップの応援 ⇒ 林業への新規就業者の確保・育成を図るため、就業準備の資金や賃貸住宅の家賃補助等の支援を実施した。</div> <div>・漁業スタートアップの応援 ⇒ 新規漁業者の経済的負担の軽減及び漁業会社等の漁業経営の安定を図るため準備金、家賃や出展経費の一部を補助した。</div> <div>・新規漁業就業者の定着促進 ⇒<div>・漁協が新規就業者等にリースするために漁船等を購入する際の費用を支援した。</div><div>・漁協が研修生用の住宅として改修する際の費用を支援した。</div><div>・漁業会社等に研修経費を支給した。漁業経営を開始した方に自立化支援金を支給した。</div></div>										

<div>4</div> <div>産業活力が あふれるまちづくり</div>	<div></div> <div>主 な 取 組</div>	<div>規模拡大や経営合理化への支援</div> <div> <ul style="list-style-type: none"> ・集落営農法人連合体の育成 ⇒ 規模拡大、低コスト化等に向けた農業用機械の導入を支援した。 ・農業中心経営体育成支援事業 ⇒ 個人の認定農業者等に対し農業用機械等の導入や栽培施設等の整備に係る経費を支援した。 ・地域農業資源リノベーション事業 ⇒ 規模拡大に取り組む農業法人が行った中古農業用機械の導入に対し支援した。 </div> <div>第一次産業のIoT化</div> <div> <ul style="list-style-type: none"> ・スマート農機の導入支援 ⇒ 集落営農法人連合体形成加速化事業によりスマート農機導入を支援した。 </div> <div>産業人材の育成、確保</div> <div> <ul style="list-style-type: none"> ・グローバルIT人材確保、育成の推進 ⇒ 萩グローバルIT人材育成協議会を運営し、大学生等を対象にeラーニングを中心としたIT学習カリキュラムを提供した。 ・特定地域づくり事業共同組合の運営支援 ⇒ 農林業や製造業等の事業者に対し、労働者を派遣することを目的に設立したはぎ地域づくり協同組合の設立及び運営に必要な経費を支援した。 </div>	<div>【KPI③】令和2年度から6年度までの累計は目標数を10人上回る成果を達成することができた。今後も漁協や県等と連携し、新規就業者の確保・育成・定着に努めていく。</div> <div>【KPI④】山口県農業協同組合中央会が運営する農業バイト求人検索サイト（あぐぼん）等の農業援助サービスの開始及び令和4年度に「はぎ地域づくり協同組合」が設立されたことにより、支援の方法が、市単独での農繁期支援事業から移行しつつある。</div> <div>【KPI⑤】高齢化や人手不足などの課題を解決し、持続可能な農業を実現するため、スマート農機の導入を推進する。</div> <div>【KPI⑥】ITリテラシーの向上を目的として、①IT基礎知識を習得するためのeラーニングの提供（受講生約90名）、②オンラインでの特別講座の開催、③市内高等学校と連携したセミナーの実施（対象者26名）、④小学生向けプログラミング教室の開催（参加者10名）、⑤テレワークセミナーの実施（参加者約40名）など、広く学習の機会を提供した。今後も、IT関連企業等と連携し、IT人材の育成に努めていく。</div>
---	--	---	---

項目		R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析 (達成・未達要因、成果・課題等)	
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比		
4 産業 活 力 が あ ふ れ る ま ち づ く り	⑥地域経済の発展を加速化する高速道路ネットワークの形成										
	KPI①：山陰道の事業化区間の延長		事業化区間	優先整備区間	事業化区間	-	-	-	-	【KPI①】令和6年度は、関係団体とともに、7月、10月、11月に国土交通省等、関係機関への要望活動を実施。令和3年度に大井・萩道路、益田田万川道路の2区間が新規事業化され、現在、国において事業を進められている。引き続き、要望を通じて未事業化区間の事業化と早期の全線開通を目指す。	
	主 な 取 組	高規格道路及び地域高規格道路の整備促進									
		・山陰道の整備促進 ⇒ 大井・萩道路と益田・田万川道路が令和3年度から事業着手された。早期完成を目指して要望活動を実施した。									
⑦その他全般的事項											
主 な 取 組	萩・明倫学舎の整備・活用										
	・3号館市民ギャラリーの活用 ⇒ 令和6年度来館者は7,426人であった。										

項目		R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析 (達成・未達要因、成果・課題等)		
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比			
5 魅力ある歴史・文化・自然をいかしたまちづくり	KGI：旅行消費額		143.4億円	131.5億円	94.8億円	98.4億円	118.7億円	121.4億円	128.2億円	-15.2億円	【KGI分析】 コロナ禍による落ち込みから徐々に回復し、最終年度は前年度に比べ５％以上増加したが、計画策定時の値は回復せず、目標値に届かなかった。しかしながら、新型コロナウイルス感染症が５類に移行された後は全国的に旅行者が増加しており、萩市においても、入込客数、宿泊客数や県外からの観光客やインバウンドは増加傾向にある。また、一人当たり旅行消費額も萩版DMOの目標数値を上回っている。引き続き、萩市を訪れる方の増加に勤め、旅行消費額の拡大を図っていく。	
	①全国に誇る萩のまちなみの継承											
	KPI①：歴史的景観保存地区内の修景助成件数（累計）		10件	-	1件	3件	5件	6件	8件	-2件	【KPI①】 累計８件の実績となった。歴史的景観保全地区に限った補助であるため、年間１～２件の申し込みとなり目標未達となった。今後も建物の老朽化により、一定の利用者数は見込まれるが、景観の保全を図るため、より利用者の要望に沿った補助内容となるよう研究する。 【KPI②】 年の前半は、登録者があったものの、後半は伸びず、目標達成には至らなかった。しかしながら、補助金による支援、花いっぱい運動の推進による意識の向上などにより、年間登録者数の平均２０人を上回る３７人の増加となった。引き続き応援隊に対する支援を継続し、花いっぱい運動を推進していく。	
	KPI②：花と緑の応援隊登録者数（累計）		494人	294人	353人	412人	408人	412人	449人	-45人		
	主 な 取 組	歴史的景観の保存・活用										
		・ 伝統的建造物群保存地区内の現状変更事務 ⇒ 申請、協議を処理した。 ・ 電柱の地中化 ⇒ 令和３年度に史跡萩城城下町の４箇所で試掘調査を実施し、遺構が確認された。電柱の地中化に向けて、遺構について文化庁と協議を進めている。 ・ 伝建地区の空き家等の活用 ⇒ 浜崎伝建地区の空き家を活用するための施設改修等を実施し、施設運営事業者の募集、選定を行った。										
		景観保全や景観形成の推進										
		・ 歴史的景観保存地区の整備 ⇒ 歴史的景観保存地区における工作物等の修景に対して補助金を交付した。										
		花と緑の推進										
・ 笠山椿群生林の再生保全 ⇒ 笠山椿群生林のヤブツバキの再生・保全のため、検討委員会を開催し、現状調査と再生試験を実施した。 ・ 花と緑の推進事業補助金 ⇒ 市民による花と緑の推進に対する補助、花と緑の応援隊への支援、花いっぱい運動の推進、花と緑のふれあい広場の開催を行った。												

項目		R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析 (達成・未達要因、成果・課題等)	
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比		
5 魅力ある歴史・文化・自然をいかしたまちづくり	③文化のおたから、自然のおたから、産業のおたからの再発見・継承										
	KPI①：新しいおたからの発見数（累計）		4,000件	3,464件	3,680件	3,773件	3,773件	3,773件	3,773件	-227件	【KPI①】 令和４年度の検証期間を経て新たな事業に取り組んだことから、令和４年度以降、実施がなく数値に増減がない。 【KPI②】 令和３年度に目標値を超えた。令和６年度には27件のイベントを行うなど、実施数を着実に伸ばすことができた。 【KPI③】 令和６年度は前年度に対しては増加しているが、コロナ前と比べると依然として大きな開きがある。県内に大小さまざまな行事・企画が乱立し、集客競争が激化していることから、より競争力のある特別展や企画展を検討したり、他館との住み分けを模索する必要がある。
	KPI②：おたから活用イベントの実施数（累計）		50件	20件	43件	57件	71件	88件	115件	65件	
	KPI③：萩博物館の入館者数（年間）		100,000人	88,234人	32,646人	42,154人	39,581人	48,751人	68,288人	-31,712人	
	主 な 取 組	萩まちじゅう博物館構想の推進									
		・萩まちじゅう博物館の推進 ⇒ おたからの調査などを行う団体を支援した。									
		萩博物館等の運営									
		・特別展の開催 ⇒ 開館20周年を記念した特別展を開催した。									
	調査研究の推進										
	・報告書等の発行 ⇒ 各分野の成果をまとめた萩博物館調査研究報告第20号を発行した。										

項目		R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析 (達成・未達要因、成果・課題等)	
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比		
5 魅力ある歴史・文化・自然をいかしたまちづくり	④萩ジオパーク構想の推進										
	KPI①：萩ジオパーク推進協議会公認ジオツアー・体験プログラム参加者数（年間）		500人	181人	211人	133人	254人	233人	178人	-322人	【KPI①、②】 ツアー・プログラムへの参加人数は、昨年度に比べて減少し、ジオガイド・プランナー数については昨年度と同数であった。ただし、萩ジオアカデミー講座や出前講座など参加者が増加したものもあった。KPIの目標値に設定したものは届かなかったが、出前講座など実績を伸ばしたものもあり、また、適切な環境保全なども継続して行っている。
	KPI②：萩ジオパーク推進協議会公認現役ジオガイド・ジオプランナー数		20人	9人	12人	12人	13人	12人	12人	-8人	
	主 な 取 組	市民への普及啓発の推進									
		・萩ジオパーク推進協議会補助金 ⇒ 萩ジオアカデミー講座特、大地の日（大地の遊び人ひろば）、萩ジオパークフェアを開催した。各イベントへの出展、出前講座を実施した。 ・萩市ジオパーク活動の補助 ⇒ 萩PR・COMPANY（萩の魅力再発見プロジェクト）の活動を補助した。									
		環境保全や施設・展示の整備									
		・ジオサイトの保全 ⇒ ジオサイトの草刈を実施した。									
	情報発信の強化										
	・ジオパーク活動の周知 ⇒ 萩ジオパーク推進協議会公式ＨＰへの掲載や、ＳＮＳ等での情報発信に努め、パブリシティに取り上げられた。										
	ジオツアー等関連商品の開発										
・萩ジオパーク推進協議会補助金 ⇒ 公式HPの他、現地ツアー予約サービスを提供するウェブサイトに掲載し、ジオツアー等を開催した。 ・関連団体による取組 ⇒ 各種ジオツアーの開催、体験ツアー造成等を実施した。											

項目		R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析	
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比	(達成・未達要因、成果・課題等)	
5 魅力ある歴史・文化・自然をいかしたまちづくり	⑤観光地経営の視点に立った観光地域づくりの推進										
	KPI①：来訪者満足度（おもてなし）		4.4	4.38	4.5	4.63	4.65	4.69	4.69	0.29	【KPI①②】市内の事業者が施設改修や新たなコンテンツの造成、ブラッシュアップを行うなど観光地「萩」の魅力の向上に繋がる取組を実施するとともに、おもてなしの推進などにより、観光客の満足度は高水準を維持した。また、まちじゅう博物館をテーマとしたスタンプラリーや旅行商品を造成するなど市内観光の周遊を促進した。 【KPI③】観光客の満足度を上げるための施設改修やおもてなしの強化などにより、満足度も高水準を維持している。また、継続的な情報発信に加え、国内外へのテーマごとの情報発信や、インバウンドなど情報発信を強化することで県外からの来訪者やインバウンドも増加した。リピーター数は増加しているが、それ以上に初めての来訪者が増加したことにより、リピーター率は減少し、目標達成できなかった。引き続き、観光ニーズに対応した受入環境の整備や体験コンテンツの提供により観光客の満足度を向上し、リピーターの獲得に務める。
	KPI②：来訪者満足度（宿泊施設）		4.4	4.3	4.39	4.52	4.45	4.43	4.56	0.16	
	KPI③：リピーター率		69.0%	65.4%	52.7%	52.1%	47.3%	43.1%	42.6%	-26.4%	
	主な取組	滞在型観光の仕組づくり									
		<div>・外国人観光客誘客促進 ⇒ ①まちじゅう博物館、②着物、③GI萩の清酒、萩焼・萩往還の3つのテーマで、外国人旅行者向け旅行プラン造成、実施した。</div> <div>・滞在・周遊の促進 ⇒ JRと連携し、市内各所に点在する①萩のおたから情報、②萩の世界遺産のおたから、③萩の歴史のおたから、④萩の風景のおたから、⑤萩の食のおたからの5つのカテゴリーからなる80ヵ所のスタンプ獲得スポットでの「萩のおたからスタンプラリー」を実施した。</div> <div>・夜間イベントの実施 ⇒<div>・萩への宿泊を促すため、竹灯路物語、プロジェクションマッピング、着物ウィークin萩、竹あかりat萩・明倫学舎などを連携して開催した。</div><div>・山口県出身の声優による朗読劇を実施し、併せて津和野町と連携した周遊ツアーを実施した。</div></div>									
		観光情報発信の強化									
		<div>・PR動画による戦略的プロモーション ⇒ 萩市観光ポータルサイト内での観光情報の充実、SNSを活用した効果的な情報発信により、HPのアクセス数も増加した。</div> <div>・魅力あるパンフレット作成・食情報の発信 ⇒ 季節ごとにイベント情報や市内の見どころを掲載した観光パンフレットや市内飲食店のガイドマップ等を発行した。</div> <div>・広告宣伝助成事業 ⇒ 市内4事業所に対して、販路開拓に取り組む際に必要な広報宣伝費の一部を助成した。</div> <div>・【再掲】外国人観光客誘客促進 ⇒ ①まちじゅう博物館、②着物、③GI萩の清酒、萩焼・萩往還の3つのテーマで、外国人旅行者向け旅行プラン造成し、OTAへのコンテンツ掲載・販売、スマホ位置情報データを活用した広告、訪日外国人向けアプリを活用した広告、SNSを活用した広告、京都駅・広島駅での情報発信を実施した。</div> <div>・インバウンドプロモーション ⇒<div>・世界160の国や地域の約3億6,000万世帯で視聴可能であるNHKの国際サービス「NHKワールドJAPAN」の番組「CATCH JAPAN」で萩まちじゅう博物館をコンセプトにサムライが闊歩した城下町や体験、食に関する情報を放送した。</div><div>・フランスのJapan in Motionで、世界遺産をコンセプトに地元名産品とともに旅番組スタイルで放送した。</div><div>・新山口駅のデジタルサイネージ掲出した。</div><div>・萩市観光協会公式ホームページの英語版を強化（宿泊、食、体験ページ等）した。</div><div>・プロモーションアドバイザー研修を実施した。</div></div>									
	観光受入体制の充実										
	<div>・周遊サイクリングの実施 ⇒ 道の駅ゆとりパークたまがわ、いかマルシェで、レンタサイクルを実施し、地域内の周遊促進を促進した。</div> <div>・萩おもてなし事業 ⇒ 「TWILIGHT EXPRESS 瑞風」の運行やクルーズ客船の寄港に併せて、多様なおもてなし、歓迎イベントを開催した。</div> <div>・インバウンド受入環境整備支援事業 ⇒ 外国人観光客の満足度の向上を図る取組を支援するため、レストランのWi-Fi整備、館内表示の多言語化、トイレの洋式化等の整備に対する経費の一部を助成した。</div> <div>・【再掲】外国人観光客誘客促進 ⇒ ①まちじゅう博物館、②着物、③GI萩の清酒、萩焼・萩往還の3つのテーマで、外国人旅行者向け旅行プラン造成、実施した。</div> <div>・インバウンド対象でアンケートを実施し、萩城跡指月公園、萩博物館、萩・明倫学舎を無料で周遊できるHagiWonderPassを発行した。</div> <div>・山口県出身の声優による「高杉晋作」をテーマとした朗読劇を実施し、併せて市内を周遊するツアーを造成した。</div> <div>・萩往還、長門峡の英語版散策マップを作成した。</div>										

り	観光マーケティング調査
	・観光動向の調査 ⇒ 観光客への聞き取り調査や、観光地での数取り調査を実施した。
	観光施設等の運営・維持管理
	・観光施設運営 ⇒ 清掃業務の委託、観光施設の維持管理、海水浴場の開設等を実施した。 ・萩・明倫学舎に係る取組 ⇒ ・N P O 萩明倫学舎と協働により、本館から4号館まで全館の管理運営を行った。 ・季節ごとに明倫学舎の特色を生かしたイベント等を開催し、誘客に努めた。 ・幕末ミュージアム小川コレクション寄贈者故小川忠文氏追悼事業として、2号館幕末ミュージアムに「幕末体験コーナー」を設置し、小川コレクションの図録を刊行する等、資料の魅力と価値の周知に努めた。 ・POSレジシステム導入を導入し、来館者の利便性の向上に向けて取り組んだ。
	観光誘客イベントの充実
	・萩づくりイベントの支援 ⇒ 萩ならではの観光資源を活用したイベント「着物ウィーク i n 萩」や「萩・竹灯路物語」、自然、花をテーマにした「萩・椿まつり」、「萩・夏みかんまつり」、「萩・花火大会2024」、「萩時代まつり」を開催した。 また、萩・竹灯路物語に併せ、プロジェクションマッピングやGI萩の日本酒のふるまい等を行った。

項目		R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析 (達成・未達要因、成果・課題等)	
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比		
5 観光	⑥観光客誘致の積極展開										
	KPI①：観光入込客数（年間）	5,000,000人	4,506,575人	3,199,061人	3,178,124人	3,614,421人	3,828,146人	3,892,992人	-1,107,008人	【KPI①】目標の達成はできなかったものの、コロナ前に比べ宿泊のキャパシティが減少している中で、コロナ前の86.4%まで回復した。引き続き観光需要の回復に注力する。 【KPI②】目標達成には及ばなかったものの、外国人観光客に向けた情報発信や受入環境の整備に取り組んできた結果、特に欧米系の増加が見られるなど、順調に回復してきている。 【KPI③】目標達成には及ばなかったものの、各施設の改修などにより、需要が拡大し、コロナ前に比べ宿泊のキャパシティが減少してる中で、30万人を突破した。	
	KPI②：外国人観光客数（年間）	29,000人	14,600人	516人	14人	365人	4,692人	8,026人	-20,974人		
	KPI③：宿泊者数（年間）	470,000人	405,409人	261,771人	244,119人	288,861人	283,955人	307,468人	-162,532人		
	KPI④：ホームページ訪問数（年間）	1,300,000回	1,191,381回			1,312,137回	1,561,790回	1,559,850回	259,850回		
	KPI⑤：SNSフォロワー数（年間）	10,000人	7,314人			8,004人	8,787人	9,025人	-975人		
	KPI⑥：交通系ICカードの利用者率	50.0%	-	0.0%	13.0%	9.4%	15.3%	22.5%	-27.5%		
		観光宣伝の推進									
		<div>・PR動画によるプロモーション ⇒ 萩市の魅力を動画配信サイト上で発信し、アフターコロナ期に速やかに観光需要を取り込めるよう準備した。</div> <div>・観光施策負担金、補助金 ⇒ 他の観光地と連携する協議会等へ負担金を支出し、観光情報の発信力を高めることで、萩市の認知度向上、観光客の誘致拡大に取り組んだ。</div> <div>・萩観光キャンペーン「萩旅」を展開した。</div> <div>・萩市観光協会ホームページに特設ページを開設し、周年事業を開催した。</div> <div>・公式WEBサイトを活用した情報発信強化事業 ⇒ 通信インフラ環境の向上、閲覧端末の多様化を受け、公式WEBサイトでの情報発信とあわせて、SNS（Facebook、Instagram）で魅力的な情報をタイムリーに発信するとともに、滞留時間延長につなげるべく、観光モデルコースや体験メニューページを充実させた。（Facebook 4,837人、Instagram 4,188人）</div> <div>・【再掲】萩市観光協会公式ホームページ（宿泊、食、体験ページ等）の英語版を強化した。</div> <div>・【再掲】プロモーションアドバイザー研修を実施した。</div>									

魅力ある歴史・文化・自然をいかしたまちづくり	主 な 取 組	インバウンドの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・【再掲】PR動画によるプロモーション ⇒ 萩市の魅力を動画配信サイト上で発信し、アフターコロナ期に速やかに観光需要を取り込めるよう準備した。 ・外国人観光客の回復・多様化する観光需要への対応 ⇒ 萩市国際交流員の方に協力いただき、Facebook（英語）「Visit HAGI」を運用し、季節の情報などを発信した。 ・【再掲】インバウンド受入環境整備支援事業 外国人観光客の満足度の向上を図る取組みを支援するため、レストランのWi-Fi整備、館内表示の多言語化、トイレの洋式化等の整備に対する経費の一部を助成 ・【再掲】外国人観光客誘客促進 ⇒ ①まちじゅう博物館、②着物、③GI萩の清酒、萩焼・萩往還の3つのテーマで、外国人旅行者向け旅行プラン造成し、OTAへのコンテンツ掲載・販売、スマホ位置情報データを活用した広告、訪日外国人向けアプリを活用した広告、SNSを活用した広告、京都駅・広島駅での情報発信を実施した。 ・【再掲】インバウンドプロモーション ⇒ <ul style="list-style-type: none"> ・世界160の国や地域の約3億6,000万世帯で視聴可能であるNHKの国際サービス「NHKワールドJAPAN」の番組「CATCH JAPAN」で萩まちじゅう博物館をコンセプトにサムライが闊歩した城下町や体験、食に関する情報を放送した。 ・フランスのJapan in Motionで、世界遺産をコンセプトに地元名産品とともに旅番組スタイルで放送した。 ・新山口駅のデジタルサイネージ掲出した。 ・萩市観光協会公式ホームページの英語版を強化（宿泊、食、体験ページ等）した。 ・萩往還、長門峡の英語版散策マップを作成した。 ・クルーズ客船の寄を港支援した。 ・IoTなどを活用した新サービスの創出等の支援 ⇒ クレジットカード・電子マネー決済機器等を整備した。 	<p>【KPI④】令和6年度は、前年度に比べ若干減少したが、動画での配信やSNSでの配信、広告によるWEBサイトへの誘導などにより目標を上回る高水準を維持した。</p> <p>【KPI⑤】目標値には届かなかったが、魅力的な情報をタイムリーに発信することで、年々、フォロワー数は増加した。</p> <p>【KPI⑥】令和5年3月に石見交通、まぁーるバス及びスーパーはぎ号、また、令和6年2月に防長交通にICOCAシステムが導入され、萩市内のすべてのバス路線でICカードが利用可能となったことから、22.5%と増加した。スーパーはぎ号のICカード利用者率は42.4%に対し、路線バス及びまぁーるバスは利用率が低かったことから、市民のICカードの利用促進が課題となっている。今後も利用促進を図るためPRに努める。</p>
		アクセスの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・萩－新山口間直行バスの運行助成 ⇒ JR新山口駅と萩を結ぶ直行バススーパーはぎ号の運行事業者に対し補助を行い、運行を継続させた。 	
	⑦その他全般的事項			
主 な 取 組		萩・明倫学舎の整備・活用	<ul style="list-style-type: none"> ・【再掲】3号館市民ギャラリーの活用 ⇒ 令和6年度来館者 7,426人 	

項目		R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析		
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比	(達成・未達要因、成果・課題等)		
6 生活 基盤 の 充 実 し た 住 み よ い ま ち づ く り	KGI：市民アンケートによる満足度指標		向上	-	30.7%	34.2%	29.2%					
	KGI：市民満足度の向上（満足されていない方の割合）		10.0%	20.9%			21.6%	18.4%	8.4%			
	※第3期萩市総合戦略の策定に当たりR5年度実績により検証を行ったため、R5年度で終了											
	【KGI分析】令和5年度には目標値の10%に対して18.4%となり、現状値から2.5%改善した。この項目は、主には交通網、生活サービス、公共インフラ、防災体制、環境といった生活環境基盤に関する施策の満足度を測るものである。交通網や離島航路、道の駅の充実といった分野は生活に直結するものであるが、萩市では離島から本土への移動といった地理的課題や、高齢化の進行を踏まえた移動手段の確保、買い物ができる場所の確保といった課題があり、これらの項目の指標は高めに推移している（「暮らしに密着した交通網の形成」の項目 R2：29.7%→R5:30.9%、「生活サービス機能の維持・向上」の項目 R2：27.1%→R5:20.6%）。また、道路や上下水道などのインフラの老朽化や、増加する危険な空き家への対策などの環境整備のほか、命を守る防災対策、ごみ減量化などの取組といった分野についても、同様に生活に与える影響が大きいことから、住民生活に不便を生じることのないよう、必要な施策を進めていく。											
	①暮らしに密着した交通網の形成											
	KPI①：ま ぁーるバス利用者数（年間）		238,000人	213,943人	155,791人	159,563人	154,113人	135,259人	134,720人		-103,280人	【KPI①～②】ま ぁーるバスの利用 者数は令和5年度に比べて減 少している。令和4年度に停留 所の増加や8の字運行を実施 し、中心部への移動時間短縮を 行うなど利便性の向上を図って いるが、コロナ以降の観光利用 が回復していない状況である。 ぐるっとバスは、地域内の移動 手段として運行しており、すべ ての地域においてデマンド運行 が開始するなど、利便性が向上 し、利用者数が増加傾向にあ る。引き続き、豊かな暮らしを 創る交通ネットワークの構築を 目指し、令和4年10月から新た なルートで運行を開始した ま ぁーるバスの定着化とぐるっ とバスの利用促進を図る。
	KPI②：ぐるっとバス利用者数（年間）		24,000人	13,383人	23,295人	23,610人	24,705人	25,216人	23,676人		-324人	
	主 な 取 組	持続可能な公共交通ネットワークの形成										
		・地域巡回バスの運行 ⇒ 交通空白地域を含め、地域内の移動手段として、利便性の向上を図りながらぐるっとバスを運行した。 ・交通ネットワークの再構築 ⇒ 路線バス撤退に伴い、地域内の移動手段を確保するため、生活バス、乗合タクシーを運行した。 ・総合時刻表等の作成										
		市内巡回バスの維持・充実										
・ま ぁーるバスの運行 ⇒ ・運行支援事業補助、利用促進事業補助など実施し、市民、市外来訪者の市街地における移動手段としてま ぁーるバスを運行した。 ・運行ルートを見直し、新ルートでの運行を開始した。												
地方バス路線の維持・充実												
・地方バス路線の補助 ⇒ ・交通事業者へ路線バスを維持するための支援として補助金を支出した。 ・利用者の利便性向上による利用促進を図るため、交通事業者が導入する交通系ＩＣカードシステムに補助金を支出した。												
離島航路の維持・充実												
・離島航路等への補助 ⇒ ・事業者へ離島航路を維持するための支援を実施した。 ・航路運賃低廉化事業を行った。												

項目		R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析 (達成・未達要因、成果・課題等)	
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比		
6 生活 基盤 の充 実し た住 みよ いま ちづ くり	②生活サービス機能の維持・向上										
	KPI①：道の駅の来訪者数（年間）		2,614,000人	1,965,000人	2,177,849人	2,304,039人	2,515,339人	2,429,299人	2,295,749人	-318,251人	【KPI①】 コロナの影響が緩和するにつれ客足も増加傾向にあったが、令和6年度については減少している。周知することで利用促進を図る。 【KPI②】 令和6年度末時点で53.2%となり目標を達成した。金融機関支店の統合や大型商業施設の移転に伴う集約により、目標達成となった。今後人口の減少が進む中、都市サービスの提供を確保するため、立地適正化計画の見直しを図るとともに居住の誘導を図る施策を検討していく。 【KPI③】 令和4年度からKPIを達成している。9基の携帯基地局を整備し、不感エリアを大幅に解消することができた。今後も国の補助金等の利用を含め、各キャリアへ要望を行っていく。
	KPI②：都市機能誘導区域内における誘導施設の集積率		49.0%以上	49.0%	49.0%	51.1%	51.1%	51.1%	53.2%	4.2%	
	KPI③：携帯電話不感エリアの夜間人口		1人	60人	7人	2人	1人	1人	1人	人	
	主 な 取 組	小さな拠点づくりの推進									
		・道の駅等の整備 ⇒ 道の駅「あさひ」の駐車場拡張工事を実施した。【再掲】									
		都市計画等の策定・推進									
		・都市計画マスタープラン等の見直し ⇒ 長期的な視点に立った都市の将来像や土地利用方針、都市施設の整備方針等の都市計画に関する基本的な方針を定めた「萩市都市計画マスタープラン」を令和5年3月に改訂した。									
		情報通信基盤の向上									
		・携帯電話エリアの整備 ⇒ 携帯電話の不感地帯を解消するため要望を行うとともに、整備した伝送路等を通信事業者に貸与し、基地局施設等の維持管理を行った。 ・光ファイバーの整備 ⇒ 光ファイバー網の維持管理を行った。									

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析 (達成・未達要因、成果・課題等)		
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比			
6 生活 基盤 の充 実し た住 みよ いま ちづ くり	③持続可能で快適な環境づくり									【KPI①】 事業の財源となる国庫補助金が要望額より減額となったことから、事業の進捗が遅れ、目標値に届かなかった。今後も早期整備に向けて努めている。 【KPI②】 国・県の事業の進捗が遅れ目標値に届かなかった。今後も管路の耐震化率の向上に努めていく。 【KPI③】 空き家所有者に対し、助言や指導を継続的行った結果、解消件数は目標を達成できた。所有者等が対応が困難な物件については、代執行による除却を実施し、市民の安全確保にもつながった。 【KPI④】 目標達成に必要な予算が確保できなかった事及び物価高騰により、目標値の未達となった。	
	KPI①：公共下水道整備率	95.0%	76.6%	77.6%	90.6%	92.2%	92.9%	93.2%	-1.8%		
	KPI②：水道管路の耐震化率	14.3%	12.0%	12.9%	13.2%	13.5%	13.8%	14.0%	-0.3%		
	KPI③：市内老朽危険空き家解消件数（累計）	230件	128件	175件	202件	253件	302件	330件	100件		
	KPI④：側溝のがたつき解消（延長）（累計）	1.25km	-	0.18km	0.31km	0.4km	0.47km	0.61km	-0.64km		
	主 な 取 組	公共施設等の維持管理									
		・萩市公共施設等長寿命化計画の運用 ⇒ 中長期的な視点により公共施設に求められる機能等を確保し、財政負担の軽減及び平準化や長寿命化を図るための萩市公共施設等長寿命化計画に基づき、計画的な改修・改築等を実施した。									
		上下水道設備の維持管理									
		・水道事業 ⇒ 配水管等の更新及び移設工事、配水池整備事業に伴う工事の実施、監視設備や機械設備の更新工事を実施した。 ・下水道事業 ⇒ 萩市公共下水道事業計画に基づき整備を進めた。									
		道路施設、河川の維持管理									
		・河川の維持管理 ⇒ 河川浚渫計画を作成し、計画的に浚渫を実施している。計画的に護岸改修も実施中である。 ・道路施設の維持管理 ⇒ 側溝整備計画を作成し、計画的に側溝整備を実施している。舗装・交通安全施設についても、計画的に実施している。									
		適正なごみ処理の推進									
		・萩・長門清掃一部事務組合負担金 ⇒ ごみの適正処理や減量、資源化を推進する萩・長門清掃工場はなもゆの運営等に係る経費を負担した。 ・漂流、漂着ごみの一掃事業 ⇒ 萩市海岸線の景観美化及び環境保全を図るため、海岸に漂着したごみの回収・処理を行った。									
		空き家対策の推進									
		・老朽危険空き家除却促進事業補助金 ⇒ 悪影響が高い空き家について、適正管理を行うよう助言等を行った。危険空き家の解体工事等の経費を支援した。 ・＜新規＞行政代執行による老朽危険空き家除却									
		民間木造住宅耐震化の推進									
		・民間木造住宅耐震診断、耐震改修の促進 ⇒ 民間木造住宅の耐震化向上を目的に、耐震診断を行った。									

項目		R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析 (達成・未達要因、成果・課題等)	
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比		
6 生活 基盤 の充 実し た住 みよ いま ちづ くり	④防災体制の強化										
	KPI①：自主防災組織による訓練実施地区数（旧小学校区）		21地区	5地区	2地区	1地区	3地区	9地区	4地区	-17地区	【KPI①】 自主防災組織による訓練地区実施件数は、21地区の目標値に対し、4地区（江向四区、椿、船津、大井）で実施したのみとなった。これは、実際に自主防災組織として活動している地区が少ないのが原因である。今後は、実際に活動出来る自主防災組織を自治会等に結成していただくため、出前講座や各種研修会、自主防災リーダー研修会などを定期的を開催し、自主防災組織の普及啓発に努める。 【KPI②】 消防団員の実情に合わせ、量より質の高い訓練を実施し、目標値も達成できた。また、大規模災害へ向け、常備消防との総合訓練の実施を行った。次年度からは、方面団に管轄を超えた活動を主に訓練を実施する予定である。
	KPI②：消防団員の教育・訓練の実施件数（年間）		135回	113回	78回	61回	102回	216回	172回	37回	
	主 な 取 組	地域防災力の向上									
		・地域防災マネージャーの設置 ⇒ 防災訓練の立案と実行、住民への啓発活動、防災計画の見直し、災害発生時の関係機関との連携強化のため、設置した。 ・防災リーダーの育成、訓練の実施 ⇒ ・地域防災マネージャーを活用して、地域防災リーダー養成研修、ステップアップ研修を実施した。 ・萩市防災訓練を実施した。									
		避難所機能、防災設備の充実									
		・避難所の機能強化 ⇒ 非常食、毛布、アルミマット、間仕切り、発電機、携帯電話用マルチ充電器等を整備した。									
		消防機能の強化									
	・消防団員の訓練 ⇒ 常備消防との総合訓練や消防操法訓練、各分団ごとに必要な教育・訓練、各研修等に参加し、消防力の強化に努めた。 ・共同運用による通信指令体制の充実・強化 ⇒ 萩市、山口市、防府市における消防通信指令業務の共同運用に向け消防指令センター共同整備事業（事業期間：令和4年度～令和7年度の3年目）を実施した。										

【KPI①】自主防災組織による訓練地区実施件数は、21地区の目標値に対し、4地区（江向四区、椿、船津、大井）で実施したのみとなった。これは、実際に自主防災組織として活動している地区が少ないのが原因である。今後は、実際に活動出来る自主防災組織を自治会等に結成していただくため、出前講座や各種研修会、自主防災リーダー研修会などを定期的を開催し、自主防災組織の普及啓発に努める。

【KPI②】消防団員の実情に合わせ、量より質の高い訓練を実施し、目標値も達成できた。また、大規模災害へ向け、常備消防との総合訓練の実施を行った。次年度からは、方面団に管轄を超えた活動を主に訓練を実施する予定である。

項目		R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析 (達成・未達要因、成果・課題等)	
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比		
6 生活 基盤 の 充 実 し た 住 み よ い ま ち づ く り	⑤地球にやさしい環境づくり										
	KPI①：ごみリサイクル率		28.0%	22.0%	23.9%	21.5%	21.3%	21.8%	19.8%	-8.2%	【KPI①】未達成の要因としては、特にコロナ禍以降、子ども会や町内会を中心とした集団回収の活動が半減したためとみている。また、ごみの分別方法やリサイクルの必要性などの周知を図る。 【KPI②】達成の要因としては、エコプラザで開催される各種講座等が好評で主婦層を中心に参加者が多いためとみている。 【KPI③】策定時より削減したが、未達成の要因としては、事業者に対して周知を図ることが不十分だったことが考えられる。
	KPI②：エコプラザ萩の来場者数（年間）		10,500人	10,000人	8,559人	8,104人	10,840人	11,488人	11,330人	830人	
	KPI③：清掃工場に搬入される事業系ごみ量（年間）		4,454t	4,688t	4,713t	4,789t	4,634t	4,904t	4,534t	80t	
	主 な 取 組	ごみ減量化の推進									
		・啓発講座等の開催 ⇒ 定期講座及び各種リサイクル講座を開催した。映像・看板による啓発活動を実施した。 ・3Rの促進 ⇒ 補助金等の支出により、生ごみの減量化と古紙の再生促進を行った。不用品の再生、販売を行った。									
低炭素（地球温暖化対策等）の取組の推進											
		・緑のカーテンの育成 ⇒ 日差しを和らげ、エアコンの使用抑制を図る。PRのため、市役所本庁舎に緑のカーテンを育成した。									

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析 (達成・未達要因、成果・課題等)		
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比			
7 だ れ か ら も 愛 さ れ る ま ち、 求 め ら れ る ま ち づ く り	KGI：市民アンケートによる満足度指標		向上	-	19.7%	19.8%	18.8%				
	KGI：市民満足度の向上（満足されていない方の割合）		10.0%	11.3%			11.7%	12.7%		2.7%	
	※第3期萩市総合戦略の策定に当たりR5年度実績により検証を行ったため、R5年度で終了										
	【KGI分析】令和5年度には目標値の10%に対して12.7%となった。この項目は、主にはコミュニティづくり、移住・定住、文化・スポーツの推進、地域振興、離島振興、DXといった魅力ある地域づくりに関する施策の満足度を測るものである。指標は10%台前半と目標値に近いが、「萩の魅力をいかした移住・定住」（R5:16.2%）、「DXによる幸せなまちづくり」（R5:13.7%）の項目が他項目と比較し、高い傾向にある。移住相談件数や萩市への移住者数は増加しているが、人口減少の進む地域への移住定住者の増加が課題の1つである。また、令和4年度からDXによる幸せなまちづくりの項目を追加し、行政手続の利便性の向上や業務時間の削減を図っている。施策の効果が広く住民にいきわたるよう努めていく。										
	①市民との協働による元気なコミュニティづくり										
	KPI①：市民活動センター「結」の利用者数（年間）		10,700人	10,698人	9,216人	8,903人	10,082人	13,256人	13,146人	2,446人	【KPI①】令和5年度の実績値から110人の減少となった。主な理由として、「ハロウィンたまち＆結まつり」の来場人数が前年より300人減少したことで、僅かながら減少となったと思われる。目標人数は達成しており、引き続き、田町商店街との連携事業を行うとともに、市民活動連携講座等を通じて、団体同士や市民をつなげる活動を展開していく。 【KPI②】令和6年度の実績値は39.1%で目標値40%に達していないものの、市関係各課に対し継続的に女性の登用を呼びかけることで、39%台の高い数値を保っている。萩市男女共同参画プラン（第3次改訂版）において、計画の指標として40%を掲げていることから、引き続き、庁内各課に対して積極的な女性登用を依頼していく。
	KPI②：審議会等への女性委員の参画率		40.0%	38.5%	37.8%	38.1%	39.4%	39.1%	39.1%	-0.9%	
	主 な 取 組	自治組織等との協働の推進									
		・コミュニティの推進 ⇒ 町内会等運営費補助金、地区集会所建設費補助金、広報等配布事務費交付金、防犯外灯設置費補助金を支出した。 ・行政推進員の設置 ⇒ 地区住民と行政との連絡調整を行うため、各町内会等に行政推進員を設置した。									
		市民活動団体の活動推進									
		・市民活動センターの管理運営 ⇒ 市民活動の振興とネットワークづくりの推進を図った。									
		男女共同参画の推進									
		・女性団体の支援 ⇒ 萩市女性団体連絡協議会を設置し、市内女性団体の相互連携を図ることで、女性の社会参画を推進した。 ・女性相談に係る取組 ⇒ ・女性相談窓口に女性相談員を配置し、解決に向けた支援を行った。暴力の予防を目的として啓発活動や情報提供を行った。 ・さまざまな暴力の予防教育として、出前講座を実施した。 ・男女共同参画社会の推進 ⇒ 令和4年3月に策定した萩市男女共同参画プラン（第3次改定版）に基づき男女共同参画を推進した。									
		消費者行政の推進									
		・消費者行政の推進 ⇒ 消費生活相談員を配置し、消費者被害の未然防止と救済、トラブル解決に向けた支援を行った。消費者意識の啓発及び消費者教育の充実を図るため、出前講座を実施した。 ・消費者の育成 ⇒ 消費生活モニターを委嘱した。消費生活モニター通信を発行し、HPへの掲載等を行った。									
		安心・安全対策の充実									
		・広聴に係る取組 ⇒ 無料法律相談、消費生活無料相談を実施した。萩法律相談センターの運営経費に対し補助金を支出した。 ・交通安全の啓発 ⇒ 各種媒体を活用して広報活動を行った。交通安全運動を積極的に推進するため、関連機関へ補助金を支出した。 ・防犯対策 ⇒ ・安全安心推進員を設置し、地域住民の要望、意見、相談に対応した。関係機関と共同で広報啓発及び実践活動を行うため、負担金を支出した。 ・うそ電話詐欺等の被害の未然防止のため、防災メールによる情報配信を行った。									
	地域コミュニティ組織の活動支援										
	・萩地域コミュニティへの補助 ⇒ 萩地域子ども会育成連絡協議会及び婦人会の活動に対して補助をした。 ・魅力ある地域づくり交付金 ⇒ 環境美化活動、敬老会行事、生涯学習発表会、スポーツ行事等に対して、地域の裁量により用途を決定できる交付金を交付した。										

項目		R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析 (達成・未達要因、成果・課題等)	
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比		
7 だ れ か ら も 愛 さ れ る ま ち 、 求 め ら れ る ま ち づ く り	②萩の魅力をいかした移住・定住										
	KPI①：移住相談件数		910件	528件	721件	910件	1020件	1108件	1208件	298件	【KPI①、②】令和6年度は52世帯95人の移住があり、移住相談件数についても、1,217件であった。いずれも過去3番目に高い数字となっている。ポータルサイトでは、空き家バンクの物件をVRを使って内覧できるようにするなど、利便性の向上を図るとともに、移住支援員や移住就業コーディネーターが住まいや仕事の支援においても丁寧に対応したことが結果につながっていると分析する。 【KPI③】隊員の退任後の定着率は、全国で68.9%（令和6年5月1日時点）となっており、萩市においては、全国を上回る70.5%となった。要因としては、地域おこし協力隊の着任前の体験ツアーの実施や、現地面談などにより、隊員と受入地域のマッチングを丁寧に行うとともに、地域に定住した元協力隊員による現役隊員の相談に応じる仕組み等により、円滑な活動実施と地域との連携が図られたことにより、退任後の定着率の高さに繋がっているものと分析する。
	KPI②：定住相談窓口を通じた移住世帯数（累計）		530世帯	251世帯	339世帯	398世帯	449世帯	500世帯	552世帯	22世帯	
	KPI③：地域おこし協力隊員の退任後の定着率		70.0%	50.0%	73.9%	67.7%	68.6%	67.4%	70.5%	0.5%	
	主 な 取 組	移住相談体制の充実									
		・はぎポルトー暮らしの案内所一運営 ⇒ 移住支援員3名を配置し「空き家情報バンク」による空き家の利活用を図るとともに、新たに移住就業コーディネーター1名を配置し、移住者の相談にきめ細かく対応し、円滑な移住を支援した。また、ローカルエディター2名を配置し、地域と関わりたい人と地域を繋ぐために、ローカル情報の発信を行った。 ・空き家情報バンク利用促進 ⇒ 新たに萩市住定住情報ポータルサイトをオープンし、バーチャル内覧や、オンライン申請など利便性の向上を図った。									
		移住体験の推進									
		・お試し暮らし住宅の管理運営 ⇒ お試し暮らし体験のできる2施設を管理運営した。 ・萩暮らし体験ツアーの実施 ⇒ 既存の観光コンテンツとは一味違う「ヒト」「モノ」「コト」に出会う旅「萩・人に出会う旅」を実施した。									
		移住者向け住環境の整備									
		・各種移住支援制度 ⇒ 移住支援のための各種補助制度を多様な媒体を活用し情報発信した。									
		地域おこし協力隊の活動・定着の推進									
		・地域おこし協力隊の設置 ⇒ 令和6年度に退任し4名のうち3名が萩市に定住した。 ・地域おこし協力隊体験ツアーの実施 ⇒ ミスマッチをなくすため、事前にミッション及び萩暮らしを体験するツアーを実施した。									
		関係人口の創出									
	・関係人口構築の促進 ⇒ 移住スカウトサービスSMOUTを活用し、地域課題の解決に必要な人材の確保に取り組んだ。										
移住者の就業・創業の推進											
・はぎビズの活用 ⇒ 伴走型の事業者支援を行うはぎビズを介して、移住者の創業を支援した。											
農山漁村交流の推進											
・萩市農山漁村交流プロジェクトの推進 ⇒ 第一次産業の資源を活用した訪日外国人と農山漁村の交流事業に取り込む萩市ふるさとツーリズムを推進した。											

【KPI①、②】令和6年度は52世帯95人の移住があり、移住相談件数についても、1,217件であった。いずれも過去3番目に高い数字となっている。ポータルサイトでは、空き家バンクの物件をVRを使って内覧できるようにするなど、利便性の向上を図るとともに、移住支援員や移住就業コーディネーターが住まいや仕事の支援においても丁寧に対応したことが結果に繋がっていると分析する。

【KPI③】隊員の退任後の定着率は、全国で68.9%（令和6年5月1日時点）となっており、萩市においては、全国を上回る70.5%となった。要因としては、地域おこし協力隊の着任前の体験ツアーの実施や、現地面談などにより、隊員と受入地域のマッチングを丁寧に行うとともに、地域に定住した元協力隊員による現役隊員の相談に応じる仕組み等により、円滑な活動実施と地域との連携が図られたことにより、退任後の定着率の高さに繋がっているものと分析する。

項目		R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析 (達成・未達要因、成果・課題等)	
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比		
7 だ れ か ら も 愛 さ れ る ま ち、 求 め ら れ る ま ち づ く り	③市民一人ひとりが輝くまちづくり										
	KPI①：公民館の実施する講座・教室等の参加者数（年間）		12,000人	11,918人	6,023人	5,365人	7,281人	9,687人	10,880人	-1,120人	【KPI①】令和2年度及び3年度はコロナ感染拡大防止の観点から公民館活動を縮小し、大きく参加者数が減少している。令和4年度から徐々にコロナ禍前の活動内容に戻していることから、参加者数も増加傾向にあるが、目標値までは届かなかった。 【KPI②】コロナが5類に移行され、スポーツイベントや大会への参加者数が徐々に増加傾向にあるものの、参加費の増加、コロナの長期化によるスポーツ離れの影響を受け、目標値を達成できなかったものとする。今後、より工夫をすることで参加者数をコロナ前の水準に戻していく取組が必要となる。 【KPI③】累計で6,747人の実績となった。移動図書館の巡回時や10ヶ月児健康相談などで未就学児の読書通帳の登録を勧め、卒園後も読書通帳を活用してもらえよう利用促進に努めた。今後もNPO萩みんなの図書館との協働で読書普及のための行事や展示を継続して行う。
	KPI②：スポーツイベントの参加者数（年間）		6,000人以上	5,700人	200人	1,546人	2,504人	3,371人	3,175人	-2,825人	
	KPI③：読書通帳登録者数		6,300人	5,222人	5,832人	6,090人	6,319人	6,546人	6,747人	447人	
	主 な 取 組	文化イベントの開催や文化活動の普及・振興									
		・芸術文化の振興 ⇒ ・萩市美術展を開催した。全国大会に出場した団体、個人に対して助成した。 ・文化公演「講談・落語会」等を開催した。 ・令和4年9月にオープンした萩市民ギャラリーの利用促進を図り、来館者数の増加に努めた。 ・読書の普及 ⇒ 講座やイベント等を実施し、読書通帳、電子図書館、貸出カードの新規登録につなげた。									
		スポーツイベントの開催、生涯スポーツの普及									
		・スポーツ振興の補助 ⇒ 実行委員会による萩城下町マラソン・萩市駅伝競走大会・萩往還ワンデーウォークを開催し、スポーツ振興、健康増進を図った。									
		地域コミュニティの拠点施設、文化施設、スポーツ施設の管理運営									
		・各種施設の運営、維持管理 ⇒ ・公民館の各種学級や講座の開設等を行った。 ・萩市民館等の維持管理等を行った。 ・図書館の運営 ⇒ NPO萩みんなの図書館と市の協働により運営した。									
		東京2020オリンピック・パラリンピック（ホストタウン）レガシーの継承									
		・生涯スポーツの推進 ⇒ 萩市の特色のあるカヌー競技を推進するためカヌー体験教室を実施した。									
		人権啓発、人権教育の推進									
		・人権の心をはぐくむ市民の集いの開催 ⇒ 人権の花運動活動報告、人権講演会等を開催した。 ・人権教育の推進 ⇒ 市内を巡回して行う研修や、体験、交流活動等を主とした研修を実施した。指導者養成の講座を開催した。									
		社会参加支援の推進									
		・ひきこもり支援の推進 ⇒ 世代を問わない「ひきこもり」に特化した相談受付窓口の周知・運営を行った。 ・子ども、若者への総合支援 ⇒ 学習支援や就労支援などの支援を行うため、居場所づくりを実施した。就学、就労など社会参加や社会的自立に向けた支援を行う萩市子ども・若者総合サポート会議を運営した。									

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析 (達成・未達要因、成果・課題等)		
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比			
7 だ れ か ら も 愛 さ れ る ま ち 、 求 め ら れ る ま ち づ く り	④地域の特色をいかしたまちづくり										
	KPI①：夢プランに基づく実証事業の実施件数		28事業	18事業	22事業	24事業	25事業	25事業	28事業	0事業	【KPI①、②】目標値は超過しているものの未着手の計画も多くある。コロナ禍の期間中、感染拡大防止のため、長期間にわたり取組を休止せざるを得ない状況が続き、その間、地域住民の高齢化等によるマンパワー不足が進行したほか、物価高騰等の影響もあり、取組の実施又は継続が困難となった地区が発生している。夢プランは住民主体の活動計画であるが、今後も取組を継続できるよう、各地域の必要に応じたプランの支援を行う必要がある。
	KPI②：夢プランの事業化と事業の継続件数		12事業	0事業	14事業	15事業	20事業	20事業	27事業	15事業	
	主 な 取 組	地域振興計画「夢プラン」の策定、推進									
		・夢プランに係る取組 ⇒ 夢プランに基づく実証事業を実施した。夢プランの事業化と事業の継続を実施した。									
		魅力ある地域づくりの推進									
		・魅力ある地域づくり交付金 ⇒ 環境美化活動、敬老会行事、生涯学習発表会、スポーツ行事等に対して、地域の裁量により用途を決定できる交付金を交付した。 ・花を活用した交流人口拡大の推進 ⇒ 交流人口の拡大のため、各地域に花を植栽した。									
		特色をいかした交流の推進									
		・佐々並地区交流促進施設の活用 ⇒ 佐々並市にある市所有の伝統的建造物を改修整備した佐々並地区交流促進施設「みなくる」を活用し、地域内民間団体による子育て世帯の交流促進活動及び、他地区からの移住定住促進の取り組みを支援した。									

項目			R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析		
					R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比	(達成・未達要因、成果・課題等)		
7 だ れ か ら も 愛 さ れ る ま ち 、 求 め ら れ る ま ち づ く り	⑤魅力ある離島の発展												
	KPI①：見島・大島・相島の水産物水揚量（年間）			3,500t	3,303t	2,559t	3,070t	3,730t	3,957t	3,789t	289t	【KPI①】令和6年度の水揚量は前年と比較すると減少したが、目標値を上回る成果となった。水揚げの大部分を占める回遊魚（あじ・さば・ぶり類）の水揚量の変動を確認していくとともに、磯根資源（サザエ等）を回復させるために、種苗放流や藻場保全を推進する必要があると考えられる。今後も漁業者への効果的な支援や水産資源の保全、漁場生産力の向上等を推進していく。	
	KPI②：離島航路利用者数（年間）			160,000人	147,000人	110,959人	126,232人	121,912人	120,776人	119,484人	-40,516人		
	KPI③：離島航路貨物輸送量（年間）			6,500t	6,000t	4,453t	4,737t	4,871t	4,712t	4,733t	-1,767t		
	主 な 取 組	離島高校生の修学支援											【KPI②、③】大島・相島・見島の各人口の減少や新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、離島航路利用者数は策定時よりも減少となった。貨物輸送量については、人口減少の影響に加え、各離島での公共工事等が減少したものと推測される。相島航路については、令和5年8月に新船フェリーが就航し、旧船よりも多くの貨物輸送が可能となったため、移動販売等、新たな貨物の輸送が見込まれる。
		・離島高校生の修学支援 ⇒ 離島に住む高校生の保護者に、本土への通学費や居住費などを対象とした修学に係る経費を支援した。											
		離島航路の維持											
		・離島航路の維持 ⇒ 離島において必要不可欠な離島航路を運営する事業者への支援を実施した。											
		離島の漁業振興											
		・離島漁業再生支援交付金 ⇒ 離島の漁業再生等を図るため、漁業の生産力の向上等の取組を行う漁業集落を支援した。											
特定有人国境離島の支援充実													
・見島の産業振興 ⇒ 特定有人国境離島地域社会維持推進交付金を活用し、見島の戦略産品の移出及び原材料等の移入に係る輸送費の一部を支援した。													
大島複合施設の整備													
・大島複合施設の整備 ⇒ 行政、地域コミュニティ、医療、福祉の拠点となる大島複合施設は、令和3年11月に竣工した。													

【KPI①】令和６年度の水揚量は前年と比較すると減少したが、目標値を上回る成果となった。水揚げの大部分を占める回遊魚（あじ・さば・ぶり類）の水揚量の変動を確認していくとともに、磯根資源（サザエ等）を回復させるために、種苗放流や藻場保全を推進する必要があると考えられる。今後も漁業者への効果的な支援や水産資源の保全、漁場生産力の向上等を推進していく。

【KPI②、③】大島・相島・見島の各人口の減少や新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、離島航路利用者数は策定時よりも減少となった。貨物輸送量については、人口減少の影響に加え、各離島での公共工事等が減少したものと推測される。相島航路については、令和５年８月に新船フェリーが就航し、旧船よりも多くの貨物輸送が可能となったため、移動販売等、新たな貨物の輸送が見込まれる。

項目		R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析 (達成・未達要因、成果・課題等)		
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比			
7 だ れ か ら も 愛 さ れ る ま ち 、 求 め ら れ る ま ち づ く り	⑥D Xによる幸せなまちづくり											
	KPI①：オンライン申請が可能な手続件数		70件	8件			11件	56件	108件	38件	【KPI①】令和6年度末までに108件の実績があり、目標を達成した。令和4年5月からLoGoフォーム、令和5年4月から萩市オンライン申請マイナポータルサイトを展開し、令和7年1月から消防関係の手続にe-Govが導入され、大幅にオンライン申請が可能な手続件数が増えた。また、萩市公式HP上にある、問い合わせフォームを活用している部署もあり、そこも件数に計上した。今後、オンライン申請の入口を1か所にまとめる。引き続き市民サービスの利便性の向上を目指す。 【KPI②】令和2年度から現在に至るまで50業務に活用し、削減効果は1,807時間となった。目標に対する進捗は90.4%となった。今後もRPA導入による効果が見込める業務について、積極的に活用していく。	
	KPI②：R P A 導入による業務削減時間（年間）		2,000時間	324時間			1,306時間	1,734時間	1,807時間	-193時間		
	主 な 取 組	行政手続きのオンライン化等による市民サービスの利便性の向上										
		・ 行政手続きのオンライン化拡充 ⇒ ・ LoGoフォーム等の利用により、オンライン申請が可能な手続件数が増加した。 ・ 萩市のホームページを改修し、オンライン手続のバナーをトップページに移行することにより、オンライン申請画面に容易に辿り着けるようにした。また、施設予約システムを構築した。										
行政事務の効率化												
		・ D X 推進体制の構築・運用 ⇒ 全庁的にD Xを推進するため、組織横断的に協議を行う会議を開催するとともに、各部局にD X推進員を配置した。 ・ R P A 業務の拡充 ⇒ 令和2年度から現在に至るまで50業務に活用を実施し、削減効果は1,807時間となった。 ・ 情報システムの標準化 ⇒ 国が定める標準仕様に適合するシステムの操作研修や運用テストを行い、円滑に移行ができる環境と準備を整えた。										

【KPI①】令和 6 年度末までに 108 件の実績があり、目標を達成した。令和 4 年 5 月から LoGo フォーム、令和 5 年 4 月から萩市オンライン申請マイナポータルサイトを展開し、令和 7 年 1 月から消防関係の手続に e-Gov が導入され、大幅にオンライン申請が可能な手続件数が増えた。また、萩市公式 HP 上にある、問い合わせフォームを活用している部署もあり、そこも件数に計上した。今後、オンライン申請の入口を 1 か所にまとめる。引き続き市民サービスの利便性の向上を目指す。

【KPI②】令和 2 年度から現在に至るまで 50 業務に活用し、削減効果は 1,807 時間となった。目標に対する進捗は 90.4 % となった。今後も RPA 導入による効果が見込める業務について、積極的に活用していく。

項目			R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析	
					R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比	(達成・未達要因、成果・課題等)	
7 だ れ か ら も 愛 さ れ る ま ち 、 求 め ら れ る ま ち づ く り	⑦その他全般的事項											
	KPI①：都市・国際交流事業の参加者数（年間）			500人	300人	165人	40人	461人	443人	446人	-54人	【KPI①】 コロナに対する規制がなくなり、講座や交流会等の参加者数も回復傾向にある。引き続き、国際交流員を活用しながら、交流活動を推進していく。 【KPI②】 マイナンバーカードと医療保険証の紐づけが本格化し、手続を行う住民が増え、カード申請・交付が増えたため令和6年度に目標を達成した。
	KPI②：マイナンバーカード交付率			88.1%	12.9%	31.6%	47.7%	75.5%	83.7%	92.9%	4.8%	
	主 な 取 組	都市・国際交流の推進										
		・都市交流 ⇒ 国内の姉妹都市や友好都市等との交流事業を実施した。 ・国際交流 ⇒ 国際交流員による英語講座、異文化交流会等を実施した。										
		市民サービスの利便性向上										
		・利便性の高い証明発行等 ⇒ 越ヶ浜郵便局で、公的証明書の交付に加え、国民健康保険や飼い犬の登録の受付など10業務の行政サービスを受けられるようにした。 ・受付の延長 ⇒ 毎週木曜日午後7時までと3月最終と4月最初の日曜日は市民課窓口の受付を延長した。										
		マイナンバーカードの普及と活用										
		・個人番号カードの交付 ⇒ 出前講座や出張申請受付、窓口での無料写真撮影を実施し、申請を支援した。 ・各種証明書のコンビニ交付										